



東京都下水道事業年報

昭和 38 年度

東京都下水道局

昭和 38 年度

東京都下水道事業年報

東京都下水道局

東京都下水道事業年報

目 次

統計図

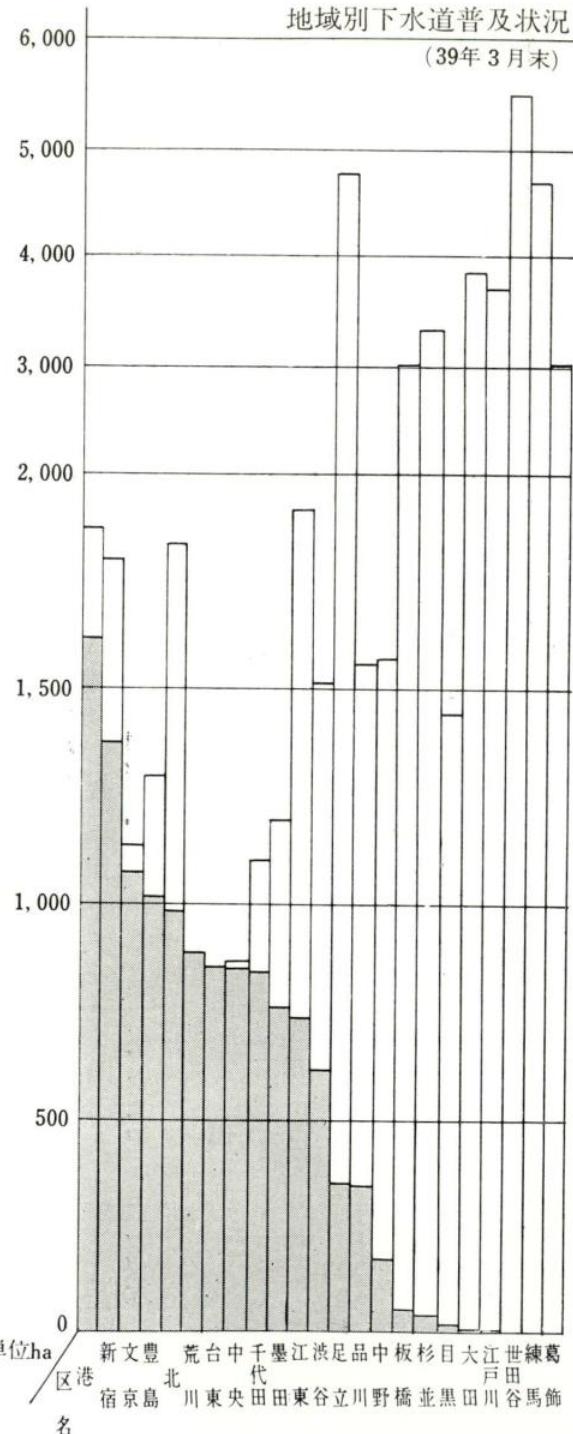
地図

第1章 総 説	1
第1節 序 説	1
第2節 組 織	2
第3節 下水道事業の概要	5
第4節 昭和38年度事業概要	9
第2章 財 務	14
第1節 財 政	14
第2節 固定資産明細書	32
第3章 下水道計画	35
第1節 東京都市計画下水道	35
第2節 東京都市計画下水道事業	35
第3節 東京都市計画下水道並びに同下水道事業及びその執行年度割の概要	36
第4章 下水道事業経過	46
第1節 下水道事業認可関係	46
第2節 施行済の事業	50
第5章 営 業	53
第1節 営業一般	53
第2節 下水道使用件数	53
第3節 下水道使用水量	56
第4節 下水道料金	59
第5節 料金徴収	59
第6節 排水設備	61

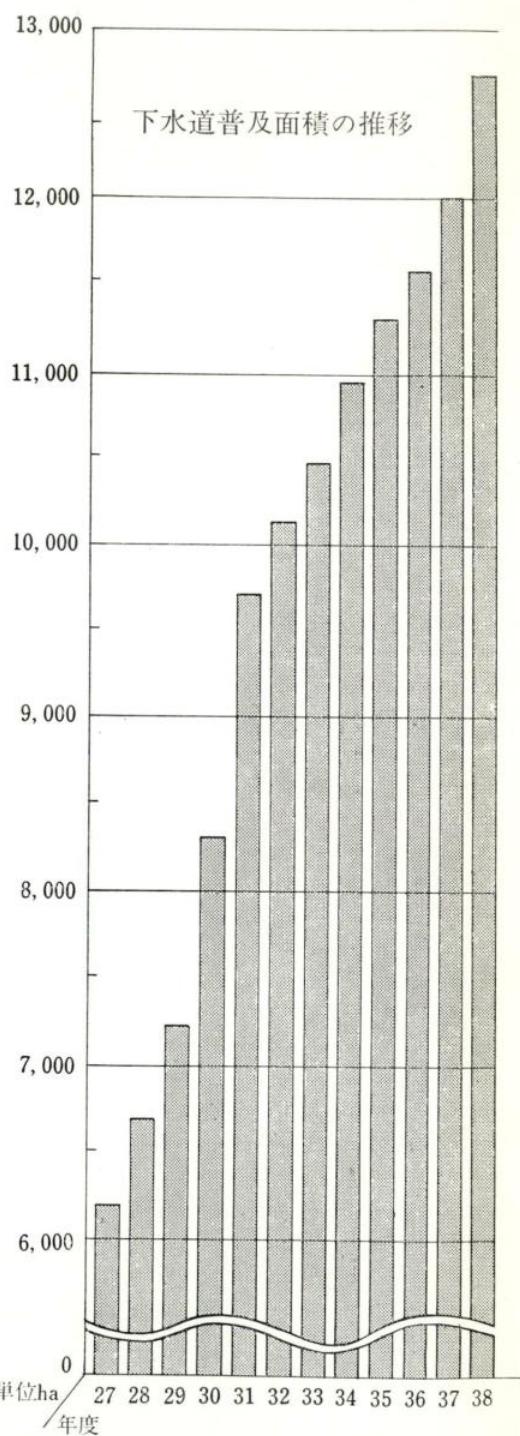
東京都市下水道事業

第6章 設 備	64
第1節 管 渠	64
第2節 ポンプ所	66
第3節 処理場	91
第4節 し尿消化槽	110
第7章 作 業	112
第1節 管 渠	112
第2節 ポンプ所	113
第3節 処理場	114
第4節 水質試験	120
第5節 汚泥試験	128
第6節 降水量	130
第7節 処理水の利用	133
第8節 し尿消化槽	133
第8章 工事施工状況	134
第1節 拡張工事	134
第2節 改良工事	158
第3節 設備補修工事	163
第4節 その他工事	167
—— 昭和38年度局主要日誌 ——	169

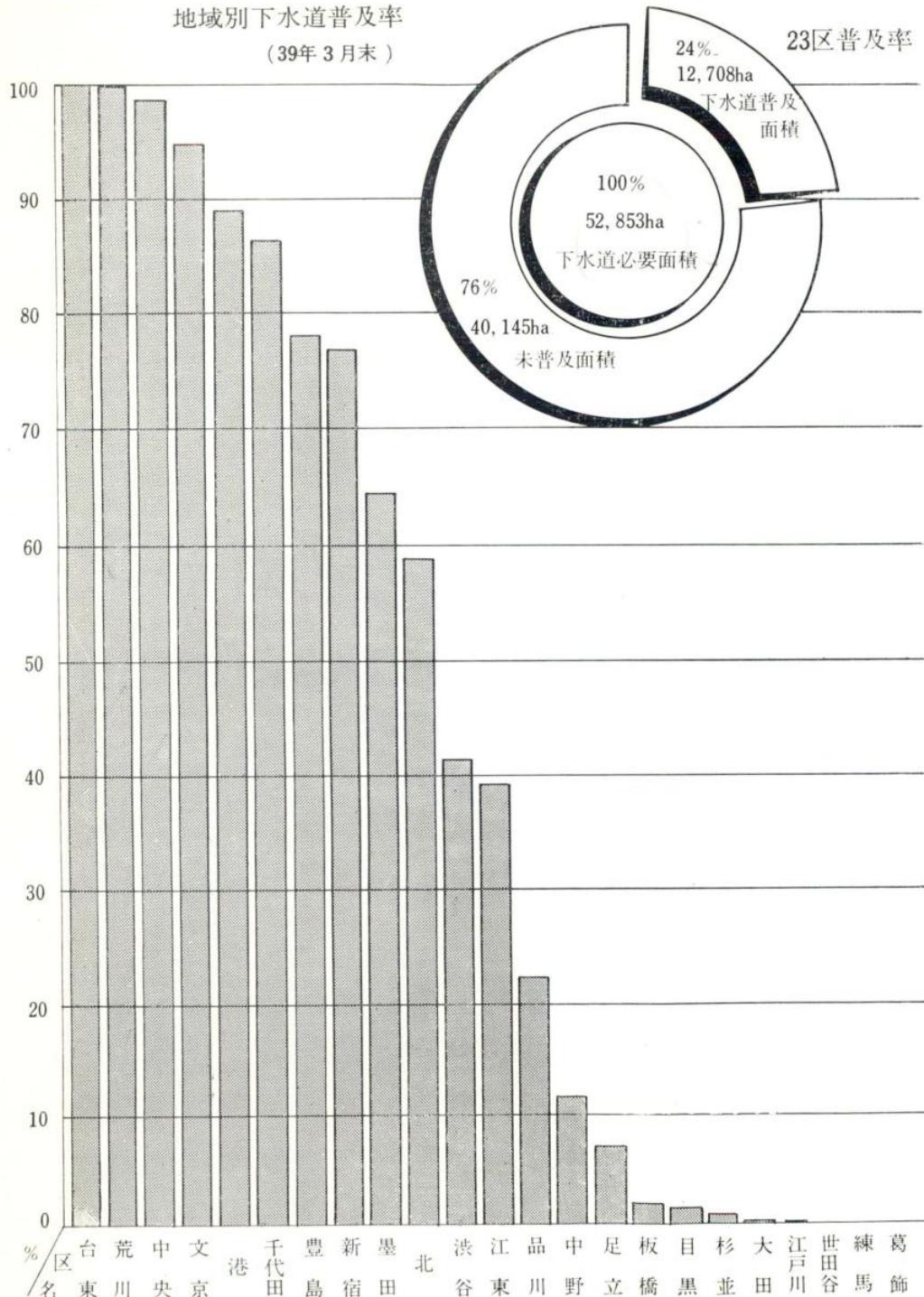
地域別下水道普及状況
(39年3月末)



下水道普及面積の推移



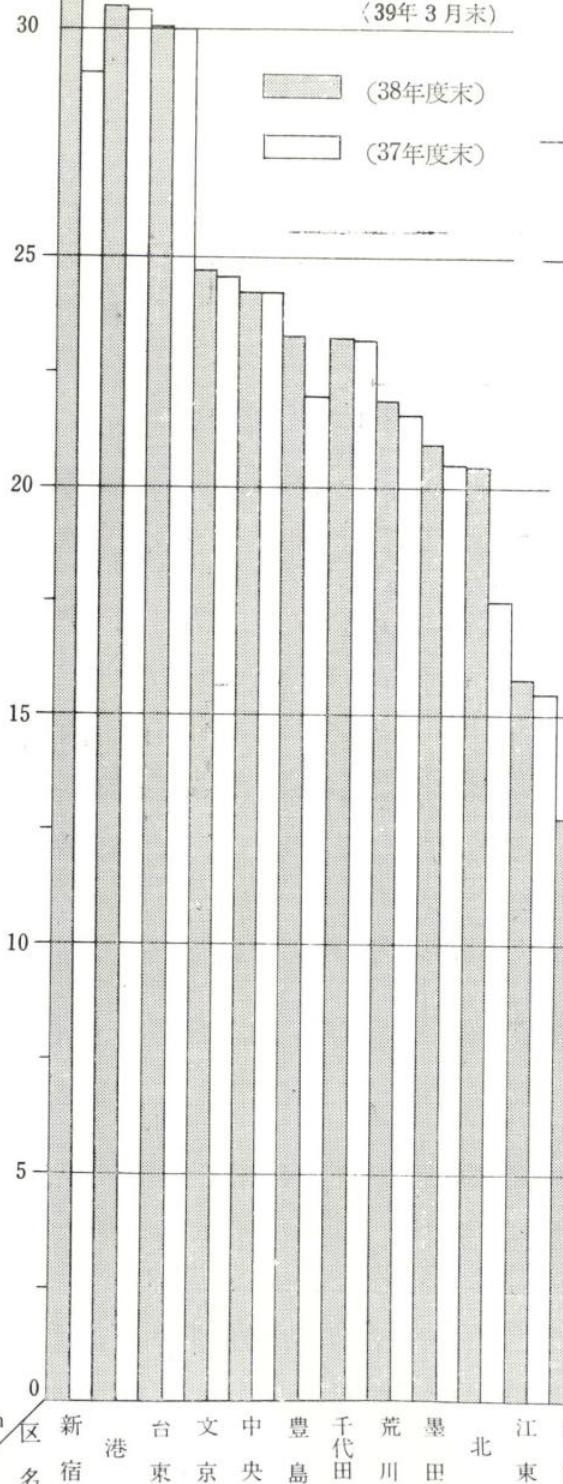
地域別下水道普及率
(39年3月末)



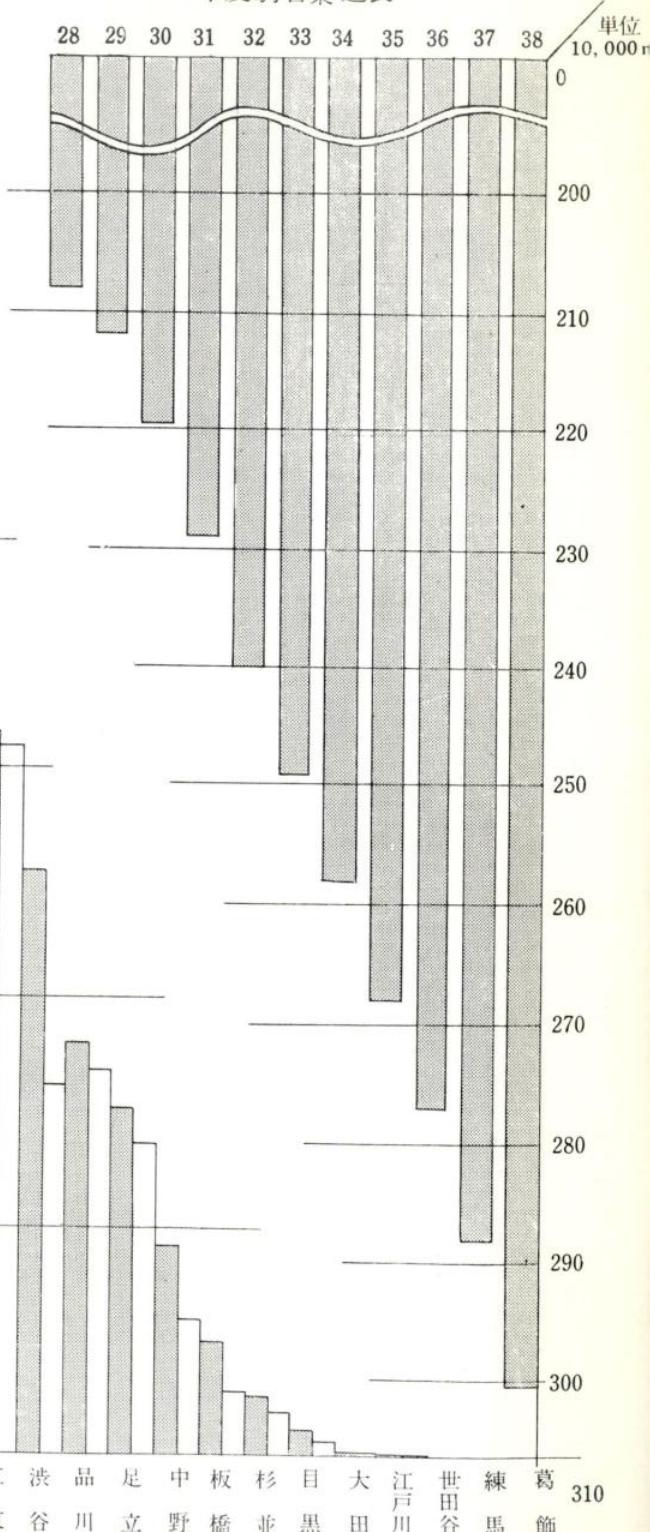
地域別管渠延長

(39年3月末)

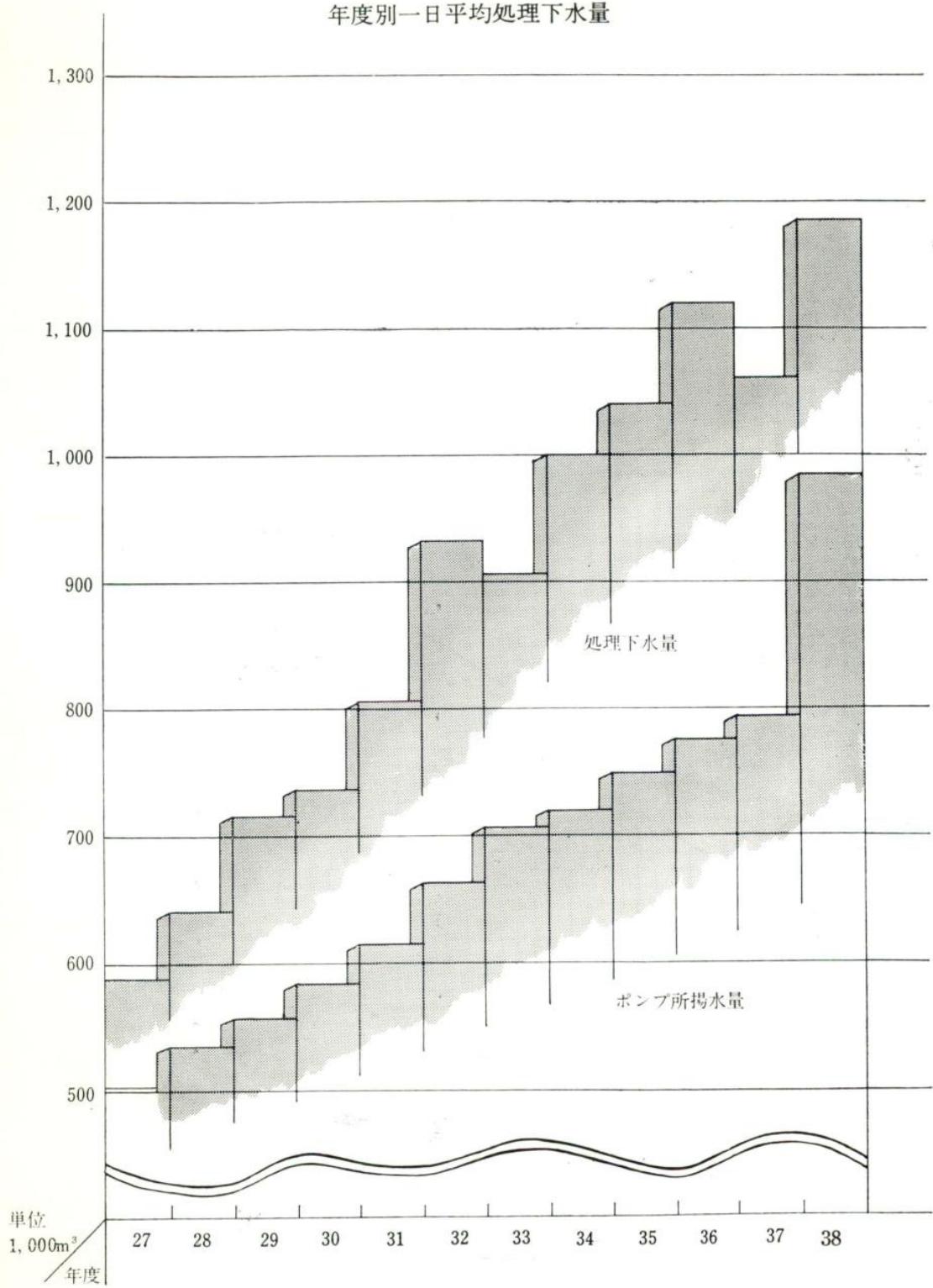
(38年度末)
(37年度末)



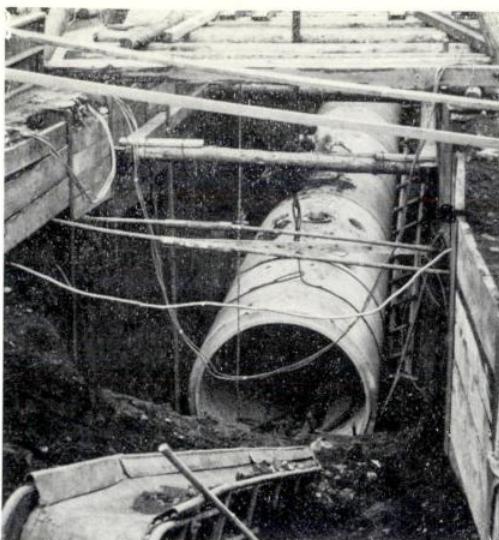
年度別管渠延長



年度別一日平均処理下水量



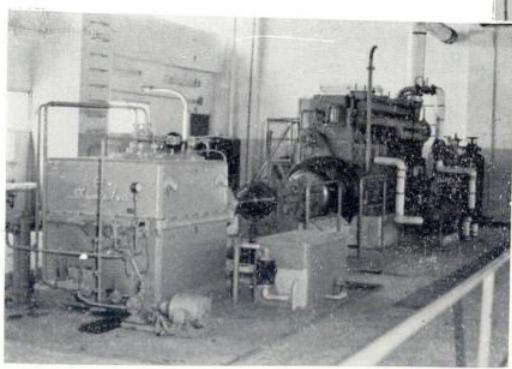
オリソック関連地域の工事進む。
宇田川幹線につながる枝線の下水管埋設工事
(左)と、ワシントンハイツの一部(右)



シールド工法による白山幹線雨水吐工事が行な
われる。
内径三・七mという大きな円形管である。
(三十八年五月撮影)



千住ポンプ所の外観(右)と隅田ポンプ所の雨
水ポンプ(左)この二つのポンプ所は、昭和三
十四年に着工、三十八年三月に一部運転を始め
た。



△九月十日▽下水道促進デーに催された主婦の見学会で、知事から説明を聞く主婦たち。
(落合処理場)



常盤橋地区再開発により、錢瓶ポンプ所も衣替えすることになる。写真は三十八年十二月五日に行なわれた着工式。



東京五番目の処理場・落合処理場が生まれる。
△三十九年三月一日▽



第1章 総 説

第1節 序 説

近代都市における基本的な施設は、道路・水道・下水道などである。道路は産業の発展のために、水道は住民の生活のために、そして下水道は、環境衛生と都市の美化などを支えるためにある。

この下水道をぬきにしては、健康で文化的な住民の生活は考えられない。すなわち、汚水、雨水を合理に排除し、処理することにより、住民の保健衛生、都市の美化に貢献するのである。つまり、都市生活に付随する汚水・雨水の衛生的排除、低湿地の災害防除、土地の有効利用、道路の保護、河川の汚濁防止などのために、図り知れない働きをするのが下水道である。しかしながら、東京においてはこれが普及は甚だしく遅れており、区部面積のやつと24.0%，区部総排水量三百数拾万m³/日(要処理量)のうち155万m³/日、主として旧市域内と隣接の一部区域のみの下水を処理している現況である。

これは、東京の特殊な成長条件と、我国の肥料事情による貯蔵式便所が普及していたことなどのほか、一般に上水道・道路・建築などの急施を要する都市施設に優先され、目立たない下水道は、おおむね後まわしにされがちだつた事情による。

現在の施設と能力のあらましは次の通りである。

管渠延長 3,062,056 メートル

処理場 5 (芝浦、三河島、砂町、小台、落合)

高級処理能力 1,551,400m³/日

ポンプ所 27ヶ所

排水面積 12,708ヘクタール (甲地区 11,001ヘクタール)
(乙 1,707 ヘクタール)

以上のような状況のため、都内の大部分の地域では、ドブまたは小河川を通じて汚水が直接川または港湾に流される。隅田川のごときはB.O.Dが時には100p.p.m以上となり、環境衛生上も美観上も憂慮にたえない現状である。また、都民の大部分が汲取り便所にたよつており、低地帯の汚水、雨水の氾濫も稀な現象ではない。しかも、近年の急激な人口の集中、ビルの林立、産業の発展はこうした悪現象にさらに拍車をかけている。このように、都市公害が顕著になるに及んで、下水道にたいする一般の関心と要望が高まり、そして、昭和31年、都市計画税の創設、首都圈整備法の制定をみるによび、財源事情も好転し、拡張事業も活発になつた。

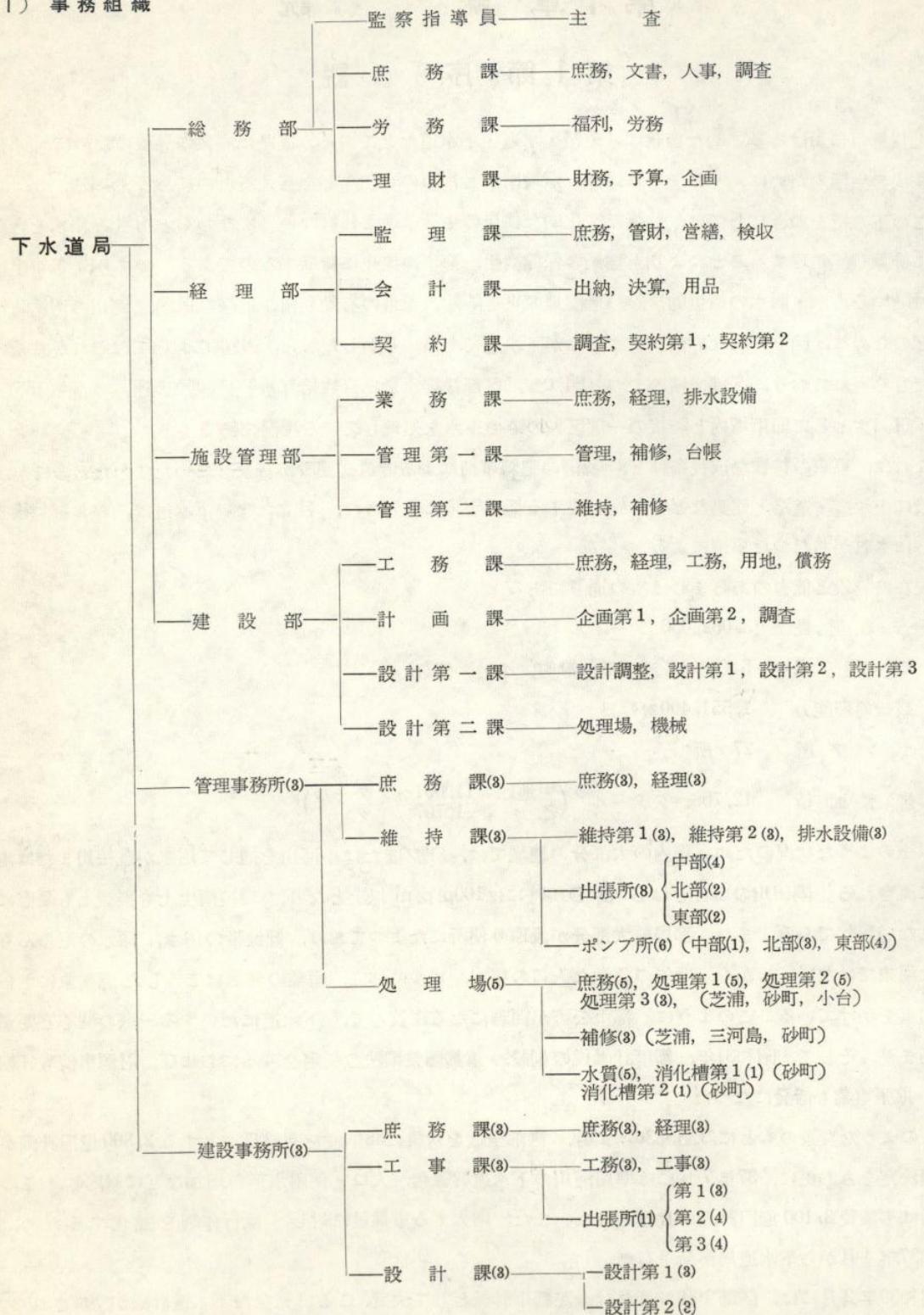
このような背景のもとに、昭和36年1月、区部全域を対象に48年度を完成目途とする2,300億円計画が府議決定をみ、更に、37年7月には準用河川の下水道幹線化、人口・使用水量の増加などに対応し、この計画は事業費3,100億円計画に改訂された。また、増大する事業量に対し、執行体制を強化するため、昭和37年4月から下水道局が発足した。

昭和39年2月には、区部100%普及計画が都市計画として決定、ここに完全な下水道計画が完成された。

第2節 組織

1. 機構

(1) 事務組織



(2) 事業所所在地と所管区域

部別	事業所名	所在地	所管区域
本局	総務部 経理部 施設管理部 建設部	千代田区丸の内3-5	
中部管理事務所		千代田区大手町2-8	芝浦系統に属する千代田、中央、港、新宿、文京、渋谷、豊島各区の大部及び台東、品川、目黒、世田谷、北、荒川各区の一部 落合系統に属する中野、杉並各区の大部及び新宿、世田谷、渋谷、豊島各区の一部 森ヶ崎系統に属する品川、目黒、世田谷各区の大部及び渋谷、杉並各区の一部
	落合処理場	新宿区上落合1-100	
	芝浦処理場	港区芝高浜町2	
北部管理事務所		台東区浅草小島町1-39	三河島系統に属する台東、荒川各区の大部及び千代田、文京、北各区の一部 小台系統に属する北、板橋各区の大部及び豊島、練馬、足立各区の一部
	三河島処理場	荒川区荒川8-25	
	小台処理場	足立区宮城町38	
東部管理事務所		江東区深川豊住町3-2	砂町系統に属する墨田、江東各区及び中央、足立、江戸川各区の一部
	砂町処理場	江東区南砂町9-2,473	
第一建設事務所		千代田区大手町2-8	千代田、中央、港、文京、品川、目黒、大田、世田谷、渋谷各区
第二建設事務所		荒川区荒川8-32-41	台東、墨田、江東、荒川、足立、江戸川各区
第三建設事務所		新宿区上落合1-100	新宿、中野、杉並、豊島、北、板橋、練馬各区

2. 職制

(1) 事務分掌

局の部課	分掌事務
総務部 庶務課	<ol style="list-style-type: none"> 都議会に關すること。 局の機構に關すること。 文書の審査に關すること。 文書の收受、配付、発送、編集及び保存に關すること。 公印に關すること。 局の人事に關すること。 広報及び公聴に關すること。 他の部課に属しないこと。

総務部	労務課	1. 職員の福利及び共済に関する事務。 2. 職員の教養に関する事務。 3. 職員の勤務条件に関する事務。 4. 職員の労働組合に関する事務。
	理財課	1. 財政計画及び財政報告に関する事務。 2. 企業債に関する事務。 3. 予算の見積りに関する事務。 4. 予算統制に関する事務。 5. 事業の進行管理に関する事務。
経理部	監理課	1. 固定資産台帳の整理及び保管に関する事務。 2. 資産の調査に関する事務。 3. 用地の管理に関する事務。 4. 不動産の処分に関する事務。 5. 営繕に関する事務。 6. 物品、材料、請負工事等の検査に関する事務。 7. 部内他の課に属しない事務。
	会計課	1. 収支伝票の審査及びその執行に関する事務。 2. 現金、有価証券及び担保物の保管出納に関する事務。 3. 資金の運用に関する事務。 4. 決算及び会計資料に関する事務。 5. 貯蔵品の準備計画に関する事務。 6. 貯蔵品の調査、配給及び運用に関する事務。 7. 貯蔵品倉庫に関する事務。
部	契約課	1. 物品及び材料の購買契約に関する事務。 2. 工事、修繕その他の請負契約に関する事務。 3. 舟車馬の供給契約に関する事務。 4. 物件の貸借及び処分の契約に関する事務。 5. 市場調査に関する事務。
	業務課	1. 料金徴収委託事務に関する事務。 2. 井戸汚水その他の汚水の排出量の認定に関する事務。 3. 排水設備に関する事務。 4. 指定下水道工事店に関する事務。 5. 部内他の課に属しない事務。
施設管理部	管理第一課	1. 下水道管渠の維持管理、補修、改良及び移設に関する事務。
	管理第二課	1. 处理場及びポンプ所の維持管理、補修及び改良に関する事務。
建設部	工務課	1. 下水道の拡張工事の事務に関する事務。 2. 用地の取得に関する事務。 3. 部内地の課に属しない事務。
	計画課	1. 下水道の拡張計画に関する事務。
設計第一課		1. 下水道管きょ（幹線および重要な枝線）の設計に関する事務。
	設計第二課	1. 处理場及びポンプ所の設計に関する事務。
管理事務所		1. 下水道の維持管理及び改良工事の施行に関する事務。 2. 处理場の維持管理に関する事務。
建設事務所		1. 下水道の拡張工事の施行に関する事務。

(2) 人員配置

(39年3月末現在)

職別 所 属	事務 員	技術 員	主 事 補	技 師 補	巡 視	事務 助手	技術 助手	作 業 員	工 員	用 務 員	計	定 数	外 休 職
												結 休	未 帰 還
総務部	42	1	17	3		1		1		2	67		
経理部	② 44	① 8	① 20	13		1	1	3			④ 90	4	
施設管理部	13	26	13	23		1		1			77		
建設部	15	① i 52	10	① 61		4	1	1			② i 144	2	1
中部管理事務所	14	48	30	129	6	20	10	① 130	i 98	1	① i 486	1	1
東部 タ	13	52	21	118	3	5	6	① i 103	162		① i 483	1	1
北部 タ	17	54	30	① 110	6	10	4	77	120	1	① 429	1	
第一建設事務所	10	43	15	② 130		8	2	15			② 223	2	
第二 タ	7	41	12	① 73		12	4	7			① 156	1	
第三 タ	6	32	19	125		6	0	19			207		
計	② 181	② i 357	① 187	⑤ 785	15	68	28	② i 357	i 380	4	② 3 23,62	12	3

注 ○は結休内数
・は休職外数

第3節 下水道事業の概要

1. 沿革

東京における下水道施設の起源は、明治5年の大火後、銀座煉瓦街に洋風の溝渠が設けられたのに始まる。しかし近代式下水道施設の緊急性が問題化したのは、明治10年市内にコレラが流行したことに端を発するもので、明治16～19年にわたり神田の一部に分流式下水道が敷設されるにいたつた。ただし、これらの施設は部分的なものであり、また在来下水の修築、あるいはその一部を暗渠式に改良した程度の不完全なもので、その他の区域はいまだに江戸時代以来の在来溝渠、濠池により排水をしていた。

総合的計画に基づく下水道設計の調査は明治32年市区改正委員会により着手され、同41年3月にいたり現在の本都計画の基礎となつてある東京市下水道改良事業基本計画が内閣の認可をえて決定し、明治44年6月下水改良事務所を設置し、第1期工事として下谷、浅草方面より着工、大正12年にはほぼ完了した。なお、大正11年より三河島処理場が一部操業を開始するにいたり、昭和5・6年には砂町・芝浦処理場がそれぞれ操業を開始した。

その後第2期工事等を逐次実施し、昭和7年には市域拡張にともない郊外12カ町の事業を引き継ぎ、新旧両市域にわたり継続工事を実施中のところ、第2次大戦のために事業は事実上中止するにいたり、旧市域の約8割と隣接新市域の一部を施行したままとなつた。

戦後においては直ちに戦災復旧をはかるとともに、文化的、衛生的首都の復興再建の段階から、さらに

首都整備の一環として下水道の促進がとりあげられ、事業量も次第に増加してきた。その経過は次のとおりである。まず昭和23~26年度当時は、戦後の大混乱からようやく脱脚しようと努めた時期で、昭和23年度から下水道の拡張事業を開始したが、当初の23、24年度は下水道増補改良事業に含めて実施した。また、下水道促進に対する認識も次第に深まってきたが、財政的な極度の制約から拡張財源である起債が制限されて、予算額の半分程度の事業実績をみたにすぎなかつた。しかし、昭和25年7月には戦後の下水道の基本計画ともいべき「東京都市計画下水道」が決定し、拡張事業を進めて行く基礎が確立された。

昭和25年6月には首都建設法が制定され、翌26年12月には首都建設緊急5カ年計画がたてられ、下水道も重点施策として盛りこまれ、同じ内容が昭和28年10月には都市計画事業として決定されるにいたつた。一方、財政面をみると、昭和27年10月地方公営企業法の全面適用による下水道事業会計の設定、昭和30年4月以降は失業対策事業の導入による失業対策費の繰り入れ、昭和31年6月地方税法改正により都市計画税収入財源の繰り入れがなされた。

昭和31年4月には、首都圈整備法が首都建設法にかわって制定され、都市施設の整備が強く推進されることになった。当局では首都圈整備計画の一つとして下水道拡張10カ年計画をたて、下水道築造認可をえて昭和32年度より着手した。政府においても昭和32年に建設省に下水道課を新設、翌33年下水道法が制定され、全国的に下水道築造が促進される傾向となつた。本都においても急増する事業量の執行体制を強化すべく、昭和34年12月1日下水道本部を設置した。

さらに周辺区部の発展や、昭和39年の東京オリンピック開催決定などとともに、本都の都市施設の整備、とりわけ下水道については拡張事業の推進が必要となつた。これに対して、36年1月には昭和48年度完成を目指とする区部全域の下水道整備計画（総事業費2,300億円）を序議で決定した。

こえて翌37年3月には、この100%普及計画を骨子とする45年度70%普及計画が、新らしい「都市計画」として、都市計画地方審議会で決定をみ、3月31日には、建設省告示第1,092号「東京都市計画下水道」、「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割の変更」として告示された。

これによると、対象区域約37,314ヘクタール、計画人口751万人、管渠延長約7,608km、ポンプ所42カ所、処理場6カ所となつてゐる。37年4月から下水道局が発足し、執行態勢が一だんと強化されるとともに、同年7月に前記100%整備計画に再検討を加え、これを総事業費3,100億円計画に改訂した。また小台処理場が一部運転を開始した。

その後、都心部の総合的再開発の一環として、千代田区大手町2丁目付近の市街地再開発が策定され、当局所管の銭瓶町ポンプ所、並びに主要管渠の移設が必要となり、昭和37年12月23日建設省告示第3,205号をもつて、前記、東京都市計画下水道並びに同事業の一部変更を行なつた。

さらに39年2月25日には、区部100%普及計画の残る30%について、建設省告示第292号により「東京都市計画下水道」「東京都市計画下水道事業及びその執行年度割」として告示された。

この告示により、区部全域100%普及計画が完成した。これによると、計画対象区域は23区全域(52,853ヘクタール)、計画人口950万人、管渠延長10,061,479m、ポンプ所67カ所、処理場9カ所、その他の処理場1カ所となつてゐる。

2. 施設概況

1. 旧15区内を芝浦、三河島、砂町の3系統に分割する。

築造認可年月	排水方法	排水区域面積	排水開始年月	予定1人1日最大汚水量	大正10年12月 6,992ヘクタール 予定1時間最大降水量 50粍
予定排水人口	3,000,000人			250立	
工種	起工	竣工			工費
創設(第1期下水道改良工事)	明治44年	大正12年			14,618,123円
第1回拡張(下水渠一部速成工事)	大正5年	大正9年			2,497,989円
第2回拡張(第2期下水道改良工事)	大正9年	大正12年			4,311,283円
第3回拡張(帝都復興下水道改良工事)	大正12年	昭和6年			39,603,453円
第4回拡張(継続都市計画速成工事)	大正14年	昭和9年			5,600,286円
第5回拡張(管渠移転工事)	大正14年	昭和5年			2,310,518円
第6回拡張(下水道応急整理工事)	大正15年	昭和4年			948,402円
等7回拡張(失業救済工事)	昭和2年	昭和3年			340,415円
第8回拡張(失業救済工事)	昭和3年	昭和3年			428,477円
第9回拡張(失業救済工事)	昭和4年	昭和5年			1,711,460円
第10回拡張(昭和5年度速成工事)	昭和5年	昭和7年			2,674,854円
第11回拡張(昭和5・6年度第2改良速成工事)	昭和6年	昭和8年			7,561,665円
第12回拡張(失業救済工事)	昭和6年	昭和7年			455,538円
第13回拡張(失業救済工事)	昭和7年	昭和8年			461,219円
第14回拡張(継続都市計画完成(第1期)工事)	昭和8年	昭和19年 *(昭和21年)	27,688,297円 *(38,500,000円)		

(注) *昭和19年戦時に際し打切り。 () 内は全体計画を示す。以下各項目につき同じ。

2. 旧大崎町一円

築造認可年月	排水方法	排水区域面積	排水開始年月	予定排水人口	大正14年
予定1人1日最大汚水量	167立				
工種	起工	竣工			工費
創設(大崎町下水道事業第1期)	大正13年	昭和6年			746,263円
第1回拡張(大崎町下水道事業第2期)	昭和5年	昭和10年			793,764円

(注) 昭和7年10月以降は市郡併合により東京市施行。以下各項目につき同じ

3. 旧高田町一円

築造認可年月	排水方法	排水区域面積	排水開始年月	予定排水人口	昭和6年
予定1人1日最大汚水量	167立				
工種	起工	竣工			工費
創設(高田町下水道事業)	昭和5年	昭和19年 (昭和21年)			1,638,867円 (2,118,000円)

4. 旧西巣鴨町一円

築造認可年月	排水方法	排水区域面積	排水開始年月	予定排水人口	昭和7年
予定1人1日最大汚水量	167立				
工種	起工	竣工			工費

	工種	起工	竣工	工費
	創設(西巢鴨町)	昭和 6 年	昭和 6 年 (昭和 21 年)	1,595,529円 (2,910,000円)
5. 旧巢鴨町一円	築造認可年月 昭和 5 年 3 月 排水方法 合流式 排水区域面積 187ヘクタール 予定 1 人 1 日最大汚水量 167立	排水開始年月 昭和 5 年 予定 1 時間最大降水量 50耗	70,000人	
	工種	起工	竣工	工費
	創設(巢鴨町)	昭和 4 年	昭和 10 年	1,076,609円
6. 旧王子町一円	築造認可年月 昭和 4 年 3 月 排水方法 合流式 排水区域面積 521ヘクタール 予定 1 人 1 日最大汚水量 167立	排水開始年月 昭和 4 年 予定 1 時間最大降水量 50耗	90,000人	
	工種	起工	竣工	工費
	創設(王子町)	昭和 3 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	1,778,423円 (3,135,207円)
7. 旧尾久町一円	築造認可年月 昭和 3 年 1 月 (第 1 期) 昭和 7 年 7 月 (第 2 期)	排水開始年月 昭和 3 年		
	排水方法 合流式 排水区域面積 228ヘクタール 予定 1 人 1 日最大汚水量 167立	予定 1 時間最大降水量 50耗	164,000人	
	工種	起工	竣工	工費
	創設(尾久町下水道) 第 1 期	昭和 2 年	昭和 7 年	779,144円
	第 1 回拡張(尾久町下水道) 第 2 期	昭和 7 年	昭和 15 年	1,254,738円
8. 旧南千住町, 日暮里町, 三河島町一円	築造認可年月 昭和 6 年 5 月 排水方法 合流式 排水区域面積 543ヘクタール 予定 1 人 1 日最大汚水量 167立	排水開始年月 昭和 7 年 予定 1 時間最大降水量 50耗	227,000人	
	工種	起工	竣工	工費
	創設(南千住町, 日暮里町) 三河島町下水道事業	昭和 6 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	4,336,851円 (5,380,000円)
9. 旧大久保町一円	築造認可年月 昭和 3 年 10 月 (第 1 期) 昭和 7 年 9 月 (第 2 期)	排水開始年月 昭和 5 年		
	排水方法 合流式 排水区域面積 200ヘクタール 予定 1 人 1 日最大汚水量 167立	予定 1 時間最大降水量 50耗	61,800人	
	工種	起工	竣工	工費
	創設(大久保町下水道) 第 1 期	昭和 3 年	昭和 6 年	403,762円
	第 1 回拡張(大久保町下水道) 第 2 期	昭和 8 年	昭和 19 年	1,042,560円
10. 旧滝野川町一円	築造認可年月 昭和 8 年 12 月 排水方法 合流式 排水区域面積 451ヘクタール 予定 1 人 1 日最大汚水量 167立	排水開始年月 昭和 9 年 予定 1 時間最大降水量 50耗	116,000人	
	工種	起工	竣工	工費
	創設(滝野川町) 下水道事業	昭和 8 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	1,359,390円 (3,464,000円)
11. 足立区, 江戸川区, 墨田区の各一部	築造認可年月 昭和 11 年 3 月 排水方法 合流式 排水区域面積 2,193ヘクタール 予定 1 人 1 日最大汚水量 250立	排水開始年月 昭和 18 年 予定 1 時間最大降水量 50耗	589,700人	
	工種	起工	竣工	工費
	創設(郊外下水道事業の一部)	昭和 11 年	昭和 19 年 (昭和 21 年)	4,557,573円 (3,890,000円)

12. 旧南千住町一円

築造認可年月	大正11年2月(第1期)	排水開始年月	大正 11年
排水方法	合流式	排水区域面積	245ヘクタール
予定1人1日最大汚水量	167立	予定1時間最大降水量	50耗
工 種		起 工	竣 工
創 設 (千 住 町 下 水 道) 事 業 第 1 期		大正 10 年	大正 15 年
第1回拡張 (千 住 町 下 水 道) 事 業 第 2 期		昭和 2 年	昭和 7 年
			工 費
			507,995円
			843,225円

13. 千代田区他20区

築造認可年月	昭和34年3月	排水方法	合流式	排水区域面積	22,315ヘクタール	予定排水人口	3,950,000人
予定1人1日最大汚水量	320立				予定1時間最大降水量	50耗	
工 期	自昭和32年			至昭和41年		工 費	36,600,000,000円

第4節 昭和38年度事業概況

1. 総括事項

昭和38年度においては、都市の基幹施設である下水道整備の緊急性にかんがみ、「東京都下水道事業計画」の強力な推進に努め、特にオリンピック対策事業として、環状6号線内側地区の整備を重点とし、鋭意事業の遂行をはかつた。

経営

拡張事業の進捗に伴い、昭和39年3月、落合処理場が一部運転を開始した。(処理能力日量9万立方メートル) なお、下水道使用件数は前年度に比して、4万4千余件の増加をみ、当年度末において59万余件となつた。しかし、給水事情は37年度に引き続き好転せず、処理場における年間下水処理量は、4億3千余万立方メートルで、予定量に対して85.5パーセントの実績を示したにすぎず、料金収入は1割強の2億4千余万円の減収となつた。

他方維持管理諸経費等の増嵩があつたが、一般諸経費の節減に努めた結果、当期の欠損額は2億余万円となつた。

当年度の経営上における、事業実施のおもなものは、つぎのとおりである。

処理場下水処理量	433,568,552立方メートル
ポンプ所下水揚水量	359,297,660立方メートル
管渠管理延長	3,062,056メートル
管渠掃除量	
作業延長	890,460メートル
汚泥量	23,711立方メートル

建設及び改良

当年度における建設工事の予算額は173億円で、前年度に比し44パーセント増と飛躍的に増大した。事業資金については、各方面の協力により、国庫補助金等については若干収入不足を示したものの、企業債収入及び一般会計繰入金は全額収入をみ、概ね順調に確保することができた。

事業執行にあたつては、管渠工事の設計事務強化のため各建設事務所に設計課を新設する等、増大した事業量の消化に鋭意努めたのであるが、常盤橋地区再開発計画に伴う錢瓶町ポンプ所拡充関連工事及び管渠敷設工事等の一部において工事困難、交通規制強化等の理由から若干工事遅延を余儀なくされ、執行率は84.3パーセントである。

当年度施行した工事の概要は、次のとおりである。

処理場建設工事では、前年度に引き続き芝浦、砂町、三河島ならびに小台処理場の施設を拡張し、森ヶ崎処理場は40年度末の一部運転開始を目途に基礎工事に続いて雨水、汚水、沈砂池工事を完了した。また落合処理場は、機械電気工事を予定どおり完了し、昭和39年3月に運転を開始した。ポンプ所工事については、錢瓶町ポンプ所外8カ所の建設工事を施行した。

管渠敷設工事については、これ等処理場、ポンプ所を連絡する管渠工事として幹線10,949.09メートル枝線146,086.55メートルを敷設したが、このうちには、本年度から着手した錢瓶町ポンプ所の移設に伴う常盤橋地区の管渠移設工事と新河岸川浄化対策としての管渠敷設工事が含まれている。

つぎに改良工事では、老朽管渠、ポンプ所、処理場等における諸設備を積極的に改良し、処理能力の改善に努めた。

経理

(1) 収益的収支

総収益5,178,271,643円に対する総費用は5,379,176,656円で、当年度純損失は200,905,013円である。

しかしながら、期間外収支においては、常盤橋地区再開発計画に基づく土地売却差益等の収入が2,452,405,583円あり、期間外費用は61,584,708円で、差引期間外利益は2,390,820,875円であつた。

この結果、上記当年度純損失200,905,013円を補てんして、なお2,189,915,862円の利益剰余金を繰越すこととなつた。

(2) 資本的収支

総収入15,070,093,717円に対する総支出は15,718,946,212円で、差引不足額は648,852,495円であるが、なお地方公営企業法第26条の規定による翌年度への繰越工事2,488,230,522円の資金を留保したので、資金不足額は3,137,083,017円となる。

この資本収支の不足額については、前年度からの繰越工事資金、当年度利益剰余金および損益勘定留保資金をもつて充当した。

2. 議会議決事項

(1) 予算関係

議決年月日	種別	議案番号	件	名
38. 10. 2	第3回定例会	第377号	昭和38年度東京都下水道事業会計追加予算	

議決年月日	種別	議案番号	件名
38. 12. 21	第4回定例会	第 5 6 1 号	昭和38年度東京都下水道事業会計追加予算
39. 3. 3	第1回定例会	第 1 8 7 号	昭和38年度東京都下水道事業会計更正予算
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 9 号	昭和39年度東京都下水道事業会計予算
39. 3. 23	第1回定例会	第 2 1 5 号	昭和39年度東京都下水道事業会計補正予算

(2) 決算認定

議決年月日	種別	件名
39. 3. 23	第1回定例会	昭和37年度東京都下水道事業会計決算の認定について

(3) 条例関係

議決年月日	種別	議案番号	件名
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 5 1 号	東京都公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例
39. 3. 3	第1回定例会	第 8 6 号	臨時東京都水道料金及び下水道料金制度調査会条例を廃止する条例
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 5 5 号	知事の承認を受けて取得及び処分をなすべき東京都公営企業の資産に関する条例の一部を改正する条例
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 5 6 号	東京都公営企業関係業務状況の報告に関する条例の一部を改正する条例
39. 3. 23	第1回定例会	第 1 5 7 号	東京都公営企業の契約の方法の特例に関する条例の一部を改正する条例

(4) 工事請負契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 2 9 号	落合処理場建設その5工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 0 号	落合処理場第2沈澱池機械設備その1工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 1 号	江東区大島町6丁目付近枝線その4工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 2 号	宮城ポンプ所雨水ポンプ設備その1工事請負契約
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 3 号	予算外義務の負担について(第334号に関連して)
38. 7. 5	第2回定例会	第 3 3 4 号	日本提ポンプ所雨水ポンプ設備その3工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 4 号	予算外義務の負担について(第525号に関連して)
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 5 号	小台処理場建設その8工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 6 号	常盤橋地区千代田区大手町2丁目付近管渠移設その1工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 7 号	常盤橋地区千代田区大手町2丁目付近管渠移設その2工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 8 号	常盤橋地区千代田区大手町2丁目付近管渠移設その3工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 2 9 号	江戸川区逆井2丁目付近枝線工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 0 号	藍染川幹線雨水吐その2工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第 5 3 1 号	尾久幹線その8工事請負契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
38. 10. 2	第3回定例会	第532号	尾久幹線その9工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第533号	板橋区小豆沢4丁目付近枝線工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第534号	板橋区志村町3丁目付近枝線工事請負契約
38. 10. 2	第3回定例会	第535号	岩淵幹線その11工事請負契約
38. 12. 21	第4回定例会	第671号	予算外義務の負担について(三河島処理場第1沈澱池機械設備その2工事)
38. 12. 21	第4回定例会	第672号	予算外義務の負担について(三河島処理場第2沈澱池機械設備その2工事)
38. 12. 21	第4回定例会	第673号	予算外義務の負担について(三河島処理場汚泥ポンプ設備その2工事)
38. 12. 21	第4回定例会	第674号	予算外義務の負担について(三河島処理場曝気槽散気設備その2工事)
38. 12. 21	第4回定例会	第675号	予算外義務の負担について(三河島処理場消毒設備その1工事)
38. 12. 21	第4回定例会	第676号	予算外義務の負担について(藍染ポンプ所ポンプ設備その2工事)
38. 12. 21	第4回定例会	第677号	予算外義務の負担について(藍染ポンプ所電気設備その2工事)
39. 3. 23	第1回定例会	第47号	日本堤ポンプ所建設その6工事請負契約
39. 3. 23	第1回定例会	第48号	日本堤ポンプ所電気設備その1工事請負契約

(5) 購入契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
38. 10. 2	第3回定例会	第523号	森ヶ崎処理場用地の買収について

(6) 売却契約

議決年月日	種別	議案番号	件名
38. 10. 2	第3回定例会	第360号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地売却契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第361号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地売却契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第362号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地売却契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第363号	常盤橋地区再開発計画に伴う土地交換契約について
38. 10. 2	第3回定例会	第364号	常盤橋地区再開発計画に伴う銭坂町ポンプ所の建築物屋上の使用に関する契約

3. 行政官庁許認可事項

該当事項なし

4. 職員に関する事項

(1) 昭和39年3月31日現在の職員は2,393名で、その内訳はつぎのとおりである。

種別 区分	事務吏員	技術吏員	雇員	傭員	休養者	休職者	計
経営部門	113名	171名	511名	762名	5名	2名	1,564名
建設改良部門	71	188	483	79	7	1	829
計	184	359	994	841	12	3	2,393

(2) 職員構成表

(イ) 勤続年数別職員構成表

年数別	種別		事務職員	技術職員	その他の	臨時職員	計
	名	名					
1年未満		15	123	4	1	143	
1年以上3年未満		70	658	3		731	
3ヶ月5ヶ月		69	442	3	3	517	
5ヶ月7ヶ月		40	177	6	6	229	
7ヶ月10ヶ月		39	103		6	148	
10ヶ月15ヶ月		105	150	1	14	270	
15ヶ月20ヶ月		52	101	1	8	162	
20ヶ月25ヶ月		16	55			71	
25ヶ月30ヶ月		16	36	1		53	
30ヶ月40ヶ月		18	74			92	
40年以上		2	13			15	
計		442	1,932	19	38	2,431	
総勤続年数		4,735	14,124.5	115.5	449	19,424	
1人当たり平均		11	7	6	12	8	

(ロ) 年令別職員構成表

年数別	種別		事務職員	技術職員	その他の	臨時職員	計
	名	名					
20才以下		10	134				144
21才以上25才以下		46	550				596
26ヶ月30ヶ月		93	324	1			418
31ヶ月35ヶ月		136	272	7	2		417
36ヶ月40ヶ月		61	206	6			273
41ヶ月45ヶ月		27	112	1			140
46ヶ月50ヶ月		22	78	1			101
51ヶ月55ヶ月		23	88	1	2		114
56ヶ月60ヶ月		12	83		5		100
61才以上		12	85	2	29		128
計		442	1,932	19	38	2,431	
総年令		15,472	64,014	753	1,831	80,239	
1人当たり平均		35	33	40	48		33

(3) 職員の給料について

昭和39年3月28日「職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」(39.4.1施行, 38.10.1より適用)が公布された。これに従い「東京都下水道局職員の給与に関する規程」の一部も昭和39年4月1日に改正された。

5. 料金その他供給条件の設定変更に関する事項

該当事項なし

第2章 財務

第1節 財政

1. 昭和38年度東京都下水道事業予算決算対照表

(1) 収益的収入及び支出

収入

区分	予算額(A)	決算額(B)	差引予算残額	執行率(B/A)
第1款下水道事業収益	5,428,413,000	5,178,271,643	250,141,357	95.4
第1項 営業収益	3,683,691,532	3,364,193,625	319,497,907	91.3
下水道料金	2,288,000,000	2,042,551,928	245,448,072	89.3
一般会計繰入金	721,500,000	721,500,000	0	100.0
受託事業収益	252,000,000	241,502,085	10,497,915	95.8
その他営業収益	422,191,532	358,639,612	63,551,920	84.9
第2項 営業外収益	1,744,721,468	1,814,078,018	△ 69,356,550	104.0
受取利息	29,189,000	48,376,050	△ 19,187,050	165.7
土地物件収益	44,000,000	63,008,310	△ 19,008,310	143.2
一般会計繰入金	1,652,483,000	1,651,940,621	542,379	100.0
雑 収	19,049,468	50,753,037	△ 31,703,569	266.4
計	5,428,413,000	5,178,271,643	250,141,357	95.4

支出

区分	予算額(A)	決算額(B)	差引予算残額	執行率(B/A)
第1款 下水道管理費	5,428,413,000	5,379,176,656	49,236,344	99.1
第1項 営業費用	3,754,241,000	3,709,086,635	45,154,365	98.8
管渠費	694,741,000	677,399,461	17,341,539	97.5
ポンプ場費	294,900,000	294,825,749	74,251	100.0
処理場費	813,000,000	809,150,276	3,849,724	99.5
受託事業費	252,000,000	241,502,085	10,497,915	95.8
業務費	432,000,000	431,230,993	769,007	99.8
総係費	213,000,000	203,364,117	9,635,883	95.5
減価償却費	940,000,000	938,455,576	1,544,424	99.8
資産減耗費	107,000,000	106,555,464	444,536	99.6
その他営業費用	7,600,000	6,602,914	997,086	86.9
第2項 営業外費用	1,673,172,000	1,670,090,021	3,081,979	99.8
支払利息及企業債取扱諸費	1,652,901,784	1,651,940,621	961,163	99.9
雜支出	20,270,216	18,149,400	2,120,816	89.5
第3項 予備費	1,000,000	0	1,000,000	
計	5,428,413,000	5,379,176,656	49,236,344	99.1

(2) 資本的収入及び支出

収 入

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率($\frac{B}{A}$)
第1款 企 業 債 債 債	円 10,100,000,000	円 10,093,375,000	円 6,625,000	% 99.9
第1項 企 業 債 債 債	10,100,000,000	10,093,375,000	6,625,000	99.9
企 業 債 債 債	10,100,000,000	10,093,375,000	6,625,000	99.9
第2款 一 般 会 計 緑 緑 入 入 金 金 金 金 金 金	3,712,201,000	3,676,689,191	35,511,809	99.0
第1項 一 般 会 計 緑 緑 入 入 金 金 金 金 金 金	3,712,201,000	3,676,689,191	35,511,809	99.0
企 業 債 元 金 金 金 金 金 金	356,201,000	356,200,400	600	100.0
下 水 道 拡 張 事 業 費 緑 緑 入 入 金 金 金 金 金	2,100,000,000	2,100,000,000	0	100.0
特 別 失 業 対 策 下 水 施 設 費 緑 緑 入 入 金 金 金 金	200,000,000	200,000,000	0	100.0
下 水 道 整 備 充 充 事 業 費 緑 緑 入 入 金 金 金 金	606,000,000	606,000,000	0	100.0
都 市 改 造 下 水 施 設 費 緑 緑 入 入 金 金 金 金	120,000,000	84,488,791	35,511,209	70.4
新 河 岸 川 清 水 化 下 水 施 設 費 緑 入 金 金 金 金	330,000,000	330,000,000	0	100.0
第3款 国 庫 補 助 金 金 金 金	1,330,000,000	1,210,000,000	120,000,000	91.0
第1項 国 庫 補 助 金 金 金 金	1,330,000,000	1,210,000,000	120,000,000	91.0
国 庫 補 助 金 金 金 金	1,330,000,000	1,210,000,000	120,000,000	91.0
第4款 固 定 資 産 売 却 収 入 入 入	134,884,192	23,850,689	111,033,503	17.7
第1項 固 定 資 産 売 却 収 入 入 入	134,884,192	23,850,689	111,033,503	17.7
固 定 資 産 売 却 収 入 入 入	134,884,192	23,850,689	111,033,503	17.7
第5款 貸 付 金 返 還 金 金 金 金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
第1項 貸 付 金 返 還 金 金 金 金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
貸 付 金 返 還 金 金 金 金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
第6款 そ の 他 資 本 収 入 入 入	20,000,000	59,178,837	△ 39,178,837	295.9
第1項 そ の 他 資 本 収 入 入 入	20,000,000	59,178,837	△ 39,178,837	295.9
そ の 他 資 本 収 入 入 入	20,000,000	59,178,837	△ 39,178,837	295.9
計	15,304,085,192	15,070,093,717	233,991,475	98.5

支 出

区 分	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	差引予算残額	執行率($\frac{B}{A}$)
第1款 建 設 改 良 良 費 費	円 18,086,350,911	円 15,255,745,812	円 2,830,605,099	% 84.3
第1項 建 下 水 道 改 良 良 費 費	729,200,000	619,239,827	109,960,173	84.9
管 渠 プ 施 場 施 建 設 費 費	280,500,000	247,418,317	33,081,683	88.2
ボ ン プ 施 場 施 建 設 費 費	136,200,000	131,280,567	4,919,433	96.4
處 諸 設 建 設 拡 張 費 費	207,300,000	203,878,928	3,421,072	98.3
第2項 下 水 道 拡 張 費 費	105,200,000	36,662,015	68,537,985	34.8
施 特 別 失 業 対 策 下 水 施 設 費 費	17,357,150,911	14,636,505,985	2,720,644,926	84.3
特 別 失 業 対 策 下 水 施 設 費 費	12,748,238,032	11,703,684,207	1,044,553,825	91.8
下 水 道 整 備 拡 充 費 費	240,000,000	229,401,819	10,598,181	95.6
都 市 改 造 下 水 施 設 費 費	2,928,912,879	1,711,386,970	1,271,525,909	58.4
新 河 岸 川 清 水 化 下 水 施 設 費	120,000,000	84,488,791	35,511,209	70.4
	1,320,000,000	907,544,198	412,455,802	68.8
第2款 企 業 債 債 債 還 金 金	456,201,000	456,200,400	600	100.0
第1項 企 業 債 債 債 還 金 金	456,201,000	456,200,400	600	100.0
企 業 債 債 債 還 金 金	456,201,000	456,200,400	600	100.0
第3款 貸 付 金 金 金 金 金 金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
第1項 貸 付 金 金 金 金 金 金	7,000,000	7,000,000	0	100.0
職 員 務 互 助 組 合 貸 付 金 金 金 金	6,000,000	6,000,000	0	100.0
業 員 務 委 託 貸 付 金 金 金 金 金 金	1,000,000	1,000,000	0	100.0
計	18,549,551,911	15,718,946,212	2,830,605,699	84.7

1. 資本的支出予算額のうち、建設改良工事の繰越は次のとおりである。

下水道拡張費 2,488,230,522円

2. 資本的収入合計15,070,093,717円と資本的支出合計15,718,946,212円との収入不足額648,852,495円に翌年度への繰越工事に対する資金留保額2,488,230,522円を加えた資金不足額3,137,083,017円については、次のとおり補てんした。

内訳	(1) 前年度からの繰越工事資金	515,150,911円
	(2) 当年度利益剰余金充当	1,770,115,808
	(3) 損益勘定留保資金	851,816,298

2. 昭和38年度東京都下水道事業損益計算書

1 営業収益

(1) 下水道料金	2,042,551,928円
(2) 一般会計繰入金	721,500,000
(3) 受託事業収益	241,502,085
(4) その他営業収益	<u>358,639,612</u> 3,364,193,625円

2 営業費用

(1) 管渠費	677,399,461
(2) ポンプ場費	294,825,749
(3) 処理場費	809,150,276
(4) 受託事業費	241,502,085
(5) 業務費	431,230,993
(6) 総係費	203,364,117
(7) 減価償却費	938,455,576
(8) 資産減耗費	106,555,464
(9) その他営業費用	<u>6,602,914</u> 3,709,086,635

営業損失

344,893,010円

3 営業外収益

(1) 受取利息	48,376,050
(2) 土地物件収益	63,008,310
(3) 一般会計繰入金	1,651,940,621
(4) 雜 収	<u>50,753,037</u> 1,814,078,018

当年度総利益

1,469,185,008

4 営業外費用

(1) 支払利息及企業債取扱諸費	1,651,940,621
(2) 雜 支 出	<u>18,149,400</u> 1,670,090,021

当年度純損失

200,905,013

損 益 計 算 書

借 方

貸 方

營 業

營 業

管 漡 費	677,399,461円
ポンプ場費	294,825,749
処理場費	809,150,276
受託事業費	241,502,085
業務費	431,230,993
総係費	203,364,117
減価償却費	938,455,576
資産減耗費	106,555,464
その他営業費用	6,602,914

費

收

37 億 908 万 6 千 635 円

33 億 6 千 419 万 3 千 625 円

用

下水道料金	2,042,551,928円
一般会計繰入金	721,500,000
受託事業収益	241,502,085
その他営業収益	358,639,612

(68.95%)

(62.54%)

營 業 外 費 用

營 業 外 収 益

16 億 7 千 9 万 21 円

支 払 利 息 及 企 業 債 取 拠 諸 費	1,651,940,621円
雜 支 出	18,149,400

(31.05%)

18 億 1 千 407 万 8 千 18 円
(33.72%)

當年 純損失 2億90万5413円

3. 昭和38年度東京都下水道事業剰余金計算書

利益剰余金の部

I 減債積立金

1 前年度末残高	3,900,000円
2 前年度繰入額	<u>6,000,000</u>
3 当年度末残高	9,900,000円

II 建設改良積立金

1 前年度末残高	5,000,000
2 前年度繰入額	114,000,000
3 当年度処分額	<u>114,000,000</u>
4 当年度末残高	5,000,000
積立金合計	<u>14,900,000円</u>

III 未処分利益剰余金

1 前年度未処分利益剰余金	120,214,921
2 前年度利益剰余金処分額	
(1) 減債積立金	6,000,000
(2) 建設改良積立金	<u>114,000,000</u>
繰越利益剰余金	120,000,000
214,921	
3 繰越利益剰余金増加高	
(1) 固定資産売却益	2,442,326,226
(2) 過年度損益修正	<u>10,079,357</u>
2,452,405,583	
4 繰越利益剰余金減少高	
(1) 整備拡充除却損	<u>61,584,708</u>
61,584,708	
繰越利益剰余金年度末残高	2,391,035,796
5 当年度純損失	<u>200,905,013</u>
当年度未処分利益剰余金	2,190,130,783

資本剰余金の部

I 国庫補助金

1 前年度末残高	1,223,320,000円
2 当年度発生高	<u>1,210,000,000</u>
3 当年度末残高	2,433,320,000円

II 工事負担金

1 前年度末残高	0
2 当年度発生高	<u>84,488,791</u>
3 当年度末残高	84,488,791

III 受贈財産評価額

1 前年度末残高	2,594,302,580
2 当年度発生高	<u>110,563,207</u>
3 当年度末残高	2,704,865,787

IV 事業施設建設受入寄付金

1 前年度末残高	196,732,443
2 当年度発生高	<u>57,245,537</u>
3 当年度末残高	253,977,980

V 保険差益

1 前年度末残高	<u>237,653</u>
2 当年度末残高	<u>237,653</u>
資本剰余金合計	<u>5,476,890,211円</u>
翌年度繰越資本剰余金	<u>5,476,890,211</u>

4. 昭和38年度東京都下水道事業剰余金処分計算書

I 当年度末処分利益剰余金	2,190,130,783円
II 利益剰余金処分額	
1 減債積立金	109,500,000円
2 建設改良積立金	<u>2,080,000,000</u>
	<u>2,189,500,000円</u>
(1,770,115,808円については議決済処分額)	
III 翌年度繰越利益剰余金	<u>630,783</u>

5. 昭和38年度東京都下水道事業貸借対照表

この会計年度末

資産の部

I 固定資産

1 有形固定資産

(1) 土 地	5,018,803,395円
(2) 立 木	7,364,649
(3) 建 物	3,540,288,193円
減価償却引当金	<u>210,187,274</u> 3,330,100,919
(4) 構 築 物	40,068,289,528
減価償却引当金	<u>3,781,580,966</u> 36,286,708,562
(5) 機 械 及 装 置	6,694,132,541
減価償却引当金	<u>697,517,981</u> 5,996,614,560
(6) 車 両 運 搬 具	119,543,815
減価償却引当金	<u>61,169,598</u> 58,374,217
(7) 器 具 備 品	117,688,058
減価償却引当金	<u>47,273,534</u> 70,414,524
(8) 建 設 仮 勘 定	17,469,088,681
有形固定資産合計	68,237,469,507円

2 無形固定資産

(1) 借 地 権

15,707,197

(2) 電気ガス供給施設利用権

140,828,961

無形固定資産合計

156,536,158

3 投資資産

(1) 有価証券

120,001,360

(2) 長期職員互助組合貸付金

4,000,000

投資資産合計

16,001,360

固定資産合計

68,410,007,025

II 流動資産

1 現金及預金

(1) 預 金 4,168,853,601円

2 未 収 金

(1) 営業未収金 434,614,049円

(2) 営業外未収金 684,120,982

(3) その他未収金 1,994,084,190 3,112,819,221

3 貯 藏 品

(1) 材 料 128,356,028

(2) 備 消 耗 品 6,760,716

(3) その他貯藏品 3,229,778 138,346,522

4 仮 払 金

(1) 概 算 金 74,045,541

5 その他流動資産

(1) その他流動資産 350,752

流動資産合計 7,494,415,637円

III 繰 延 勘 定

1 企業債発行差金

(1) 企業債発行差金 6,625,000

繰延勘定合計 6,625,000

資産合計 75,911,047,662

負債の部

IV 流動負債

1 未 払 金

(1) 営業未払金 343,923,396

(2) 工事未払金 3,616,311,198

(3) その他未払金 49,867,600 4,010,102,194

2 前 受 金

(1) 営業前受金 7,770,089

(2) その他前受金 656,270 8,426,359

3 預り金

(1) 預り保証金	15,643,500円
(2) 預り諸税	8,212,645
流动負債合計	<u>23,856,145円</u>
負債合計	<u>4,042,384,698円</u>

資本の部

V 資本金

1 自己資本金

(1) 自己資本金	32,972,447,970
-----------	----------------

2 借入資本金

(1) 企業債	<u>31,214,294,000</u>
---------	-----------------------

資本金合計 64,186,741,970

VI 剰余金

1 資本剰余金

(1) 国庫補助金	2,433,320,000
(2) 工事負担金	84,488,791
(3) 受贈財産評価額	2,704,865,787
(4) 事業施設建設 受入寄付金	253,977,980
(5) 保険差益	<u>237,653</u>

資本剰余金合計 5,476,890,211

2 利益剰余金

(1) 減債積立金	9,900,000
(2) 建設改良積立金	5,000,000
(3) 当年度未処分利益剰余金	

継越利益剰余金
年度末残高 2,391,035,796円当年度純損失 200,905,013 2,190,130,7832,205,030,783利益剰余金合計 7,681,920,994剰余金合計 71,868,662,964資本合計 75,911,047,662

負債資本合計

貸 借 対 照 表

借 方

貸 方

固

資

定

本

684
億
1
千
万
7
千
25
円

資

641
億
8
千
674
万
1
千
970
円

產

有形固定資產 68,237,469,507円
無形固定資產 156,536,158
投資資產 16,001,360

(84.555%)

(90.119%)

現金及預金 4,168,853,601円
未収金 3,112,819,221
貯蔵品 138,346,522
仮払金 74,045,541
その他流動資產 350,752

流動資產

74億9千441万5千637円

(9.872%)

資本剰余金 5,476,890,211円
利益剰余金 2,205,030,783

剰余金

76億8千192万994円

(10.120%)

緑延勘定 662万5千円 (0.009%)

6. 貸借対照表、損益計算書の比較と分析

(1) 比較貸借対照表

区分	38年度	37年度	差引
有形固定資産	68,237,469,507	54,097,101,858	14,140,367,649
無形固定資産	156,536,158	68,935,180	87,600,978
投資資産	16,001,360	12,856,400	3,144,960
固定資産計	68,410,007,025	54,178,893,438	14,231,113,587
現金及預金	4,168,853,601	1,037,835,493	3,131,018,108
未収金	3,112,819,221	1,868,215,170	1,244,604,051
貯蔵品	138,346,522	100,950,922	37,395,600
仮払金	74,045,541	32,886,100	41,159,441
その他流動資産	350,752	0	350,752
流動資産計	7,494,415,637	3,039,887,685	4,454,527,952
企業債発行差金	6,625,000	0	6,625,000
繰延勘定計	6,625,000	0	6,625,000
資産合計	75,911,047,662	57,218,781,123	18,692,266,539
引当金	0	56,895,244	△ 56,895,244
固定負債計	0	56,895,244	△ 56,895,244
未払金	4,010,102,194	2,127,974,916	1,882,127,278
未払費用	0	25,482,903	△ 25,482,903
前受金	8,426,359	1,170,862	7,255,497
預り金	23,856,145	26,807,631	△ 2,951,486
流動負債計	4,042,384,698	2,181,436,312	1,860,948,386
負債計	4,042,384,698	2,238,331,556	1,804,053,142
自己資本金	32,972,447,970	29,266,247,570	3,706,200,400
借入資本金	31,214,294,000	21,570,494,400	9,643,799,600
資本金計	64,186,741,970	50,836,741,970	13,350,000,000
資本剰余金	5,476,890,211	4,014,592,676	1,462,297,535
利益剰余金	2,205,030,783	129,114,921	2,075,915,862
剰余金計	7,681,920,994	4,143,707,597	3,538,213,397
資本合計	71,868,662,964	54,980,449,567	16,888,213,397
負債資本合計	75,911,047,662	57,218,781,123	18,692,266,539

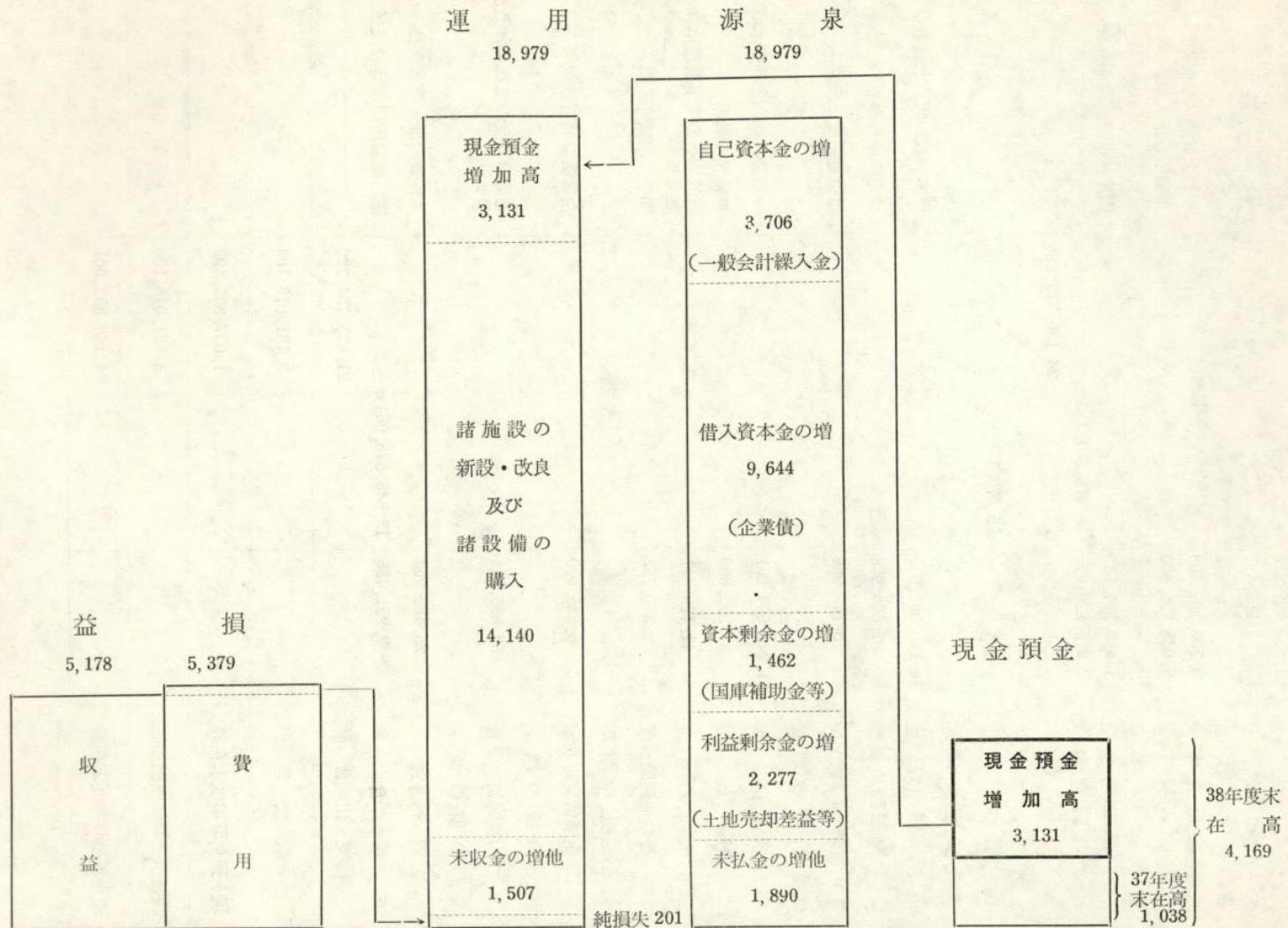
(2) 損益収支結合表

取 益	円	5,178,271,643	円
流動負債の増加			建設改良工事費等の未払分 管渠改造工事分担金等の概算前 受額
未 払 金	1,882,127,278		
前 受 金	7,255,497		
資 本 の 増 加			一般会計繰入金等の組入れ 企業債の借入増
自 己 資 本 金	3,706,200,400		
借 入 資 本 金	9,643,799,600		
剩 余 金 の 増 加			国庫補助金、受贈財産、寄付等 土地売却差益
資 本 剰 余 金	1,462,297,535		
利 益 剰 余 金	2,276,820,875	18,978,501,185	
収 入 合 計			24,156,772,828
費 用		5,379,176,656	
固 定 資 産 の 増 加			
有形固定資産	14,140,367,649		下水施設の新設改良及び諸施設 の購入
無形固定資産	87,600,978		受電設備等の新設
投 資 資 産	3,144,960		電信電話債券の購入
流動資産の増加			
未 収 金	1,244,604,051		一般会計繰入金等の未収分
貯 藏 品	37,395,600		材料等の購入
仮 払 金	41,159,441		国鉄等への工事委託に伴う概算 金支払
その他流動資産	350,752		切手、印紙等の購入
繰 延 勘 定 の 増 加			
企業債発行差金	6,625,000		企業債の発行差金
固 定 負 債 の 減 少			
引 当 金	56,895,244		退職給与金の支払に伴う引当金 のとりくずし
流動負債の減少			
未 払 費 用	25,482,903		人件費の前年度分支払
預 り 金	2,951,486	15,646,578,064	源泉徴収所得税等の支払
支 出 合 計			21,025,754,720
取 支 差 引			3,131,018,108
現金預金37年度末在高			1,037,835,493
現金預金38年度増加高			3,131,018,108
現金預金38年度末在高			4,168,853,601

資 金 移 動 図 表

26

(単位 百万円)



(3) 損益計算書、貸借対照表百分比

損益計算書

区分		金額	比率	区分		金額	比率
営業費用		3,709,086,635	68.9	営業収益		3,364,193,625	62.5
営業外費用		1,670,090,021	31.1	営業外収益		1,814,078,018	33.7
				計		5,178,271,643	96.2
				当期純損失		200,905,013	3.8
借方合計		5,379,176,656	100.0	貸方合計		5,379,176,656	100.0
備考	減価償却費	938,455,576	17.4	備考	下水道料金	2,042,551,928	38.0
	支払利息	1,651,940,621	30.7		受託事業収益	241,502,085	4.5
	受託事業費	241,502,085	4.5		一般会計繰入金	2,373,440,621	44.1

貸借対照表

区分		金額	比率	区分		金額	比率
有形固定資産		68,237,469,507	89.891	未払金		4,010,102,194	5.283
無形固定資産		156,536,158	0.206	前受金		8,426,359	0.011
投資資産		16,001,360	0.021	預り金		23,856,145	0.031
現金及預金		4,168,853,601	5.492	自己資本金		32,972,447,970	43.436
未収金		3,112,819,221	4.101	借入資本金		31,214,294,000	41.119
貯蔵品		138,346,522	0.182	資本剩余额		5,476,890,211	7.215
仮払金		74,045,541	0.098	利益剩余额		2,205,030,783	2.905
その他流動資産		350,752	0				
企業債発行差金		6,625,000	0.009	負債資本合計		75,911,047,662	100.000
資産合計		75,911,047,662	100.000				

(4) 昭和34~38年度比較貸借対照表

区分	年 度				
	34年度末	35年度末	36年度末	37年度末	38年度末
資 产	千円	千円	千円	千円	千円
固定 资 产	25,686,798	32,732,911	43,408,075	54,178,893	68,410,007
流 动 资 产	2,531,855	3,802,952	3,556,443	3,039,888	7,494,416
現 金 及 預 金	1,461,585	2,032,909	1,546,792	1,037,836	4,168,854
未 収 金	1,001,164	1,657,025	1,861,787	1,868,215	3,112,819
貯 藏 品	67,648	108,721	143,247	100,951	138,347
その他流動資産	1,458	4,297	4,617	32,886	74,396
繰 延 勘 定					
企業債発行差金	0	0	0	0	6,625
資 产 合 計	28,218,653	36,535,864	46,964,519	57,218,781	75,911,048
負 債					
固 定 負 債	30,454	38,740	49,382	56,895	0
流 动 負 債	1,398,693	2,520,279	2,749,833	2,181,436	4,042,385
未 払 金	1,394,640	2,452,350	2,671,830	2,127,975	4,010,102
その他流動負債	4,053	67,929	78,003	53,461	32,283
負 債 合 計	1,429,147	2,559,019	2,799,215	2,238,331	4,042,385
資 本					
資 本 金	19,676,962	32,321,715	41,055,271	50,836,742	64,186,742
自 己 資 本 金	14,226,466	22,765,139	26,035,850	29,266,248	32,972,448
借 入 資 本 金	5,450,496	9,556,575	15,019,421	21,570,494	31,214,294
剩 余 金	7,112,544	1,655,129	3,110,033	4,143,708	7,681,921
資 本 剩 余 金	7,095,880	1,629,184	3,060,136	4,014,593	5,476,890
利 益 剩 余 金	16,664	25,944	49,897	129,115	2,205,031
欠 損 金	0	0	0	0	0
資 本 合 計	26,789,506	33,976,844	44,165,304	54,980,450	71,868,663
資本、負債合計	28,218,653	36,535,864	46,964,519	57,218,781	75,911,048

(5) 損益計算書、貸借対照表の分析比率

(イ) 資産、資本の構成比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位千円)
固定資産構成比率	固定資産 総資産	$\frac{68,410,007}{75,911,048} \times 100 = 90.1$ %
固定負債構成比率	固定負債 総資本	$\frac{31,214,294}{75,911,048} \times 100 = 41.1$
自己資本構成比率	自己資本 総資本	$\frac{40,654,369}{75,911,048} \times 100 = 53.6$
固定比率	固定資産 自己資本	$\frac{68,410,007}{40,654,369} \times 100 = 168.3$
長期資本対固定資産比率	自己資本 + 固定負債 固定資産	$\frac{71,868,663}{68,410,007} \times 100 = 105.1$
流動比率	流動資産 流動負債	$\frac{7,494,416}{4,042,385} \times 100 = 185.4$
酸性試験比率	現金預金 + 未収金 流動負債	$\frac{7,281,673}{4,042,385} \times 100 = 180.1$
現金比率	現金預金 流動負債	$\frac{4,168,853}{4,042,385} \times 100 = 103.1$

(ロ) 資産、資本の回転率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位千円)
総資本回転率	営業収益 総資本平均在高	$\frac{3,364,194}{63,424,556} = 0.05$
自己資本回転率	営業収益 自己資本平均在高	$\frac{3,364,194}{37,032,163} = 0.09$
固定資産対営業収益回転率	営業収益 固定資産平均在高	$\frac{3,364,194}{61,294,450} = 0.05$

減価償却率	当期償却費 減価償却資産	$\frac{938,456}{46,837,205} = 0.02$
流动資産回転率	営業収益 流动資産平均在高	$\frac{3,364,194}{5,267,152} = 0.64$
現金預金回転率	当期支出額 現金預金平均在高	$\frac{17,809,221}{2,603,345} = 6.84$
貯蔵品回転率	払出高 貯蔵品平均在高	$\frac{1,270,473}{119,649} = 10.62$
未収金回転率	営業収益 営業未収金平均在高	$\frac{3,364,194}{2,490,517} = 1.35$

(八) 損益に関する各種比率

種 別	算 出 方 法	実 数 (単位千円)
総資本利益率	当期純利益 総資本平均在高	$\frac{\triangle 200,905}{63,424,556} \times 100 = 0.32 (\%)$
営業収益対営業費用比率	営業収益 営業費用	$\frac{3,364,194}{3,709,087} \times 100 = 90.7 (\%)$
総収益対総費用比率	総収益 総費用	$\frac{5,178,272}{5,379,177} \times 100 = 96.3 (\%)$
利子負担率	支払利息 総負債平均在高	$\frac{1,651,941}{29,532,752} \times 100 = 5.6 (\%)$
企業債償還額対 減価償却額比率	企業債償還額 当期償却費	$\frac{456,200}{938,456} \times 100 = 48.6 (\%)$
職員1人当営業収益	営業収益 損益勘定所属職員数	$\frac{3,364,194}{1,594} = 2,111 (\text{円})$
職員1人当有形固定資産	有形固定資産 全職員数	$\frac{68,237,470}{2,431} = 28,070 (\text{円})$

(注) 本表における用語の説明

1. 負債 固定負債+流动負債
2. 固定負債 借入資本金
3. 自己資本 自己資本金+利益剰余金+資本剰余金
4. 平均在高 (期首在高+期末在高) $\div 2$

7. 企業債および一時借入金

(1) 企 業 債

種 別	発 行 年 月 日	發 行 額	償 還 高	未 償 還 残 高	借 入 先	發 行 價 格	利 率	債 還 終 期
		内 訳 昭和38年度分 昭和38年度末	内 訳 昭和38年度分 昭和38年度末					
下水道拡張	昭和 24年4月25日	円 10,100,000,000	円 450,818,572	円 31,206,508,454	資金運用部	円 99.00円 5,250,000,000	分 厘 6.3	昭和 63年3月
	39年3月28日	32,094,000,000	887,491,546		簡易保険局	99.75円 7,100,000,000	6.5 7.2	
					公 募 交付公債	100.00円 19,744,000,000	7.3 7.5	
管渠移設復旧	21年5月20日 26年3月15日	0 17,140,000	1,648,428 13,516,454	3,623,546	資金運用部	100.00円	3.2 6.3	51年2月
水害下水道復旧	23年4月30日 25年3月25日	0 32,700,000	3,690,000 28,830,000	3,870,000	資金運用部	100.00円	6.3	42年3月
郊外下水道 改 良 費	17年5月20日	0 736,400	43,400 444,400	292,000	簡易保険局	100.00円	4.2	45年11月
計		10,100,000,000 32,144,576,400	456,200,400 930,282,400	31,214,294,000				

(2) 支 払 利 息

年 度	種 別	企 業 債 利 息	企 業 債 取 扱 費	計	備 考
38 年 度		円 1,609,253,023	円 42,687,598	円 1,651,940,621	

(3) 一 時 借 入 金

な し

第2節 固定資

有形固定資

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高
土地	1,149,785.78 ^{m²}	3,939,612,448 円
事務所用地	2,329.28	50,288,360
施設用地	1,139,342.59	3,817,026,223
その他用地	8,113.91	72,297,865
立木	—	7,131,053
建物	71,503.11	2,728,889,236
事務所用建物	9,286.52	221,899,142
施設用建物	44,744.85	2,304,227,376
公舎合宿用建物	7,741.26	111,872,328
倉庫車庫用建物	6,645.88	63,281,726
工場用建物	1,095.14	12,599,645
その他建物	1,989.46	15,009,019
構築物	—	32,198,625,489
排水設備	—	25,062,960,287
処理設備	—	6,647,720,465
諸設備	—	487,944,737
機械及装置	—	5,444,608,665
電気設備	—	1,954,164,114
ポンプ設備	—	959,836,713
処理機械設備	—	2,227,257,699
その他機械装置	—	303,350,139
車両運搬具	—	114,013,999
器具備品	—	102,309,850
建設仮勘定	—	13,472,384,690
合計	58,007,575,430	21,927,533,413

产 明 细 書

产 明 细 書

当 年 度	減 少 高	年 度 末	現 在 高	減価償却引当金	減価償却未済高
5,359.65	63,869,166	1,192,460.93	5,018,803,395	—	5,018,803,395
0	0	3,657.68	83,440,160	—	83,440,160
4,459.16	63,203,714	1,181,589.83	4,863,730,822	—	4,863,730,822
900.49	665,452	7,213.42	71,632,413	—	71,632,413
—	0	—	7,364,649	—	7,364,649
2,134.26	17,161,817	85,143.71	3,540,288,193	210,187,274	3,330,100,919
81.21	958,540	9,383.24	227,547,201	17,638,482	209,908,719
830.31	13,111,670	55,734.07	3,002,215,277	162,930,902	2,839,284,375
485.62	1,086,078	9,713.07	192,159,462	13,289,958	178,869,504
631.52	1,529,179	7,287.66	85,006,924	9,222,535	75,784,389
0	200,000	1,095.14	14,694,681	3,422,279	11,272,402
105.60	276,350	1,930.53	18,664,648	3,683,118	14,981,530
—	151,807,304	—	40,068,289,528	3,781,580,966	36,286,708,562
—	137,922,251	—	31,406,809,965	3,261,889,117	28,144,920,848
—	11,033,708	—	8,047,797,959	444,329,160	7,603,468,799
—	2,851,345	—	613,681,604	75,362,689	538,318,915
—	131,670,602	—	6,694,132,541	697,517,981	5,996,614,560
—	87,979,542	—	2,326,758,539	186,076,221	2,140,682,318
—	4,631,919	—	1,525,631,189	171,210,763	1,354,420,426
—	38,197,457	—	2,496,064,004	295,201,416	2,200,862,588
—	861,684	—	345,678,809	45,029,581	300,649,228
—	4,611,384	—	119,543,815	61,169,598	58,374,217
—	2,635,695	—	117,688,058	47,273,534	70,414,524
—	6,528,154,015	—	17,469,088,681	—	17,469,088,681
—	6,899,909,983	—	73,035,198,860	4,797,729,353	68,237,469,507

無形固定資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
借地権	1,250,156 円	19,073,186 円	4,616,145 円	15,707,197 円
電気ガス供給施設利用権	67,685,024	83,273,142	10,129,205	140,828,961
計	68,935,180	102,346,328	14,745,350	156,536,158

投資資産明細書

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加高	当年度減少高	年度末現在高
有価証券	電信電話債券	8,856,400 円	3,184,960 円	40,000 円
長期職員互助組合貸付金	互助組合貸付金	4,000,000	0	0
計		12,856,400	3,184,960	40,000
				16,001,360

(有形固定資産)

減価償却費

償却資産の種類	償却対象額	減価償却費
建物	2,820,429,032 円	56,242,250
構築物	29,195,240,788	598,687,309
機械及装置	5,202,456,987	242,473,607
車両運搬具	98,462,353	18,420,541
器具備品	89,794,940	7,886,519
計	37,406,384,100	923,710,226

(無形固定資産)

償却資産の種類	償却対象額	減価償却費
借地権	18,080,102 円	4,616,145
電気ガス供給施設利用権	145,008,056	10,129,205
計	163,088,158	14,745,350

第3章 下水道計画

第1節 東京都市計画下水道

東京の下水道計画は、従来旧東京市下水道、郊外下水道、旧隣接12カ町村下水道の3計画によつて事業を施行してきた。

戦後本都の復興計画に対応して、この3計画を統合した区部全域（練馬区の大部、板橋区の一部及び、新荒川以東を除く）を対象とする、約36,155ヘクタールの地域に下水道計画を策定、昭和25年7月10日建設省告示第740号で、東京都市計画下水道が決定された。しかし、近年における本都の著しい発展、極度の地盤沈下、あるいは集中豪雨の発生などにより、施設の追加変更が必要となつたため、昭和37年3月31日建設省告示第1,092号をもつて、昭和45年度までに区部全域の約70%，37,314ヘクタールの地域に普及を目ざす、計画変更を行なつた。

その後、区部周辺の人口増大、産業の発展などによつて、早急に区部全域に下水道を整備する必要が生じた。このため、これまで計画の対象外にあつた地域を計画に加え、区部全域に下水道計画を策定、昭和39年2月25日建設省告示第292号をもつて、区部全域の東京都市計画下水道が決定された。

この変更理由の主なものは次のとおりである。

（1）排水区域は、新荒川以東の地域（葛飾区の全部、足立、江戸川両区の大部）および練馬区の大部と中野、板橋両区の一部で、約15,539ヘクタールの地域を追加した。

（2）隅田川の主な汚染源となつてゐる、新河岸川流域の工場排水や、その他の汚水を処理するための浮間処理場と、その他必要施設を追加した。

なお、この計画では管渠延長10,061,479メートル（延長2,452,379メートルの増）、ポンプ所67カ所（25カ所増）、処理場9カ所（3カ所増）、処理施設1カ所となつており、計画内容は後記（3の第1）のとおりである。

第2節 東京都市計画下水道事業

この計画は昭和25年7月決定の都市計画下水道のうち急施を要する施設を緊急に施行する予定で、昭和28年都市計画事業として決定されたものである。

これは都心部及びその周辺、約19,326ヘクタールの地域について管渠約400,000メートル、ポンプ所7カ所、下水処理場6カ所を事業費90億円をもつて5カ年間に執行する計画であつた。けれども事業が資金難・用地難その他により予定通り進捗せず、更に準用河川と下水幹線の重複を調整する必要が生じた等の理由により再三にわたり年度割を延長してきた。しかし、近年における本都の発展に対処するため、37年3月都市計画下水道の計画変更の際、事業内容を大幅に拡大、昭和45年度までに都市計画下水道全域、37,314ヘクタールについて下水道を完成するよう事業計画を変更し、昭和37年3月31日、建設省告示第1,092号

号をもつて決定した。

更に37年12月22日には、都心部の総合的開発の一環として、銭瓶町ポンプ所周辺の市街地再開発が策定された。これに伴い銭瓶町ポンプ所、および主要管渠の移設が必要となり、建設省告示第3,205号をもつて前記の都市計画下水道事業の一部変更を行なつた。

一方、隅田川の汚濁は近年悪化の一途をたどり、環境衛生上種々の問題を提起しつつある。このことから、隅田川の浄化を本格的に推し進めることとなつた。この対策では、隅田川の主要汚染源である、新河岸川、神田川、及び隅田川上流部を浄化しようとするものである。当局では、この対策のひとつとして、新河岸川流域の工場廃水、その他の汚水を処理するため、浮間処理場とその他施設の事業計画を策定した。そして、昭和39年2月25日、建設省告示第292号をもつて決定された。

この事業計画は、従来の「東京都市計画下水道事業」を追加変更したもので、管渠延長5,475,051メートル、ポンプ所40カ所、処理場6カ所（処理能力410,000立方メートル）の施設を総事業費約2,277億円（一部執行済）をもつて施行するもので、施設の大要は、後記（3の第2）のとおりである。

第3節 東京都市計画下水道並びに同下水道事業 及びその執行年度割の概要

第1 東京都市計画下水道を次のように変更する。

（1）排水区域及び面積

排水区域名	面積 (ヘクタール)	区 域
芝浦	約 6,328	港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷、各区の大部、並びに文京、品川、目黒、世田谷、豊島、各区の一部
三河島	タ 3,936	台東、荒川、両区の全部、及び文京、豊島、両区の大部、並びに千代田、新宿、北、各区の一部
砂町	タ 3,977	墨田区の全部、及び江東区の大部、並びに中央、足立、江戸川、各区の一部
小台	タ 4,552	北、板橋、両区の大部、及び新宿、豊島、練馬、足立、各区の一部
落合	タ 6,151	中野、杉並、両区の大部、及び新宿、世田谷、渋谷、豊島、練馬、各区の一部

排水区域名	面積 (ヘクタール)	区 域
森ヶ崎	約 12,370	大田区の全部、及び世田谷、品川、目黒、各区の大部並びに渋谷、杉並、両区の一部
小菅	タ 5,382	足立区の大部並びに葛飾区の一部
葛西	タ 5,193	葛飾、江戸川、両区の大部
新河岸	タ 4,964	練馬区の大部並びに中野、板橋、両区の一部
計	タ 52,853	千代田、中央、港、新宿、文京、台東、墨田、江東、品川、大田、目黒、世田谷、渋谷、中野、杉並、豊島、練馬、北、荒川、板橋、足立、葛飾、江戸川、各区の全部

(2) 下水管渠

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延長 (メートル)	摘要
芝浦	千駄ヶ谷幹線ほか25幹線	断面 内径45~ 断面 巾750×高360	83,152	
	枝 線		1,270,172	
	計		1,353,324	
三河島	尾久幹線ほか14幹線	断面 内径80~ 断面 巾400×高250並列	63,578	
	枝 線		927,428	
	計		991,006	
砂町	小松川幹線ほか5幹線	管径 内径45~ 断面 巾600×高480	24,346	
	枝 線		831,382	
	計		855,728	
小台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35~ 断面 巾1,400×高600	32,207	
	枝 線		875,082	
	計		907,289	

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延長 (メートル)	摘要
落	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径60~ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝 線		1,266,435	
合	計		1,314,091	
森 ヶ 崎	烏山幹線ほか16幹線	断面 内径45~ 断面 巾2,000×高490	110,991	
	枝 線		2,076,671	
	計		2,187,662	
小 菅	梅田幹線ほか11幹線	断面 内径45~ 断面 巾600×高420	33,047	
	枝 線		639,553	
	計		672,600	
葛 西	中川幹線ほか14幹線	断面 内径50~ 断面 巾600×高480	42,590	
	枝 線		870,510	
	計		913,100	
新 河 岸	練馬幹線ほか5幹線	断面 内径40~ 断面 巾600×高540	41,529	
	枝 線		825,150	
	計		866,679	
合	計		10,061,479	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘要
芝 浦	港区新門前町地内	断面 1,500×500	渋谷川幹線雨水吐口
	他 250 カ所	省 略	
三 河 島	文京区関口水道町地内	断面 120×108	雑司ヶ谷幹線雨水吐口
	他 48 カ所	省 略	
砂 町	墨田区吾嬬町1丁目地内	断面 400×400	業平橋ポンプ所吐口
	他 13 カ所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 89 カ所	省 略	

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 224 カ所	省 略	
森 ケ 崎	目黒区下目黒2丁目地内	断 面 2,800×500	目黒川幹線雨水吐口
	他 93 カ所	省 略	
小 菅	足立区小台大門町地内	断 面 420×252	熊の木ポンプ所吐口
	他 8 カ所	省 略	
葛 西	葛飾区水元飯塚町地内	断 面 420×210	稻荷ポンプ所吐口
	他 10 カ所	省 略	
新 河 岸	練馬区北町2丁目地内	断 面 600×480	田柄川幹線雨水吐口
	他 134 カ所	省 略	

(4) ポンプ所

主要設備省略

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝	錢瓶町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	箱崎町	中央区日本橋箱崎町4丁目地内	0.01
	浜町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	桜橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
浦	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02	汐留	中央区銀座東8丁目及び 築地5丁目地内	0.20
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	和 泉 町	千代田区神田和泉町地内	0.05	南 千 住	荒川区南千住町8丁目地内	0.16
	日本堤	台東区浅草日本堤2丁目 地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56
砂 町	業平橋	墨田区吾嬬橋3丁目地内	0.44	越 中 島	江東区深川越中島町地内	0.08
	三ノ橋	墨田区豊川4丁目地内	0.47	東 雲	江東区深川8号埋立地内	0.30

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘ ター ル)	名 称	位 置	地 積 (ヘ ター ル)
砂 町	佃 島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.50	木 場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89
	月 島	中央区新佃島東町1丁目地内	0.05	千 住 西	足立区千住桜木町地内	0.40
	千 住	足立区千住曙町地内	0.60	小 松 川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	隅 田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62	大 島	江東区大島町6丁目地内	0.89
	吾 嫒	墨田区吾嬬町東5丁目地内	0.62	砂 町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小 台	志 村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	王 子	北区豊島2丁目地内	0.47
	志 茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮 城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	鹿 浜	足立区南堀之内町地内	0.70			
森 ヶ 崎	鮫 州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高 畑	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜 川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六 郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平和島	大田区平和島地内	0.55	羽 田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢 口	大田区古市町地内	0.50			
小 菅	熊の木	足立区大台大門町地内	0.48	五 兵 衛	足立区五兵衛町地内	0.30
	舍 人	足立区入谷町地内	0.12	伊 藤 谷	足立区五兵衛町地内	0.09
	高 野	足立区高野町地内	0.12	普 賢 寺	足立区普賢寺町地内	0.11
	伊 興	足立区伊興町谷下地内	0.08	亀 有	葛飾区青戸町4丁目地内	0.51
	梅 田	足立区梅田町地内	1.16	本 田	葛飾区本田木根川町地内	0.56
	東島根	足立区東栗原町地内	0.12	堀 切	葛飾区堀切町1丁目地内	0.58
	加 平	足立区東加平町五兵衛町 各地内	0.28			
葛 西	稻 荷	葛飾区水元飯塚町地内	0.37	西小松川	江戸川区西小松川2丁目地内	0.45
	水 元	葛飾区水元小合町地内	0.22	東小松川	江戸川区東小松川1丁目地内	0.57
	新 宿	葛飾区新宿町3丁目地内	0.56	前 野	江戸川区前野町東篠崎町 各地内	0.42

排水区域名	名称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名称	位 置	地 積 (ヘクタール)
葛西	細 田	葛飾区奥戸新町地内	0.75	下 鎌 田	江戸川区江戸川2・3丁目 東瑞江2丁目各地内	0.51
	小 岩	江戸川区興之宮町地内	0.60	瑞 江	江戸川区西瑞江町4丁目 地内	0.18
	平 井	葛飾区平井中町地内	0.54	一 之 江	江戸川区東船堀町地内	0.48

(5) 处理場

排水区域名	名称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
芝 浦	芝 浦	港区芝高浜町及び芝海岸通 5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三 河 島	三 河 島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	〃
砂 町	砂 町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	〃
小 台	小 台	足立区宮城町地内	9.47	〃
落 合	落 合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	〃
森 ケ 崎	森 ケ 崎	大田区森ヶ崎町及び京浜 三区埋立地内	36.36	〃
小 菅	小 菅	葛飾区小菅町地内	14.32	〃
葛 西	葛 西	江戸川区新田2丁目地先	13.34	〃
新 河 岸	新 河 岸	板橋区新河岸町地内	15.95	〃

(6) その他の施設

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
小 台	浮 間	板橋区舟渡町1丁目 北区浮間町4丁目各地内	4.91	主要施設等 省 略

第2 昭和37年12月22日建設省告示、第3.025号東京都市計画下水道事業を次のように変更する。

(1) 排水区域及び面積

東京都市計画下水道に同じ

(2) 下水管渠

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延 長 (メートル)	摘 要
芝浦	千駄ヶ谷幹線ほか15幹線	断面 内径45~ 巾750×高360	33,407	
	枝 線		578,878	
	計		612,285	

排水区域名	名 称	管径又は断面 (センチメートル)	延長 (メートル)	摘要
三 河 島	尾久幹線ほか13幹線	断面 内径25~ 断面 440×264	29,243	
	枝 線		47,834	
	計		77,077	
砂 町	小松川幹線ほか5幹線	断面 内径45~ 断面 巾600×高480	19,211	
	枝 線		505,009	
	計		524,220	
小 台	浮間幹線ほか6幹線	断面 内径35~ 断面 巾1,400×高600	31,116	
	枝 線		761,420	
	計		792,536	
落 合	中新井幹線ほか7幹線	断面 内径40~ 断面 巾800×高350	47,656	
	枝 線		1,247,986	
	計		1,295,642	
森 ヶ 崎	鳥山幹線ほか16幹線	断面 内径45~ 断面 巾1,400×高450	103,161	
	枝 線		2,070,130	
	計		2,173,291	
合 計			5,475,051	

(3) 吐 口

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘要
芝 浦	中央区日本橋浜町2丁目地内	管 径 165	浜町ポンプ所吐口
	他 42 カ所	省 略	
三 河 島	文京区春日町1丁目地内	断 面 330×330	白山幹線雨水吐口
	他 7 カ所	省 略	

排水区域名	位 置	管 径 又 は 断 面 (センチメートル)	摘 要
砂 町	中野区新佃島東町1丁目地内	断 面 270×162	佃島ポンプ所吐口
	他 9カ所	省 略	
小 台	板橋区長後1丁目地内	断 面 480×288	志村幹線雨水吐口
	他 74カ所	省 略	
落 合	中野区江古田1丁目地内	断 面 480×288	中新井幹線雨水吐口
	他 217カ所	省 略	
森 ケ 崎	大田区新井宿7丁目地内	断 面 480×336	馬込西幹線雨水吐口
	他 89カ所	省 略	

(4) ポンプ所

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
芝	銭 甌 町	千代田区大手町2丁目地内	0.60	桜 橋	中央区西八丁堀4丁目及び 新富町1丁目地内	0.20
	浜 町	中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内	0.06	汐 留	中央区銀座東8丁目及び 築地5丁目地内	0.20
浦	中 州	中央区日本橋中州地内	0.02			
	箱 崎 町	中央区日本橋箱崎町 4丁目地内	0.01			
三 河 島	湯 島	文京区湯島切通町地内	0.17	汐 入	荒川区南千住町10丁目地内	0.09
	日 本 堤	台東区浅草日本堤 2丁目地内	0.32	藍 染	荒川区荒川8丁目 三河島処理場構内	—
	山 谷	台東区浅草橋場3丁目地内	0.06	町 屋	荒川区三河島町9丁目地内	0.39
	橋 場	荒川区南千住町3丁目地内	0.06	尾 久	荒川区尾久町9丁目地内	0.56
砂 町	業 平 橋	墨田区吾妻橋3丁目地内	0.44	千 住 西	足立区千住桜木町地内	0.40
	三 ノ 橋	墨田区豊川4丁目地内	0.47	千 住	足立区千住曙町地内	0.60
	佃 島	中央区新佃島東町1丁目 地内	0.50	隅 田	墨田区隅田町1丁目地内	0.62
	月 島	中央区新佃島東町1丁目 地内	0.05	吾 嫦	墨田区吾嬬町東5丁目地内	0.62

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)
砂 町	趣 中 島	江東区深川越中島町地内	0.08	小 松 川	江戸川区平井1丁目地内	0.47
	東 雲	江東区深川8号埋立地地内	0.30	大 島	江東区大島6丁目地内	0.89
	木 場	江東区深川豊住町3丁目地内	0.89	砂 町	江東区南砂町5丁目地内	0.88
小 台	志 村	板橋区小豆沢4丁目地内	0.81	鹿 浜	足立区南堀之内町地内	0.70
	志 茂	北区志茂1丁目地内	0.70	宮 城	足立区宮城町 小台処理場構内	—
	王 子	北区豊島2丁目地内	0.47			
森 ケ 崎	鮫 州	品川区大井鮫州町地内	0.54	高 畑	大田区西六郷3丁目地内	0.06
	浜 川	品川区大井北浜川町地内	0.16	六 郷	大田区南六郷1丁目及び 2丁目地内	0.71
	平 和 島	大田区平和島地内	0.55	羽 田	大田区羽田旭町地内	0.88
	矢 口	大田区古市町地内	0.50			

(5) 処 理 場

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
芝 浦	芝 浦	港区芝高浜町及び芝海岸通5丁目地内	18.18	主要施設等省略
三 河 島	三 河 島	荒川区荒川8丁目地内	18.49	々
砂 町	砂 町	江東区南砂町9丁目地内	49.14	々
小 台	小 台	足立区宮城町地内	9.47	々
落 合	落 合	新宿区上落合1丁目地内	7.06	々
森 ケ 崎	森 ケ 崎	大田区森ヶ崎町及び京浜三区埋立地地内	36.36	々

(6) その他の施設

排水区域名	名 称	位 置	地 積 (ヘクタール)	摘 要
小 台	浮 間	板橋区舟渡町1丁目 北区浮間町4丁目各地内	4.91	主要施設等省略

第3 昭和37年3月31日 建設省告示第1092号都市計画下水道事業の執行年度割を次のように変更する。

自至	昭和28年度 昭和37年度	約1割7分
	昭和38年度	約 7分
	昭和39年度	約 1割
	昭和40年度	約1割2分
	昭和41年度	約1割2分
	昭和42年度	約1割1分
	昭和43年度	約1割1分
	昭和44年度	約1割1分
	昭和45年度	約 9分

事業費改訂経過

年次	年度	昭和33年3月 第1回(建設省告示 変更第983号)		昭和35年3月 第2回(建設省告示 変更第805号)		昭和36年3月 第3回(建設省告示 変更第815号)		昭和37年3月 第4回(建設省告示 変更第1,092号)		昭和39年2月 第5回(建設省告示 変更第292号)	
		事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合	事業費	歩合
1	28	千円 490,760	% 5.5	千円 490,760	% 2.5	千円 490,760	% 1.7	千円 490,760	% 0.2	千円 490,760	% 0.2
2	29	434,046	4.8	434,046	2.2	434,046	1.5	434,046	0.2	434,046	0.2
3	30	744,073	8.3	744,073	3.7	744,073	2.5	744,073	0.3	744,073	0.3
4	31	1,047,411	11.6	1,047,411	5.3	1,047,411	3.6	1,047,411	0.5	1,047,411	0.5
5	32	2,226,000	24.7	2,032,984	10.2	2,032,984	6.9	2,032,984	0.9	2,032,984	0.9
6	33	3,000,000	33.3	2,909,780	14.6	2,909,780	9.9	2,909,780	1.3	2,909,780	1.3
7	34	1,057,710	11.8	4,476,950	22.5	4,171,154	14.2	4,171,154	1.9	4,171,154	1.8
8	35			7,774,050	39.0	8,010,000	27.3	7,181,363	3.3	7,181,363	3.1
9	36					9,500,000	32.4	10,578,011	4.9	9,666,337	4.2
10	37							12,000,000	5.5	10,667,618	4.5
11	38							25,000,000	11.5	17,357,151	7.0
12	39							27,000,000	12.4	21,780,000	10.0
13	40							26,000,000	12.0	28,000,000	12.0
14	41							26,000,000	12.0	27,500,000	12.0
15	42							24,000,000	11.0	24,342,849	11.0
16	43							20,000,000	9.2	24,000,000	11.0
17	44							16,000,000	7.3	24,000,000	11.0
18	45							12,126,708	5.6	21,390,764	9.0
	計	9,000,000	100.0	19,910,054	100.0	29,340,208	100.0	217,716,290	100.0	227,716,290	100.0

第4章 下水道事業経過

第1節 下水道事業認可関係

明治37年2月東京市区改正委員会は、中島銳治博士を臨時委員に推し、東京市下水道設計調査を委嘱した。この結果40年3月にその成果を得、同委員会はこれを設計・財源・衛生の3部門に分けて審査したうえ、41年3月内閣の認可を得た。ここに初めて東京の改良下水道事業の確立をみるに至つたのである。

翌42年市会は、工事費半額の国庫補助詮議方意見書を内務大臣に提出、44年5月に至り、内務・大蔵大臣より第1期事業（工費6,130,000円、自44年 至48年の5カ年継続）の認可を得た。直ちに下水改良事務所を設置して事務を開始することとなつた。

しかし、その後降雨量・交通量その他の状勢の変遷から、原設計の一部変更の必要が生じた。このため、総工費を6,300,000円、継続年限を大正7年度まで延長する計画をたて、大正12年11月内務・大蔵両大臣の認可を得た。これにより同年第1期下水道改良工事に着手するに至つた。

その後約40年間、下表のように多くの工事が行なわれた。戦後は東京都の復興と対応して、昭和25年東京区部の大部の68%にわたる東京都市計画下水道をたて、これを基本として事業を執行してきた。

昭和37年3月には、荒川以東と練馬区の大部、板橋区の一部を除く区部70%について都市計画決定を受けた（昭和37年12月、都心部再開発計画により一部変更）。さらに昭和39年2月、残る30%について都市計画決定を受け、これにより都内区部23区100%の都市計画下水道が完成したのである。

現在、この計画により鋭意工事中である。

第1期下水道改良工事以後の認可関係は、下表のとおりである。

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	執行 年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
第1期下水道 改良工事	—	—	(市区改 正認可)		(市区改正 認可)	丙				
	—	—	明 41. 3. 26	内閣批 第32号	明44. 3. 29 大2. 11.	第318号	15,000,000	自明44 至大12	第2区の 大部	
					同9. 3. 31 同13. 3. 29	内務省告示 第162号				
下水渠一部 造成工事	—	—	同	同	(市区改 正認可)		—	2,520,000	自大5 至同9	第1区の 一部
					大3. 5.					
第2期下水道 改良工事	—	—	同	同	大9. 12. 8		—	20,000,000	自大9 至同12	第1区の 一部
					大13. 4. 1 同13. 10. 27 同13. 12. 29	内務省告示 第172号 第677号				
帝都復興下水 道改良工事	—	大 —	13. 12. 29	内務省告示 第795号	昭4. 3. 29 同5. 3. 29 同6. 3. 31	第796号 第63号 第71号	40,211,321	自大12 至昭6	震災焼失 下町一帯	

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	施行 年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
継続都市計画 速成工事	昭5. 9. 13	内務省東衛 第1,402号	同	同	大14. 8. 11 昭3. 9. 20 同5. 8. 13 同9. 4. 20	内務省告示 第140号 第153号 第159号 第217号	円5,740,695	自大14 至昭9	神田、日 本橋、京 橋、本所 深川各区 を除く市 内各方面	千川改修 のみ築造 認可を受 く
管渠移転工事	—	—	—	—	—	—	円2,454,911	自大14 至昭9	第2区の 大部	
下水道応急 整理工事	—	—	—	—	—	—	円1,600,000	自大15 至昭4	区画整理 に伴う既 設下水管 の整理	
失業救済工事 昭和2年度	昭	—	大13. 12. 26	内務省告示 第795号	—	—	円355,108	昭2		
失業救済工事 昭和3年度	昭4. 3. 27	内務省東衛 第134号	同	同	—	—	円461,624	昭3	山の手 方面	
失業救済工事 昭和4年度	昭4. 11. 15	内務省東衛 第1,087号	同	同	昭5. 1. 30	内務省告示 第20号	円1,932,460	昭4		
昭和5年度 速成工事	昭5. 11. 25	内務省東衛 第593号	同	同	大14. 8. 11 昭5. 8. 13	内務省告示 第140号 第159号	円3,000,000	自昭5 至同7	市内31箇 所	
第2改良 速成工事	昭6. 3. 21 8. 3. 31	内務省東衛 第2号 第1,191号	同	同	大4. 8. 11 昭5. 12. 29 同8. 4. 11	内務省告示 第140号 第257号 第76号	円8,250,000	自昭5 至同8	市内70箇 所	
失業救済工事 昭和6年度 (冬期)	昭7. 3. 23	内務省東衛 第83号	同	同	大14. 8. 11 昭7. 4. 11	内務省告示 第140号 第76号	円500,000	自昭6 至同7	市内14箇 所	
失業救済工事 昭和7年度 (夏期)	昭7. 12. 23	内務省東衛 第1,112号	同	同	大14. 8. 11 昭8. 3. 27	内務省告示 第140号 第81号	円476,184	自昭7 至同8	市内12箇 所	
継続都市計画 完成(第1期) 工事	昭9. 3. 31 11. 3. 31	内務省東衛 第1,191号 内務省東衛 第9, 1,536号	同	同	昭8. 8. 12 同10. 4. 16 同17. 4. 23	内務省告示 第251号 第265号 第227号	円38,500,000	自昭7 至同19	市内未完 成部分	当初 36,500, 000 の処 2,000 000 追加認可 を得
大崎町下水道 事業(第1期)	大13. 3. 26	内務省東衛 第27号	—	—	—	—	円794,723	自大13 至昭6	旧大崎町 の中央部	
大崎町下水道 事業(第2期)	昭5. 9. 9 11. 6. 23	内務省東衛 第959号 内務省東衛 第92号	昭8. 12. 24 9. 4. 20 同10. 4. 10 10. 4. 19	内務省告示 第327号 同9. 4. 20 第218号 同10. 4. 10 第280号	内務省告示 第327号 第218号 第208号	円798,000	自昭5 至同10	同上 残部区域		

事業名	策造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	施行 年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
高田町 下水道事業	昭6. 5.23 内務省 5東衛 第1,562号	昭5. 12.29 内務省告示 第250号	昭5. 12.29 内務省告示 第250号	昭5. 12.29 内務省告示 第276号	内務省告示 第235号	内務省告示 第284号	2,118,000	自昭5 至同21	旧高田町 区	域
西巢鴨町 下水道事業	8. 3.31 内務省 第1,136号	8. 2.23 内務省告示 第37号	昭7. 2.23 内務省告示 第37号	昭7. 2.23 内務省告示 第37号	内務省告示 第229号	内務省告示 第229号	2,910,000	自昭6 至同21	旧西巢鴨 町	全域
巢鴨町 下水道事業	5. 3.18 内務省 4東衛 第451号	5. 1.30 9. 4.20 10. 4.16	内務省告示 第18号	昭5. 1.30 同9. 4.20 同10. 4.16	内務省告示 第218号	内務省告示 第218号	1,273,282	自昭4 至同10	旧巢鴨町 全	域
王子町 下水道事業	4. 3.25 内務省 3東衛 第123号	3. 12.24 5. 12.23	内務省告示 第326号	昭3. 12.24 同5. 12.23 同18. 5.10	内務省告示 第244号	内務省告示 第244号	3,135,207	自昭3 至同21	旧王子町 大	部
尾久町下水道 事業(第1期)	3. 1.31 内務省 2東衛 第777号	—	—	—	—	—	1,077,145	自昭2 至同7	旧尾久町 中央	部
尾久町下水道 事業(第2期)	7. 7. 5 内務省 6東衛 第55号	7. 4.11	内務省告示 第77号	昭7. 4.11 同12. 4. 9 同14. 4. 24 同14. 4. 18	内務省告示 第225号	内務省告示 第234号	1,510,650	自昭7 至同15	同上	残部
南千住町、日暮里町、三河島町下水道事業	6. 5.30 内務省 5東衛 第1,457号	5. 12.29	内務省告示 第253号	昭5. 12.29 同11. 4.27 同14. 2.24 同18. 5.10	内務省告示 第253号	内務省告示 第275号	5,380,000	自昭6 至同21	旧南千住 日暮里 旧三河島 各町の一部	東部下水道町村組合改良下水道事業
大久保町下水道事業(第1期)	3. 10. 31 内務省東衛 第18号	—	—	—	—	—	478,046	自昭3 至同6	旧大久保 町の一部	
大久保町下水道事業(第2期)	7. 9.30 内務省東衛 第1,007号	7. 10. 4	内務省告示 第241号	昭9. 1.10 同17. 4.23	内務省告示 第5号	内務省告示 第230号	1,026,000	自昭8 至同21	同上	残部
滝野川町 下水道事業	8. 12. 19 内務省東衛 第1,249号	7. 10. 4	内務省告示 第242号	昭9. 1.10 同11. 4.23	内務省告示 第5号	内務省告示 第232号	3,494,000	自昭8 至同21	旧滝野川 町の一部	都市計画事業は合併して年割決定

事業名	築造認可		都市計画認可		都市計画事業並 執行年割認可		認可 事業費	施行 年度	地域	備考
	年月日	番号	年月日	番号	年月日	番号				
郊外下水道事業 砂町系統の一部 吾嬬排水区	昭 11. 3. 31	内務省 10 東衛 第 2 号	昭 5. 3. 29	内務省告示 第 65 号	昭 10. 4. 16 同 15. 4. 18 同 16. 4. 23 同 18. 5. 10	内務省告示 第 271 号 第 261 号 第 231 号 第 284 号	円 3,000,000	自昭 11 至同 21	向島区の 内 寺島町、 吾嬬町の 一部	都市計画 経費へ 3,890, 000
千住町下水道事業(第1期)	大 11. 2. 2	内務省 9 東衛 第 945 号	—	—	—	—	589,953	自大 10 至同 15	旧千住町 の中央部	
千住町下水道事業(第2期)	昭 2. 12. 8	内務省東衛 第 903 号	昭 2. 3. 28	内務省告示 第 296 号	昭 2. 3. 28 同 7. 2. 23 同 7. 4. 4	内務省告示 第 296 号 第 39 号 第 66 号	930,000	自昭 2 至同 7	同上荒川 以東の残 部	臨時部と して引続 き後残部 施行
都市計画 下水道				建設省告示 25. 7. 10 (変更) 建設省告示 28. 10. 12	昭 28. 10. 12 第 740 号 第 1,358 号	建設省告示 第 1,358 号 (変更) 建設省告示 昭 33. 3. 31 昭 35. 3. 31 昭 36. 3. 29	建設省告示 第 1,358 号 第 983 号 第 805 号 第 815 号	9,000,000 ,000	自昭 28 至同 31	千代田区 他 20 区の 中既定区 域の 50% と新区域 の急施を 要する箇 所を選定
				建設省告示 37. 3. 31	昭 37. 3. 31 第 1,092 号	建設省告示 第 1,092 号	217,716, 000,000	自昭 28 至同 45	新荒川以 西	練馬区の 大部、板 橋区の 一部を除く
				建設省告示 37. 12. 22	同 上 第 3,205 号	同 上	同 上	同上	同 上	同 上
自 昭和32年 至 昭和41年 下 水 道	昭 34. 3. 11	建33東計 第 47 号					36,600,000 ,000	自昭 32 至同 41		昭和32年 既定区域 を 100% 新区域を 45.5% 施 行に変更
都市計画 下水道				建設省告示 39. 2. 25	昭 39. 2. 25 第 292 号	建設省告示 昭 39. 2. 25 第 3,205 号	227,716,000 ,000	自昭 28 至同 45	新荒川以 東及練馬 区の大部 及中野板 橋各区の 一部	

第2節 施行済の事業

(1) 東京都市計画東京市下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘要	要
第1期下水道改良工事	15,000,000	14,618,123	135,818	自明治44年至大正12年	浅草区、下谷区の大部、本郷区、神田区の一部並びに田町和泉町ポンプ所及び三河島処理場竣工	
下水渠一部速成工事	2,520,000	2,497,989	14,876	自大正5年至同9年	山の手及び下谷方面芝区の内雨水氾濫箇所に対し施行	
第2期下水道改良工事	20,000,000	4,311,283	35,115	自大正9年至同12年	麹町、日本橋、京橋区の一部並びに錢瓶町ポンプ所の一部施行、震災の為打切	
帝都復興下水道改良工事	40,211,321	39,603,453	280,057	自大正12年至昭和6年	焼失区域一帯並びに芝浦、錢瓶町木場、業平、三ノ橋各ポンプ所、砂町処理場	
管渠移転工事	2,454,911	2,310,518	102,567	自大正14年至昭和5年	震災後区画整理に伴う第1期区域内、下水道の移転整理	
下水道応急整理工事	1,600,000	948,402	30,465	自大正15年至昭和4年	震災後区画整理に伴う第1期区域内、既設計下水道の整理	
失業救済工事(昭和2年度)	355,108	340,415	2,518	自昭和2年至同3年	山の手方面雨水汜濫箇所に対し施行	
〃(昭和3年度)	461,624	428,477	4,472	昭和3年	〃	
〃(昭和4年度)	1,932,460	1,711,460	17,563	自昭和4年至同5年	全市域に亘り雨水汜濫箇所に施行	
昭和5年度速成工事	3,000,000	2,674,854	39,619	自昭和5年至同7年	同並に急施を要すべき箇所に施行	
失業救済工事(昭和6年度)	500,000	455,538	12,285	自昭和6年至同7年	〃	
〃(昭和7年度)	500,000	461,219	8,516	自昭和7年至同8年	〃	
昭和5.6.7年度第2改良速成工事	8,250,000	7,561,665	120,534	自昭和5年至同8年	同並びに芝浦ポンプ所の拡張	
継続都市計画速成工事	5,740,695	5,600,286	33,792	自大正14年至昭和9年	全市域並びに急施を要すべき箇所	
継続都市計画完成下水道改良工事	38,500,000	27,688,297	336,689	自昭和7年至同19年	同市域内下水道の内ポンプ所下水処理場の完成管渠残部の約5割	
計	141,026,119	111,211,979	1,174,886			
下水課以外にて施行	9,905,046	9,905,064	247,700	昭和19年度	復興局・府・市・道路改修施行せるものの工費推計による	
全市域合計	150,931,183	121,117,043	1,422,586			

(2) 東京都市計画郊外下水道

事業別	予算額	竣工額	竣工延長	施行年度	摘要	要
大崎町(第1期工事)	746,263	746,263	24,812	自大正13年 至昭和6年	市域併合以前旧大崎町地内に施行	
同 (第2期工事)	273,369	273,369	20,246	自昭和5年 至同7年	々	
大久保町 (第1期工事)	408,763	408,763	10,066	自昭和3年 至同6年	市域併合以前旧大久保町地内に施行	
々 (第2期工事)	4,743	4,743	—	昭和7年	々	
高田町	527,407	527,407	10,669	自昭和5年 至同7年	市域併合以前旧高田町地内に施行	
西巢鴨町	68,829	68,829	514	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧西巢鴨町地内に施行	
巢鴨町	674,982	674,982	27,998	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧巢鴨町地内に施行	
王子町	731,194	731,194	10,826	自昭和3年 至同7年	市域併合以前旧王子町地内に施行	
尾久町(第1期工事)	779,144	779,144	27,731	自昭和2年 至同7年	市域併合以前旧尾久町地内に施行	
々 (第2期工事)	10,050	10,050	196	昭和7年	々	
東部下水道町村組合	837,842	837,842	9,034	自昭和6年 至同7年	市域併合以前旧日暮里、三河島、 南千住町地内に施行	
千住町(第1期工事)	507,995	507,995	13,149	自大正10年 至同15年	市域併合以前旧千住町地内に施行	
々 (第2期工事)	819,869	819,870	28,019	自昭和2年 至同7年	々	
臨時部下水道 千住町工事	27,000	23,355	703	昭和7年	千住町(第2期)残部市域併合後 旧千住町地内に施行	
継続郊外下水道 改良工事	15,800,000	15,440,595	285,197	自昭和7年 至同19年	新市域内旧町村にて施行中のものを 引き継ぎ旧市域併合後一部追加施行す	
計	22,217,450	21,854,401	469,160			
下水課以外にて施行	2,228,612	2,228,612	56,301	昭和19年度	府、市道路に伴い施行せるものの 工費は推計による	
新市域合計	24,446,062	24,083,013	525,461			
総計	175,377,245	145,200,056	1,948,047			

備考 継続都市計画完成下水道改良工事、及び継続郊外下水道改良工事は、戦時に際し、昭和19年度限り国庫補助中止となつたため、同年度限り工事打切りとした。

(3) 終 戰 後 施 行

事業名	予算額	決算額	竣工延長	施行年度	備考
下水道復旧	円 15,795,000	円 15,795,000	m —	昭和 年度 20—23	戦災箇所及び戦時未補修のまま機能低下または停止をみた箇所を復旧
計	15,795,000	15,795,000	—	—	23年度で完了
下水道復旧	6,615,000	5,106,000	2,262	21	区画整理地区内の下水管移設及び新管を敷設する
管渠移設	900,000	900,000	569	22	タ
タ	8,550,000	8,500,000	2,090	23	タ(事業名変更)
タ	15,500,000	15,500,000	2,614	24	タ
タ	29,500,000	25,402,460	8,286	25	タ
タ	40,000,000	39,129,844	9,649	26	タ
タ	56,000,000	55,245,816	11,649	27	タ
タ	60,000,000	58,017,088	11,805	28	タ
タ	57,000,000	51,828,572	10,415	29	タ
タ	85,000,000	79,776,048	16,243	30	タ
タ	139,195,995	122,992,105	23,125	31	タ
タ	95,000,000	88,456,072	12,832.2	32	タ
計	593,260,995	550,854,005	111,559.2		
下水道増補改良	82,500,000	21,473,830		21—25	既存設備の改良増補
計	82,500,000	21,473,830			
下水道拡張	増補改良事業費に含む 20,000,000 同上	11,645,000	209	23	下水道施設を拡張する
タ	30,000,000	18,923,856	1,883	24	タ
タ	20,000,000	10,226,413	1,146	24	タ
タ	206,000,000	55,134,095	4,364	25	タ
タ	309,000,000	159,962,267	14,296	26	タ
タ	479,323,469 (144,391,984)	257,601,869	17,992	27	タ
タ	721,721,600 (221,721,600)	490,760,207	15,267	28	タ
タ	830,961,393 (230,961,393)	434,046,434	22,075	29	タ
タ	749,898,877 (149,898,877)	413,675,924	26,373.6	30	タ
タ	1,633,000,000	1,047,411,361	74,588	31	タ
タ	2,226,000,000	2,032,984,363	82,103.5	32	タ
タ	3,179,200,000 (179,200,000)	2,909,780,265	74,745.7	33	タ
タ	4,731,000,000 (231,000,000)	4,171,154,459	77,109.87	34	タ
タ	8,010,000,000 (410,000,000)	7,181,363,259	83,872.76	35	タ
タ	10,580,200,506 (538,010,506)	9,666,336,043	77,860.00	36	タ
タ	12,060,000,000 (60,000,000)	10,667,617,617	105,240.78	37	タ
タ	17,357,150,911 (515,150,911)	14,636,505,985	157,222.90	38	タ
計	63,143,456,756	54,165,129,417	836,349.11		

第5章 営業

第1節 営業一般

昭和27年10月、地方公営企業法が都条例第82号により下水道事業に全面的に適用され、企業会計制度が確立するとともに、上下水道営業事務が一元化され、料金も上下水道一体で徴収されてきた。

その後37年4月に下水道局が発足してからも、都民の利便や企業の経済性発揮等の理由により、下水道料金の徴収は水道局に委託し、従前通り同時徴収が行なわれている。

第2節 下水道使用件数

都においては、急激な人口の増大と諸産業の集中等により公共施設の完備が急務とされている。下水道についても、都市の健全な発展と公衆衛生の向上に寄与するため、重点施策として32年から48年度までの長期計画が立てられ、23区全域100%普及を目標として実施されている。

したがつて、下水道使用件数も年々増加し、38年度末の使用件数はつぎのとおりである。

水道汚水徴収件数

(甲地区)

年 度	業 種	計		一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用					
		件 数	指 数									
30 年 度 末		315,833	件	100	286,208	件	18,701	件	569	件	10,355	件
31	々	336,881		106	307,588		19,166		597		9,530	
32	々	355,606		112	327,076		19,218		623		8,689	
33	々	371,649		117	343,158		20,080		638		7,773	
34	々	387,499		122	359,243		20,588		643		7,025	
35	々	399,652		126	372,171		20,677		642		6,162	
36	々	415,433		131	387,927		20,879		654		5,973	
37	々	431,419		136	404,080		21,226		648		5,465	
38	々	480,418		152	450,960		22,800		669		5,989	

(乙地区)

30 年 度 末		74,307	件	100	62,376	件	2,116	件	137	件	9,678	件
31	々	73,530		98	62,428		2,055		137		8,910	
32	々	74,208		99	63,865		2,113		133		8,097	
33	々	76,963		103	67,096		2,231		129		7,507	
34	々	81,001		109	71,875		2,494		136		6,496	
35	々	87,106		117	78,498		2,687		137		5,784	
36	々	92,808		124	85,020		2,811		138		4,839	
37	々	100,674		135	93,058		3,107		159		4,350	
38	々	94,974		127	88,813		2,687		152		3,322	

注 乙地区の徴収件数減は、北区、荒川区の告示替によるものである。

井戸汚水使用件数

(甲地区)

(乙地区)

業種 年度	手 動		動 力		湧水	手 動		動 力	
	専用	併用	浴場用	その他		専用	併用	浴場用	その他
30年	1,257	5,967	341	1,630	15	128	904	85	216
31々	1,294	6,069	378	1,945	18	134	924	111	297
32々	1,325	6,156	396	2,395	19	130	928	118	387
33々	1,308	6,167	429	2,633	25	138	927	124	455
34々	1,302	6,221	448	3,136	28	218	1,008	128	501
35々	1,117	6,094	464	3,573	46	200	1,024	127	596
36々	1,004	6,052	473	3,975	74	212	1,003	120	666
37々	913	6,079	473	4,384	76	295	1,062	132	790
38々	923	5,903	483	5,335	79	494	1,070	120	1,115

行政区分別徴収件数調

(39年3月末)

種別 区別	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	便 器		徴収現在数	井戸件数
			大便器	小便器		
全 区	480,418	12,723	566,902	191,937	94,974	2,799
千代田	24,437	399	56,804	29,567	—	—
中	34,235	169	59,844	32,381	—	—
港	55,624	1,092	74,755	25,667	738	31
新宿	57,688	2,869	63,428	19,087	7,347	164
文京	50,786	1,709	53,995	16,823	0	—
台東	58,445	1,085	76,410	23,555	—	—
墨田	28,166	140	34,600	10,504	4,177	21
江東	26,759	83	28,553	7,309	821	—
品川	732	121	768	302	11,720	481
目黒	756	28	830	266	159	—
大田	—	—	—	—	59	3
世田谷	—	—	—	—	—	—
渋谷	20,934	150	11,611	2,828	1,906	109
中野	—	—	—	—	8,523	53
杉並	—	—	—	—	2,010	49
豊島	40,493	3,472	38,663	10,176	9,923	1,108
北	39,994	1,259	27,611	5,970	7,873	316
荒川	40,778	137	38,679	7,436	15,392	118
板橋	215	6	188	40	2,415	205
練馬	—	—	—	—	—	—
足立	376	4	193	26	21,881	140
葛飾	—	—	—	—	—	—
江戸川	—	—	—	—	30	1

水道局支所別収件数調

(39年3月末)

種別 支所別	甲 地 区				乙 地 区	
	徴収現在数	井戸件数	大便器	小便器	徴収現在数	井戸件数
全支所	480,418	12,723	566,902	191,937	94,974	2,799
中央	128,390	2,429	209,298	93,266	738	31
中央	43,142	629	57,331	20,117	441	14
鎌倉河岸	58,672	509	116,648	61,948	—	—
大木戸	26,576	1,291	35,319	11,201	297	17
東部第一	54,925	223	63,153	17,813	5,028	22
東部第一	985	4	824	192	4,888	21
千歳町	53,940	219	62,329	17,621	110	—
江戸川	—	—	—	—	30	1
東部第二	41,154	141	38,872	7,462	37,273	258
東部第二	40,778	137	38,679	7,436	15,392	118
足立	376	—	193	26	21,881	140
葛飾	—	—	—	—	—	—
西部	18,716	1,388	19,305	6,788	17,880	266
西部	18,716	1,388	19,305	6,788	7,347	164
中野	—	—	—	—	8,523	53
杉並	—	—	—	—	2,010	49
南部第一	732	121	768	302	11,779	484
南部第一	—	—	—	—	180	3
荏原	732	121	768	302	11,599	481
雪ヶ谷	—	—	—	—	—	—
蒲田	—	—	—	—	—	—
南部第二	21,690	178	12,441	3,094	2,065	109
南部第二	—	—	—	—	—	—
目黒	756	28	830	266	159	—
渋谷	20,934	150	11,611	2,828	1,906	109
北部第一	174,602	6,919	195,266	57,202	9,923	1,108
北部第一	40,493	3,472	38,633	10,176	9,923	1,108
神楽河岸	75,664	2,362	80,223	23,471	—	—
三筋町	58,445	1,085	76,410	23,555	—	—
北部第二	40,209	1,265	27,799	6,010	10,288	521
北部第二	215	6	188	40	2,415	205
王子	39,994	1,259	27,611	5,970	7,873	316
営業部		59				

第3節 下水道使用数量

生活水準の向上による電気洗濯機、水洗便所の普及、産業、人口の集中、高層ビルの激増及び冷房装置の普及等に加え、下水道の普及による使用件数の増加も多く、下水道の使用数量は年々増大している。38年度水道汚水の用途別使用量は、つぎのとおりである。

用途別使用水量表(水道汚水)

(甲地区)

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	140,092,547 m^3	26,464,605 m^3	7,594,321 m^3	845,800 m^3	174,997,273 m^3
34	154,798,592	29,543,939	7,667,943	756,380	192,766,854
35	170,817,596	32,222,823	7,619,596	660,556	211,320,571
36	186,191,291	36,485,630	7,656,850	660,875	230,994,646
37	181,192,727	34,147,182	6,962,062	600,400	222,902,371
38	199,268,390	38,274,401	6,884,004	549,590	244,976,385

(乙地区)

年 度	一 般 用	営 業 用	浴 場 営 業 用	共 用	年 間 水 量
33	18,120,801 m^3	1,038,166 m^3	906,537 m^3	777,935 m^3	20,843,439 m^3
34	20,041,647	1,332,677	775,882	711,177	22,861,383
35	22,886,929	1,684,498	908,692	594,073	26,074,192
36	25,653,785	2,087,171	930,177	541,058	29,212,191
37	27,770,179	2,424,064	933,814	489,277	31,617,334
38	29,494,065	2,162,850	936,152	367,053	32,960,120

38年度用途別使用水量表 (水道汚水)

(甲地区)

用途 月別	一般用			営業用			浴場営業用			共用			計		
	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量
総計	199,268,390	5,174,924	38.5	38,274,401	265,137	144.3	6,884,004	7,933	867.7	549,590	63,134	8.7	244,976,385	5,511,128	44.4
4	13,825,497	419,340	33.0	2,529,061	20,440	123.7	562,225	627	896.6	33,735	4,329	7.7	16,950,518	444,736	38.1
5	14,946,318	403,042	37.1	2,842,548	21,878	129.9	588,955	666	884.3	50,759	5,770	8.7	18,428,580	431,356	42.7
6	16,687,308	428,500	38.9	3,134,754	21,174	148.0	591,438	635	931.3	43,982	4,633	9.4	20,457,482	454,942	44.9
7	16,863,991	410,313	41.1	3,205,489	22,102	145.0	568,150	688	825.7	54,514	5,659	9.6	20,692,144	438,762	47.1
8	19,478,453	441,056	44.1	3,774,359	21,685	174.0	691,408	662	1,044.0	50,180	5,026	9.9	23,994,400	468,429	51.2
9	19,536,809	414,832	47.1	3,888,635	21,999	176.7	636,664	703	905.6	59,508	5,892	10.0	24,121,616	443,426	54.3
10	18,738,449	452,438	41.4	3,688,212	22,316	165.2	580,035	652	889.6	47,193	5,036	9.3	23,053,889	480,442	47.9
11	16,808,866	416,912	40.3	3,307,494	22,273	148.4	536,908	667	804.9	48,937	5,680	8.6	20,702,205	445,532	46.4
12	17,043,853	467,743	36.4	3,264,216	22,934	142.3	554,607	644	861.1	41,600	5,133	8.1	20,904,276	496,454	42.1
1	15,680,835	421,950	37.2	3,021,754	22,490	134.3	593,596	679	874.2	42,944	5,693	7.5	19,339,129	450,812	42.8
2	15,250,323	470,512	32.4	2,912,082	22,952	126.8	456,694	631	723.7	39,734	4,790	8.2	18,658,833	498,885	37.4
3	14,407,688	428,286	33.6	2,705,797	22,894	118.1	523,324	679	770.7	36,504	5,493	6.6	17,673,313	457,352	38.6

38年度用途別使用水量表 (水道汚水)

(乙地区)

51

用途 月別	一般用			営業用			浴場営業用			共用			計		
	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量	使用水量	件数	1件当たり使用量
総計	29,494,065	1,140,302	25.9	2,162,850	35,225	61.4	936,152	1,889	495.5	367,053	41,010	8.9	32,960,120	1,219,489	27.0
4	1,848,395	88,612	20.9	167,398	2,904	57.6	95,771	178	538.0	25,819	2,872	8.9	2,137,380	94,566	22.6
5	2,458,437	99,269	24.8	203,016	3,463	58.6	83,550	148	564.5	44,680	4,849	9.2	2,789,683	107,792	25.8
6	2,345,620	92,480	25.4	167,511	2,645	63.3	80,338	171	469.8	23,896	2,484	9.6	2,617,365	97,780	26.7
7	2,763,879	101,683	27.2	220,620	3,561	61.9	83,406	150	556.0	43,191	4,738	9.1	3,111,096	110,132	28.2
8	2,632,000	86,776	30.3	173,808	2,395	72.5	87,891	159	552.7	22,745	2,062	11.0	2,916,444	91,392	31.9
9	3,310,327	102,830	32.2	246,736	3,557	69.3	87,529	147	595.4	50,523	5,039	10.0	3,695,115	111,573	33.1
10	2,376,852	88,734	26.8	146,093	2,164	67.5	69,816	164	425.7	21,629	2,136	10.1	2,614,390	93,198	28.0
11	2,926,881	102,906	28.4	215,882	3,454	62.5	68,478	150	456.5	38,102	4,452	8.5	3,249,343	110,962	29.2
12	2,079,496	87,532	23.8	116,872	2,156	54.2	67,975	168	404.6	17,201	1,989	8.6	2,281,544	91,845	24.8
1	2,574,133	99,339	25.9	215,112	3,403	63.2	73,816	145	509.0	34,049	4,192	8.1	2,897,110	107,079	27.0
2	1,833,862	87,736	20.9	110,550	2,075	53.2	61,042	161	379.1	15,400	2,025	7.6	2,020,854	91,997	21.9
3	2,344,183	102,405	22.9	179,252	3,448	51.9	76,540	148	517.1	29,821	4,172	7.1	2,629,796	110,173	23.8

第4節 下水道料金

下水道事業経営の基本的収入である下水道料金は、使用料創設期の昭和18年6月以降の経済情勢の変遷と共に、11回にわたり改正されて現行料金にいたつているものである。現行料金の改正は、昭和36年6月第2回東京都議会定例会に提案され、7月に一部修正のうえ可決、8月分より実施された。

現行の下水道料金はつぎのとおりである。

下水道料金表

A 甲地区（し尿を下水道に流せる地区）

水道汚水		水道料金の	$\frac{3}{10}$
井戸	浴場営業用	排出量1立方米につき	4円50銭
汚水	その他	タ	5円
水洗	大便器	1個1月につき	20円
便器	小便器	タ	20円

B 乙地区（甲地区以外の下水道地区）

水道汚水		水道料金の	$\frac{2}{10}$
井戸	浴場営業用	排出量1立方米につき	3円
汚水	その他	タ	3円30銭

水道料金表

用 途	基 本 料 金	超 過 料 金
一般用（家庭・官公署・ 会社・工場等）	1カ月8m ³ まで 120円	10m ³ をこえるもの
	1カ月10m ³ まで 140円	1m ³ につき 20円
営業用（料理飲食店 等）	1カ月10m ³ まで 140円	タ 32円
浴場営業用	1カ月10m ³ まで 140円	タ 15円
共 同（一戸につき）	1カ月8m ³ まで 80円	8m ³ をこえるもの 1m ³ につき 15円

第5節 料金徴収

下水道局発足にしたがつて、下水道料金の徴収業務は当局で行なうべきであるが、水道局に委託され、上・下水道料金の同時徴収が行なわれている。

これは水道局が都内に現有する大きな業務組織を活用して都民の利便と徴収業務の経済性の発揮という観点からの思慮によるもので、水道局営業部の連絡調整のとともに、支所・営業所がこれにあたり、徴収方法は、水道局と全く同様である。

また、下水道局での料金収入整理及び水道局との連絡調整等の業務事務は経理部会計課及び施設管理部業務課が分掌している。

なお、昭和38年度の下水道料金収入状況及び、近年5カ年の収入状況はつぎのとおりである。

水道局支所別下水道料金調定収入調

(昭和38年度)

支所	調 定			収 入	未 収 入
	前年度未収繰越	昭和37年度分	計		
全 支 所	61,233,562 円	2,042,551,928 円	2,103,785,490 円	1,998,646,818 円	105,138,672 円
中 央	30,348,718	840,966,030	871,314,748	821,523,169	49,791,579
東 部 第 一	6,297,856	219,848,069	226,145,925	215,225,201	10,920,724
東 部 第 二	4,991,582	141,402,674	146,394,256	138,698,899	7,695,357
西 部	1,212,650	97,025,889	98,238,539	95,587,933	2,650,606
南 部 第 一	1,537,056	32,026,821	33,563,877	31,427,417	2,136,460
南 部 第 二	409,797	52,145,298	52,555,095	47,334,023	5,221,072
北 部 第 一	15,475,302	573,750,620	589,225,922	565,174,908	24,051,014
北 部 第 二	960,601	71,718,962	72,679,563	70,400,291	2,279,272
営 業 部	0	12,963,095	12,963,095	12,649,120	313,975
施 設 管 理 部	0	704,470	704,470	625,857	78,613
前 年 同 期	25,925,932	1,859,189,181	1,885,115,113	1,823,881,551	61,233,562
北 較 増 減	35,307,630	183,362,747	218,670,377	174,765,267	43,905,110

下水道料金調定収入の推移

年 度 别	調 定 額	収 入 額	収 入 率
昭和 33 年 度	1,194,723,979 円	1,185,489,720 円	99.2
〃 34 〃	1,313,672,843	1,306,918,080	99.4
〃 35 〃	1,436,839,685	1,424,268,159	99.1
〃 36 〃	1,787,933,363	1,762,159,531	98.5
〃 37 〃	1,859,189,181	1,798,642,398	96.7
〃 38 〃	2,042,551,928	1,937,917,533	94.9

第6節 排水設備

近代的な文化都市を建設するための要素はいろいろあるが、何といつても完全な下水道を施設し、衛生的で快適な環境をつくることが第一である。それに、生活環境が清潔になれば、必然蚊・ハエ・寄生虫等の発生を防ぎ、その他の悪疫の流行も予防できる。

本都においては、大正13年にはじめて排水設備の設置をみて以来、下水道施設の拡張と相まって、排水設備の普及は漸次進み、昭和15年には施設面積1,893.2ヘクタール、施設済戸数200,961戸、使用大便器数95,582個に及んだが、第二次大戦の激化に伴ない本都における排水設備の施設数は急激に減じた。その状態は昭和18年・19年に最もひどく、20年には極少を示した。昭和21年に入り僅かであるが排水設備の施設数が増加しはじめた。戦災による排水設備の被害は相当ひどく、昭和20年の終戦当時は、戦災前の排水設備施設済最高戸数の約5割の減少であったため、その復旧にはかなりの日時を要した。

しかし、戦災復興計画に沿つて下水道の応急復旧工事、増補改良工事が実施されたので、排水設備施設の成績は着々と上昇し、昭和23年には一応戦前の排水設備施設済最高数なみの回復がみられた。

昭和24年には5カ年水洗便所助成改造事業（昭和24年～28年）を計画し、甲地区告示区域内のくみ取り便所110,000個を水洗化する目標で、水洗便所助成規則（昭和24年8月）を制定し、助成金（大便器1個当たり改造費の一部4,350円）を交付し実施したが、昭和28年度末には目標を上廻る118,926個を施行し、その後もひき続き実施中である。

年度別告示面積及び排水設備施行状況

年 度	種 別	告 示 面 積	排水設備設置数	水 洗 便 器 数	
				大 便 器	小 便 器
21		ヘクタール 5,433.70	件	38,831 個	26,320 個
22		5,433.70		45,928	30,822
23		5,446.20		53,560	35,384
24		5,477.90		77,894	39,900
25		5,643.30		129,275	48,805
26		5,688.10		157,530	54,212
27		6,196.72		216,789	89,184
28		6,696.14		256,726	101,364
29		7,233.26		294,362	112,799
30		8,307.15	346,044	323,489	121,549
31		9,699.30	364,304	366,610	136,456
32		10,104.39	381,737	394,966	145,878
33		10,456.38	398,322	413,686	152,232
34		10,900.65	416,742	440,264	159,868
35		11,267.36	431,703	466,734	167,103
36		11,547.39	450,526	491,522	173,197
37		11,966.56	471,190	514,387	180,604
38		12,707.48	507,730	566,902	191,937

行政区別告示面積及び排水設備設置数

(38年度末)

区別	種別	下水道必要面積	告示面積	排水設備設置数	便器数	
					大便器	小便器
千代田	ヘクタール	1,102	845.59	23,410	56,804	29,567
中央区		865	853.75	33,837	59,844	32,381
港区		1,869	1,614.11	53,567	74,755	25,667
新宿区		1,798	1,378.89	56,960	63,428	19,087
文京区		1,138	1,080.97	46,445	53,995	16,823
台東区		856	856.00	54,099	76,410	23,555
墨田区		1,195	765.63	29,324	34,600	10,504
江東区		1,912	739.11	24,206	28,553	7,309
品川区		1,555	343.14	10,999	768	302
目黒区		1,440	19.40	816	830	266
大田区		3,852	3.99	60	0	0
世田谷区		5,714	—	—	—	—
渋谷区		1,511	621.22	19,514	11,611	2,828
中野区		1,566	175.20	7,035	0	0
杉並区		3,338	33.99	1,648	0	0
豊島区		1,299	1,020.00	41,565	38,633	10,176
北区		1,836	1,072.67	39,908	27,611	5,970
荒川区		887	886.17	43,308	38,679	7,436
板橋区		2,997	50.15	2,277	188	40
練馬区		4,684	—	—	—	—
足立区		4,790	345.01	18,720	193	26
葛飾区		2,955	—	—	—	—
江戸川区		3,694	2.49	30	0	0
計		52,853	12,707.48	507,703	566,902	191,937

水洗便所助成状況

年 度	改 造 計 画	助 成 金 額 (1個当り)		施 行 個 数
		一 般	生 活 扶 助 家 庭	
	個	円	円	個
24 ～ 28	110,000	4,350	8,700	127,814
29	15,000	2,000	11,000	(内 383 個は全額助成)
30	15,000	3,000	〃	
31	10,000	〃	〃	9,997 (内 1 個は全額助成)
32	11,389	〃	〃	9,821 (内 1 個は全額助成)
33	12,000	〃	〃	7,535 (内 1 個は全額助成)
34	10,000	5,500	〃	9,977 (内 23 個は全額助成)
35	12,000	〃	〃	7,165 (内 18 個は全額助成)
36	9,000	〃	〃	5,748 (内 7 個は全額助成)
37	9,000	〃	〃	8,037 (内 5 個は全額助成)
38	7,000	8,800	17,700	6,805 (内 66 個は特別助成)
合 計	220,389			129,899

なお、助成金額は、昭和38年9月に助成規程が改正され、38年4月1日より、一般助成8,800円（家族構成全員の年間平均月収が7万円未満の者）、特別助成17,700円（特別区民税の非課税者及び課税保留者）に増額し、告示区域内（甲地区）のくみ取り便所の解消をはかつている。

排水設備の工事

排水設備の工事については、使用者との請負契約により下水道局指定の下水道工事店で施行する。この指定工事店制度は、昭和35年4月より発足したもので、従来は、水道局の指定工事店が、水道局の指導、監督のもとに行なつていた。

指定下水道工事店が一定の技術水準を保ち、工事店の行なう工事の万全を期するため、昭和36年4月より排水設備技術者制度を設け、排水設備技術の保持をすることとなつた。さらに37年11月からは、施行責任者として、排水設備配管工制度が設けられ、工事店には必ず両者を置くことが義務づけられた。

38年度末における指定工事店数は1,566店、排水設備技術者の登録人数4,015名、排水設備配管工の登録人数5,231名（労働省の給排水衛生設備配管工技能検定登録者をも含む。）である。

第6章 設備

第1節 管渠

(1) 下水管渠施設状況

年 度 別	管渠種別					人孔個	污水桿個
	總數(m)	暗渠(m)	幹線	枝線	開渠(m)		
昭和22年度	1,950,860	1,939,508	122,687	1,816,821	11,352	49,701	168,461
23	1,959,953	1,948,601	122,687	1,825,914	11,352	49,952	169,843
24	1,970,862	1,959,510	124,459	1,835,051	11,352	50,201	172,145
25	1,984,230	1,972,878	124,930	1,847,948	11,352	50,592	173,502
26	2,010,810	1,999,458	125,862	1,873,596	11,352	51,755	176,860
27	2,047,108	2,035,756	127,323	1,908,433	11,352	52,966	181,647
28	2,083,088	2,071,736	129,096	1,942,640	11,352	54,207	187,445
29	2,120,682	2,109,330	130,901	1,979,429	11,352	55,253	192,900
30	2,195,329	2,183,977	130,994	2,052,983	11,352	57,733	203,082
31	2,290,369	2,279,017	130,994	2,148,023	11,352	60,952	217,324
32	2,396,948	2,385,596	131,652	2,253,944	11,352	64,374	233,101
33	2,489,519	2,478,167	135,242	2,342,925	11,352	67,175	244,195
34	2,580,907	2,569,555	137,950	2,431,605	11,352	69,984	258,382
35	2,681,332	2,671,280	145,851	2,525,429	10,052	73,159	274,912
36	2,767,882	2,764,478	149,875	2,614,603	3,404	75,971	290,907
37	2,876,329	2,873,426	158,981	2,714,445	2,903	79,607	310,942
38	3,062,056	3,059,201	175,124	2,884,077	2,855	85,086	342,709
千代田	233,123	233,123	22,378	120,745		5,545	22,237
中央	241,924	241,924	6,215	235,709		5,665	22,864
港	304,866	304,866	23,054	281,812		8,296	31,297
新宿	315,714	315,714	12,515	303,199		9,051	35,244
文京	247,209	247,209	23,332	223,877		7,499	27,610
台東	300,517	300,517	20,862	279,655		8,139	30,670
墨田	208,548	208,548	4,203	204,345		5,624	23,590
江東	158,262	158,262	7,624	150,638		4,005	16,059
品川	89,016	89,016	3,327	85,689		1,787	8,797
目黒	5,541	5,541	370	5,171		128	544
太田	1,032	1,032	0	1,032		22	234
渋谷	138,365	138,365	7,537	130,828		4,434	21,292
中野	46,408	46,408	7,143	39,265		1,318	7,022
杉並	13,143	13,143	1,543	11,600		404	1,644
豊島	233,177	230,322	9,340	220,982	2,855	7,356	28,592
北	204,428	204,428	9,140	195,288		6,766	29,890
荒川	218,682	218,682	13,446	205,236		6,582	24,013
板橋	24,998	24,998	2,077	22,921		666	2,583
足立	76,577	76,577	1,018	75,559		1,793	8,483
江戸川	526	526	0	526		6	44

(2) 管渠管理延長前年度比較

辨名	種別	38年度管渠延長及び個数	37年度管理延長及び個数	比較(増)	増加率
中部管理事務所	幹枝線線	114,840	102,447	12,393	12.10
		1,702,583	1,589,467	113,116	7.12
	計	1,817,423	1,691,914	125,509	7.42
	人汚水樹孔	50,670	46,968	3,702	7.88
北部管理事務所		199,587	180,841	18,746	10.37
	幹枝線線	49,373	43,066	6,307	14.64
		795,143	747,680	47,463	6.25
	計	844,516	790,746	53,770	6.80
東部管理事務所	人汚水樹孔	24,005	22,435	1,570	7.00
		100,374	88,787	11,587	13.05
	幹枝線線	13,766	13,766	6,448	1.70
		386,351	379,903	6,448	1.64
合計	計	400,117	393,669	6,448	1.64
	人汚水樹孔	10,411	10,204	207	2.03
		42,748	41,314	1,434	3.47
	幹枝線線	177,979	159,279	18,700	11.74
		2,884,077	2,717,050	167,027	6.15
	計	3,062,056	2,876,329	185,727	6.46
計	人汚水樹孔	85,086	79,607	5,479	6.88
		342,709	310,942	31,767	10.22

(3) 系統別管渠管理延長

系統名	排水区名	38年度增加延長			38年度末累計延長			備考
		幹線	枝線	計	幹線	枝線	計	
芝浦系統	千代田, 中央, 港, 新宿, 文京, 目黒, 渋谷, 豊島, 北, 台東, 品川	6,221	62,588	68,809	98,819	1,428,453	1,527,272	
三河島系統	千代田, 台東, 豊島 荒川	3,156	8,821	11,977	36,056	501,169	537,225	
砂町系統	中央, 江東, 墨田, 足立, 江戸川	536	11,428	11,964	14,784	456,762	471,546	
森ヶ崎系統	太田, 品川, 目黒		6,855	6,855	1,284	89,639	90,923	
落合系統	新宿, 中野, 杉並	4,253	41,592	45,845	12,819	176,027	188,846	
小台系統	豊島, 北, 板橋	4,534	35,743	40,277	14,217	232,027	246,244	
計		18,700	167,027	185,727	177,979	2,884,077	3,062,056	

(4) 管種別内訳

種 別	大 き さ	昭和38年度末	
		延長 (m)	割合 (%)
円 形 管	内 径 45cm 以下	2,026,058	66.2
〃	〃 90〃〃	625,856	20.4
〃	〃 140〃〃	167,145	5.5
〃	〃 141〃以上	37,659	1.2
計		2,856,718	93.3
馬 蹄 形 渠	巾 150〃以下	15,306	0.5
〃	〃 300〃〃	48,397	1.6
〃	〃 301〃以上	5,536	0.2
計		69,239	2.3
矩 形 渠	巾 150〃以下	24,258	0.8
〃	〃 300〃〃	63,949	2.1
〃	〃 301〃以上	32,120	1.0
計		120,328	3.9
開 渠	巾 150〃以下		
〃	〃 301〃以上	2,855	0.1
卵 形 渠		4,907	0.2
伏 越 渠		8,009	0.3
計		15,771	0.5
合 計		3,062,056	100.0

第2節 ポンプ所

ポンプ所目次

<u>中部管理事務所々管</u>			
1. 錦瓶町ポンプ所	68頁	14. 地藏堀ポンプ所	78頁
2. 箱崎町ポンプ所	69ヶ	15. 藍染ポンプ所	78ヶ
3. 中洲町ポンプ所	69ヶ	16. 宮城ポンプ所	79ヶ
4. 浜町ポンプ所	70ヶ	17. 千住ポンプ所	80ヶ
5. 汐留ポンプ所	71ヶ	<u>東部管理事務所々管</u>	
6. 桜橋ポンプ所	71ヶ	18. 木場ポンプ所	81ヶ
<u>北部管理事務所々管</u>		19. 月島ポンプ所	82ヶ
7. 南千住ポンプ所	72ヶ	20. 越中島ポンプ所	83ヶ
8. 汐入ポンプ所	73ヶ	21. 三ノ橋ポンプ所	84ヶ
9. 橋場ポンプ所	74ヶ	22. 業平橋ポンプ所	85ヶ
10. 和泉町ポンプ所	75ヶ	23. 砂町ポンプ所	86ヶ
11. 日本堤ポンプ所	75ヶ	24. 大島ポンプ所	87ヶ
12. 山谷ポンプ所	76ヶ	25. 吾嬬ポンプ所	88ヶ
13. 町屋ポンプ所	77ヶ	26. 小松川ポンプ所	89ヶ
		27. 隅田ポンプ所	90ヶ

1 ポンプ所計画排水量と現有排水能力

(昭和38年度末)

系統別	ポンプ所名	計画排水量			現有排水能力		備考
		晴天時汚水量	雨天時汚水量	雨水量	汚水ポンプ能力	雨水ポンプ能力	
		m³/日	m³/日	m³/分	m³/日	m³/分	
芝浦	錢瓶町	368,000	734,400		695.520		
	箱崎町			38.40		38.00	
	中洲町			28.56		29.00	
	浜町			247.20		252.00	
	汐留			930.70		1,116.00	
	桜橋			1,499.34		1,800.00	
三河島	南千住	25,800	47,000	118.92	69,120	200.60	
	汐入	16,500	30,758	289.74	25,920	60.00	
	橋場	7,776	14,515	217.62	10,368	72.00	
	日本堤			2,220.00		1,000.00	
	山谷			120.60		279.00	
	和泉町	11,900	20,822		31,882		
	地藏堀	2,333	4,258	60.00	4,320	60.00	
	町屋	70,600	127,267	708.66	167,040	450.00	
	藍染	314,323	553,738	1,960.20	208,800	1,185.00	
小台	宮城			572.40		360.00	
砂町	木場	257,800	444,269	2,504.40	408,672	1,080.00	
	越中島			139.68		178.00	
	月島	50,600	84,499		60,480		
	三ノ橋	119,000	205,978	1,286.58	195,120	1,220.00	
	業平橋	45,600	78,019	733.68	136,800	1,050.00	
	砂町	308,700	535,680	1,528.92	144,000	400.00	
	大島	213,580	368,496	1,588.80	123,840	270.00	
	小松川	23,600	43,200	1,309.56	23,040	520.00	
	吾嬬	113,500	194,486	1,380.06	109,440	1,460.00	
	隅田	28,598	48,816	967.20	27,360	200.00	
	千住	26,438	46,456	1,023.18	27,360	630.00	
計		2,004,648	3,582,657	21,564.40	2,469,082	13,909,60	

(註) 計画排水量は東京都市計画下水道添付資料による。

(1) 錢瓶町ポンプ所

所 在 地 千代田区大手町 2 丁目 8 番地

創 設 昭和 6 年 3 月

敷 地 面 積 13,332 m^2 (4,040 坪)

設 置 目 的 千代田、中央両区の大部ならびに文京、新宿両区の一部の汚水を吸揚して、大手町幹線、中段幹線、錢瓶幹線等により芝浦処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 1,440.19ヘクタール

計画人口 242,000 人

計画排水量 晴天時 4.259 m^3/S (368,000 m^3/D)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延1,903.33 m^2			
入口阻水扉	油圧開閉式 巾 1.25m 高 1.68m 矩形	1	月島機械	
"	" 径 1.22m	1	"	
"	" 径 1.000m	1	"	
"	径 0.600m	1		
集 水 池	長巾深 12.15m 6.10m 7.62m	1		
集水池阻水扉	巾高 1.88m 2.00m 馬蹄形	2	日立製作所	
沈 砂 池	長巾 21.33m 5.18m 有効水深 1.88m 有効容量 207.7 m^3	2		
揚 泥 機	門型移動グラブバケツ式	1	桜田機械	
ろ 格 機	ドル式 S 型 巾高 1.88m 機械搔上式 2.424m 目巾 25mm	4	三機工業	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 4.10mm 揚水量 17 m^3/m 揚程 9.75m 馬力 60HP	1	日立製作所	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 400m 揚水量 20 m^3/m 揚程 10.2m 馬力 75HP	1	"	
"	電動機厚結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 610mm 揚水量 42 m^3/m 揚程 9.75m 馬力 140HP	2	"	
"	" 口 径 810m 揚水量 84 m^3/m 揚程 9.55m 馬力 275HP	2	"	

種別	形状	其他の仕様	数量	製作所名	備考
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 810mm 揚水量 84 m³/m 揚程 9.8m 馬力 271HP	1	日立製作所	
〃	〃	口径 900mm 揚水量 110 m³/m 揚程 9.8m 馬力 320HP	1	〃	
昇降機	荷物用能力	1 ton	1	日本エレベータ	
沈砂篩渣搬出機	フラットコンペア式		1	理研金属工業	

(2) 箱崎町ポンプ所

所在地	中央区日本橋箱崎町4丁目18番地
創設	昭和32年9月
敷地面積	85.455 m² (25.85坪)
設置目的	地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋箱崎町4丁目付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。
計画排水面積	雨水 5.02ヘクタール
計画排水量	雨水量 0.640 m³/S (38.4 m³/min)

種別	形状	其他の仕様	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建延41.05 m²				
ろ格機	機械搔上式	巾 1.80m 高 2.3m 目巾 25mm	1	江戸川機械	
雨水ポンプ	電動機直結及びディーゼルエンジン歯車掛堅軸型斜流ポンプ	口径 550mm 揚水量 38 m³/m 揚程 3.7m 電動機馬力 47HP エンジン馬力 60HP	1	電業社	

(3) 中洲町ポンプ所

所在地	中央区日本橋中洲町2番地
創設	昭和32年8月
敷地面積	201.65 m² (61.0坪)
設置目的	地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた、中央区日本橋中洲一帯の雨水を吸揚し箱崎川に放流する。
計画排水面積	雨水 3.35ヘクタール

計画排水量 雨水量 $0.476 \text{ m}^3/\text{S}$ ($28.56 \text{ m}^3/\text{min}$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 ろ格機	コンクリート建 延 39.50 m^2 機械搔上式 巾 1.50 m 高 3.5 m 目巾 25 mm	1	江戸川機械	
雨水ポンプ	電動機直結及 ディーゼルエンジン歯車掛 豎軸型斜流ポンプ 口径 500 mm 揚水量 $29 \text{ m}^3/\text{m}$ 揚程 3 m 電動機馬力 30 HP エンジン馬力 40 HP	1	電業社	

(4) 浜町ポンプ所

所 在 地 中央区日本橋浜町2丁目 浜町公園内

創 設 昭和36年4月

敷地面積 580 m^2 (176坪)

設置目的 地盤沈下のため、高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた中央区浜町付近の雨水を吸揚し荒川に放流する。

計画排水面積 雨水 27.71 ヘクタール 計画排水量 雨水量 $4.120 \text{ m}^3/\text{S}$ ($247.2 \text{ m}^3/\text{min}$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 36.60 m^2			
沈砂池	長 16.00 m 巾 1.70 m 有効水深 2.60 m 有効容量 141 m^3	2		
搔集機	沈砂搔揚用	2	守住土木	
ろ格機	機械搔揚式 高 3.66 m 巾 1.7 m 目巾 25 mm	2	"	
雨水ポンプ	電動機ディーゼルエンジン共用豎軸型軸派ポンプ 口径 $1,000 \text{ mm}$ 揚水量 $130 \text{ m}^3/\text{m}$ 揚程 4.5 mm 電動機馬力 187 HP エンジン馬力 200 HP	2	日立製作所	

(5) 汐留ポンプ所

所 在 地 中央区銀座東8丁目19番地先

創 設 昭和37年4月

敷 地 面 積 $2,396.8\text{m}^2$ (725坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が、不可能となつた千代田区内幸町、有楽町及び中央区銀座西、銀座、銀座東、築地一帯の雨水を吸揚し築地川に放流する。

計画排水面積 雨水 88.47ヘクタール

計画揚水量 雨水量 $15.511\text{m}^3/\text{S}$ ($930.7\text{m}^3/\text{min}$)

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(建坪)	546m^2			
入口阻水扉	油圧開閉式	高巾 $3.0m$ $1.6m$	2	久保田鉄工	
〃	〃	高巾 $1.92m$ $2.4m$	1	〃	
放流口阻水扉	〃	高巾 $2.5m$ $2.45m$	2	〃	
ろ格室 入口阻水扉	〃	高巾 $2.5m$ $2.0m$	3	〃	
ろ 格 機	機械搔上式	高巾 $7.5m$ 目巾 $2.4m \times 2$ $40mm$	3	日立金属	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛 車掛堅軸型斜流ポンプ	口径 $1,200mm$ 揚水量 $186\text{m}^3/\text{m}$ 揚程 $4.6m$ エンジン馬力 280HP	3	荏原製作所	
〃	ディーゼルエンジン歯車掛 堅軸型斜流ポンプ	口径 $1,200mm$ 揚水量 $186\text{m}^3/\text{m}$ 揚程 $4.6m$ 馬力 280HP	3	〃	

(6) 桜橋ポンプ所

所 在 地 中央区新富町1丁目1番地先

創 設 昭和37年4月

敷 地 面 積 $2,512.23\text{m}^2$ (760坪)

設 置 目 的 地盤沈下のため高潮時に雨水の自然放流が不可能となつた千代田区有楽町、丸ノ内および中央区日本橋、京橋、室町、兜町、茅場町、西八丁堀、銀座東、新富町附近一帯の雨水を吸揚し、桜川に放流する。

計画排水面積 雨水 117.61ヘクタール

計画揚水量 雨水量 $24.989\text{m}^3/\text{S}$ ($1,499.34\text{m}^3/\text{min}$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 (建坪) 918m ²			
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 3.6m 2.3m	2	荏原製作所	
放流口阻水扉	〃 高巾 3.3m 1.6m	2	〃	
放流口阻水扉	電動開閉式 高巾 3.5m 1.65m	2	大原鉄工所	
ろ格室 入口阻水扉	〃 高巾 3.5m 2.5m	3	荏原製作所	
ろ格機	機械搔上式 高巾 7.5m 2.1m×2 目巾 40mm	3	桜田機械	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン及電動機歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 1,500mm 揚水量 300m ³ /m 揚程 4.5m エンジン馬力500HP 電動機馬力440HP	3	荏原製作所	
〃	ディーゼルエンジン歯車掛堅軸型斜流ポンプ 口径 1,500mm 揚水量 300m ³ /m 揚程 4.5m 馬力 500HP	3	〃	
〃	電動機直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口径 610mm 揚水量 42m ³ /m 揚程 9.75m 馬力 140HP	1	日立製作所	

(7) 南千住ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住8丁目89番地

創 設 昭和9年3月

敷 地 面 積 1,610.4m² (488坪)

設 置 目 的 荒川区南千住5, 6, 8丁目一帯の汚水および雨水と汐入ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 156.48ヘクタール

雨水 58.00ヘクタール

計画人口 46,000人

計画排水量 晴天時 0.299m³/S (25,800m³/D)雨水量 1.982m³/S (118.92m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
事務所	コンクリート建 延64.02m ²			
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延360.10m ²			
入口阻水扉	電動開閉式 高巾 1.68m 1.82m 矩形	2	久保田鉄工	
沈砂池	長巾 13.64m 3.64m 有効水深 1.36m 有効容量 67.5m ³	2		

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
揚 泥 機	移動式	1	油 谷 製 作 所	
ろ 格 機	機械搔上式 高巾 4.06m 巾 2.42m×2 目巾 25mm	1	浅 野 物 産	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	2	荏 原 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	2	"	
"	電動機直結ディーゼルエンジン切替駆動豎型斜流ポンプ	1	"	

(8) 汐入ポンプ所

所 在 地	荒川区南千住10丁目20番地
創 設	昭和16年5月
敷 地 面 積	915.22m ² (277.34坪)
設 置 目 的	荒川区南千住10丁目附近の汚水、雨水ならびに橋場ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は南千住幹線により南千住ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 80.87ヘクタール 雨水 48.70ヘクタール
計画人 口	27,000人
計画排水量	晴天時 0.191m ³ /S (16,500m ³ /D) 雨水量 4.829m ³ /S (289.74m ³ /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	木造モルタル建 延136.55m ²			
入口阻水扉	高巾 1.20m 矩形 1.60m	1	ゼネラル商会	雨 水 用
"	高巾 0.50m 正方形 0.50m	1	"	汚 水 用
沈砂池	長巾 14.00m 2.50m 有効水深 0.82m 有効容量 28.7m ³	2		
ろ 格 機	機械搔上式 高巾 2.9m 巾 2.2m 目巾 41mm	1		雨 水 用

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考	
ろ格	手搔上式	高巾 目巾	2.9m 1m 25mm	1		汚水用
汚水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	250mm 9m ³ /m 7m 25HP	2	荏原製作所	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	500mm 30m ³ /m 3.5m 40HP	2	西島製作所	

(9) 橋場ポンプ所

所在地	荒川区南千住3丁目190番地
創設	昭和13年3月
敷地面積	542.19m ² (164.3坪)
設置目的	荒川区南千住3, 4, 丁目附近の汚水、雨水を吸揚し、雨水は荒川へ放流し、汚水は南千住幹線により汎入ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 32.17ヘクタール 雨水 32.17ヘクタール
計画人口	11,000人
計画排水量	晴天時 0.090m ³ /S (7,776m ³ /D) 雨水量 3.627m ³ /S / (721.62m ³ /min)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考	
ポンプ室	コンクリート建	延165.99m ²				
入口阻水扉	高巾	1.50m 1.80m	1		雨水用	
〃	高巾	0.70m 0.70m	1		汚水用	
沈砂池	長巾	10.0m 4.0m	2			
	有効水深	1.4m				
	有効容量	56m ³				
ろ格機	機械搔揚式	高巾 目巾	3.2m 2.4m 41mm	1		雨水用
ろ格	手搔上式	高巾 目巾	3.2m 1.2m 25mm	1		汚水用
汚水ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	175mm 36m ³ /m 9.0m 15HP	2	荏原製作所	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	450mm 24m ³ /m 2.8m 27HP	2	〃	
〃	ディーゼルエンジン直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	450mm 24m ³ /m 2.8m 30HP	1	〃	

(10) 和泉町ポンプ所

所 在 地 千代田区神田和泉町1番地
 創 設 大正11年8月
 敷 地 面 積 $452.1m^2$ (137坪)
 設 置 目 的 国電山手線、秋葉原駅より御徒町に至る周辺、即ち台東区仲御徒町1, 2, 3丁目及び松永町西ならびに千代田区花岡町等より以西の大部の汚水を吸揚し、浅草幹線により三河島処理場へ送る。
 計画排水面積 汚水 47.60 ヘクタール
 計画人口 11,000人
 計画排水量 晴天時 $0.138m^3/S$ ($11,900m^3/D$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $314.29m^2$			
入口阻水扉	径 $0.60m$	2		
沈砂池	長 $8.17m$ 巾 $4.17m$ 有効水深 $1.52m$ 有効容量 $52.0m^3$	2		
ろ格	手搔上式 巾 $4.1m \times 2$ 高 $2,424m$ 目巾 $10mm$	1		
汚水ポンプ	電動横直結 口 径 $200mm$ 横軸型片吸 揚水量 $5.1m^3/m$ 込式渦巻ポンプ 揚 程 $4.5m$ 馬 力 $10HP$	1	荏原製作所	
"	" 口 径 $250mm$ 揚水量 $8.52m^3/m$ 揚 程 $4.5m$ 馬 力 $15HP$	2	"	

(11) 日本堤ポンプ所

所 在 地 台東区浅草日本堤2丁目1番地
 創 設 昭和37年12月
 敷 地 面 積 $3,775.60m^2$ (1,142.39坪)
 設 置 目 的 台東区の東北部は、旧田町ポンプ所排水流域であつたが、近年地盤沈下が甚しく又その周辺区域も同様に沈下し、雨水をポンプ吸揚して排水する必要が生じた。このため田町ポンプ所を大規模に改造し、台東区の大部（合羽橋附近より北部の概ね全域）荒川区日暮里町1～4及9丁目の一部の雨水を吸揚して山谷堀に放流する。
 計画排水面積 雨 水 432.60 ヘクタール
 計画排水量 雨水量 $37.000m^3/S$ ($2,220m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建（建坪） $369m^2$			
入口阻水扉	油圧閉閉式 高 $3.24m$ 巾 $2.00m$	2	奥村機械	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 所 作 名	備 考	
沈 砂 池	長巾 有効水深 有効容量	11.5m 5.0m 3.67m 211m ³	2		
揚 泥 機	グラブバケツ式		1	奥村機械	
搔 集 機	沈砂搔揚用		2	〃	
ろ 格 機	機械搔上式	高巾 目巾	6.30m 2.16m 52mm×2	2	〃
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結型 軸型斜流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	2,000mm 500m ³ /m 6.5m 1,050HP	2	荏原製作所

(12) 山谷ポンプ所

所 在 地	台東区浅草橋場町3丁目2番地
創 業	昭和29年3月
敷 地 面 積	542.55m ² (164.41坪)
設 置 目 的	地盤沈下のため、雨水放流不能となつた荒川区南千住2,3丁目、台東区三の輪町、浅草日本堤4丁目、浅草田中町3丁目、浅草山谷3,4丁目、浅草清川町3丁目、浅草石浜町2,3丁目、浅草橋場2,3丁目方面の雨水を吸揚して荒川に放流する。
計画排水面積 雨水	45.06ヘクタール
計画排水量	雨水量 3.510m ³ /S (210,6m ³ /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建延356.96m ²			
入口阻水扉	高巾 2m 2.1m 矩形	1	日本燃化機	
沈 砂 池	長巾 11.0m 4.6m 有効水深 1.75m 有効容量 88.6m ³	1		
揚 泥 機	バケツ・エレベーメ式		守住土木機械	
ろ 格 機	機械搔上式 高巾 3.25m 1.75m 目巾 31mm	1	東興造機	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	1	電業社	
"	口径 700mm 揚水量 63m ³ /m 揚程 43m 馬力 100HP	1	"	
"	口径 900mm 揚水量 108m ³ /m 揚程 4.1m 馬力 150HP	1	"	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ	1	"	
	口径 900mm 揚水量 108m ³ /m 揚程 4.1m 馬力 170HP			

(13) 町屋ポンプ所

所 在 地 荒川区町屋 8 丁目21番地の10

創 設 昭和30年3月

敷 地 面 積 3,867.6m² (1,172坪)

設 置 目 的 荒川区町屋の大部, 尾久町, 三河島町等の一部の汚水, 雨水および荒川区尾久町の大部, 北区昭和町の全部, 田端新町, 堀船町, 上中里町, 中里町, 田端町等の一部の汚水を吸揚し, 雨水は荒川に放流し, 汚水は尾久幹線により三河川処理場へ送る,

計画排水面積 汚水 494.80ヘクタール
雨水 142.58ヘクタール

計画人口 140,000人

計画排水量 晴天時 0.817m³/S (70,600m³/D)
雨水量 11.811m³/S (708.66m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延1,298.68m ²			
入口阻水扉	油圧開閉式 高 2.16m 巾 2.70m	2	安藤 鉄工	雨 水 用
"	" 高 0.98m 巾 1.40m	1	"	汚 水 用
沈砂池	長 20.0m 巾 6.0m 有効水深 2.10m 有効容量 252m ³	2		雨 水 用
"	長 10.0m 巾 3.0m 有効水深 0.49m 有効容量 14.7m ³	1		汚 水 用
揚泥機	走行グラブバケット型	1	関東 鉄工	
ろ格機	機械搔上式 巾 2.90m 高 3.55m 目巾 25mm	4	"	雨 水 用
"	" 巾 3.00m 高 3.70m 目巾 25mm	1	"	汚 水 用
雨水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 1,100mm 揚水量 150m ³ /m 揚程 6.4m 馬力 300HP	2	日立製作所	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 1,100mm 揚水量 150m ³ /m 揚程 6m 馬力 320HP	1	"	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 500mm 揚水量 33m ³ /m 揚程 14.5m 馬力 150HP	2	"	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 700mm 揚水量 50m ³ /m 揚 程 15m 馬 力 230HP	1	荏 原 製 作 所	

(14) 地蔵堀ポンプ所

所 在 地 荒川区南千住 7 丁目 122 番地

創 設 昭和24年 3月

敷 地 面 積 572.42m² (173.46坪)

設 置 目 的 荒川区南千住 7 丁目及び三河島 8 丁目附近の汚水及び雨水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 34ヘクタール

雨水 25ヘクタール

計画人 口 7,488人

計画揚水量 晴天時 0.027m³/S (2,333m³/D)雨水量 1.0m³/S (60m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	木造建 延81.34m ²			
入口阻水扉	径 1,000mm 手動開閉式	1	共 栄 精 機 所	
沈砂池	長 9.00m 巾 3.00m 有効水深 0.90m 有効容量 24.3m ³	1	文 珠 興 業	
ろ 格	手 握 上 式 高 2.02m 巾 1.4m×2 目巾 30mm	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ 口 径 150mm 揚水量 3m ³ /m 揚 程 6m 馬 力 10HP	1	水 野 組	
雨 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口 径 500mm 揚水量 30m ³ /m 揚 程 4.3m 馬 力 54HP	2	荏 原 製 作 所	

(15) 藍梁ポンプ所

所 在 地 荒川区荒川 8 丁目三河島処理場構内

創 設 昭和39年 4月

設 置 目 的 荒川区の一部の汚水、雨水並びに北、豊島、文京、荒川、台東各区の一部の汚水並びに南千住、湯島各ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は荒川に放流、汚水は三河島処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 2,70.05ヘクタール

雨水 335.52ヘクタール

計画人口 720,000人

計画排水量 晴天時 $3.638m^3/S$ ($314,300m^3/D$)雨水量 $32.67m^3/S$ ($1,960.20m^3/min$)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(建坪)800m ²				
入口阻水扉	油圧開閉式 高2.0m 巾2.8m		4	桜田機械	雨水用
"	" 高2.0m 巾1.8m		1	"	污水用
沈砂池	長20m 巾5m 有効水深2.8m 有効容量280m ³		4		雨水用
"	長12m 巾4m 有効水深1.2m 有効容量57.m ³		1		污水用
揚泥機	グラブバケット, ジブクレーン式		2	桜田機械	雨水用
"	バケットエレベーター式		1	"	污水用
ろ格機	機械搔上式 高4.7m 巾2.3m 目巾45mm		8	"	雨水用
"	" 高4.8m 巾1.8m 目巾20mm		2	"	污水用
雨水ポンプ	電動機直結堅口径1,700mm 軸型斜流ポンプ 揚水量395m ³ /m 揚程7.2m 馬力867HP		1	荏原製作所	
"	ディーゼルエンジン直結堅口径1,700mm 軸型斜流ポンプ 揚水量395m ³ /m 揚程7.2m 馬力950HP		2	"	
污水ポンプ	電動機直結堅口径700mm 軸型斜流ポンプ 揚水量72.5m ³ /m 揚程15m 馬力330HP		2	"	

(16) 宮城ポンプ所

所在地 足立区宮城町小台処理場構内

創設 昭和39年4月

設置目的 足立区宮城町、小台町、本木町地帯の雨水を吸揚して、荒川へ放流する。

計画排水面積 雨水 90.00ヘクタール

計画排水量 雨水量 $9.54m^3/S$ ($572.4m^3/min$)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建(建坪)208.25m ²				
入口阻水扉	油圧開閉式 高2.16m 巾1.80m		2	田原製作所	

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	20m 5m 2.5m 250m ³	2		
ろ格機	機械搔上式	高巾 目巾	3m 2.25m 25mm	4	三機工業
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結堅軸型斜流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	1,100mm 180m ³ /m 7m 450HP	1	日立製作所
"	電動機直結堅軸型斜流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	1,100mm 180m ³ /m 7m 400HP	1	"

(17) 千住ポンプ所

所在地	足立区千住曙町61番地
創設	昭和38年4月
敷地面積	5,950.44m ² (1,800坪)
設置目的	足立区千住、千住大川町、日の出町、柳原町、千住曙町、千住関屋町、千住橋戸町、他の地域の汚水、雨水並びに千住西ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し、雨水は、綾瀬川に放流、汚水は砂幹線により吾嬬ポンプ所へ送る。
計画排水面積	汚水 410.70ヘクタール 雨水 298.70ヘクタール
計画人口	61,000人
計画揚水量	晴天時 0.306m ³ /S 雨水量 17.053m ³ /S (1,023.18m ³ /min)

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延2,048.10m ²			
入口阻水扉	油圧開閉式	高巾 6.46m 2.45m	4	日立製作所	雨水用
"	"	高巾 2.58m 1.35m	1	"	污水用
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	20.0m 5.4m 2.6m 280m ³	4		雨水用
"	長巾 有効水深 有効容量	16m 2.0m 0.55m 17.6m ³	1		污水用

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
搔 捣 機	ダブルチエーンコンベア式	1	日立製作所	
搔 捣 機	〃	1	〃	
搬 出 機	ベルトコンベア式	2	〃	
ろ 格 機	機械搔上式 高巾 4.3m 目巾 2.45m 目巾 45mm	4	〃	雨 水 用
〃	〃 高巾 5.4m 目巾 2.0m 目巾 15mm	1	〃	汚 水 用
雨 水 ポンプ	ディーゼルエンジン直結堅型斜流ポンプ 口径 1,200mm 揚水量 210m ³ /m 揚程 5.2m 馬力 375HP	2	〃	
〃	電動機直結堅型斜流ポンプ 口径 1,200mm 揚水量 210m ³ /m 揚程 5.2m 馬力 333HP	1	〃	
汚 水 ポンプ	電動機直結堅型片吸込式渦巻ポンプ 口径 350mm 揚水量 19m ³ /m 揚程 15m 馬力 100HP	1	〃	

(18) 木場ポンプ所

所 在 地 江東区深川豊住町3丁目2番地

創 設 昭和4年12月

敷 地 面 積 8,906.7m² (2,699坪)

設 置 目 的 江東区南西部即ち白河町, 扇橋, 木場, 平野町, 東陽町他の地域の汚水, 雨水ならびに三ノ橋, 月島各ポンプ所から送られて来る汚水を吸揚し, 雨水は十間川に放流し, 汚水は木場幹線により砂町処理場へ送る。

計画排水面積 汚水 1,385.00ヘクタール

雨水 443.0ヘクタール

計 画 人 口 325,000人

計画排水量 晴天時 2.984m³/S (257,800m³/D)

雨水量 42.52m³/S (2,551.2m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延2,943.13m ²			
入口阻水扉	高巾 3.00m 1.80m 矩形	8	桜田機械	
沈砂池	長巾 18.03m 5.23m 有効水深 5.91m 有効容量 557m ³	4		
揚泥機	門型移動式	2	日立製作所	
ろ格機	機械搔上式 高巾 6.65m 目巾 1.82m×2 目巾 25mm	4	米井商店	

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
汚水ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 250mm 揚水量 66m ³ /m 揚程 7.0m 馬力 18HP	1	荏原製作所	
"	電動機直結横軸形両吸込式 渦巻ポンプ 口径 510mm 揚水量 25.2m ³ /m 揚程 7.6m 馬力 60HP	1	日立製作所	
"	口径 600mm 揚水量 42m ³ /m 揚程 7.8m 馬力 100HP	1	"	
"	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 610mm 揚水量 42m ³ /m 揚程 7.5m 馬力 100HP	1	"	
"	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 810mm 揚水量 84m ³ /m 揚程 7.1m 馬力 180HP	2	"	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型可動羽根式2段軸流ポンプ 口径 1,140mm 揚水量 180m ³ /m 揚程 6.5m 馬力 400HP	2	荏原製作所	
"	電動機直結横軸型斜流ポンプ 口径 1,140mm 揚水量 180m ³ /m 揚程 7.5m 馬力 450HP	4	"	

(19) 月島ポンプ所

所在地 中央区新佃島東町1丁目13番地

創設 昭和30年4月

敷地面積 503.25m² (152.5坪)

設置目的 中央区佃島、新佃島西町、西河岸通、西仲通、月島通、東仲通、東河岸通、晴海町他の汚水を吸揚し月島幹線、三ノ橋幹線等により木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 188.00ヘクタール

計画人口 27,000人

計画排水量 晴天時 0.586m³/S (50,600m³/D)

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延350.06m ²			
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 0.90m 0.80m	1	守土土木機械	
阻水扉	手動開閉式 径 600mm	1		
沈砂池	長巾 9.0m 1.5m 有効水深 0.78m 有効容量 10m ³	1		

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ろ 格 機	機械搔上式 巾 高 巾巾 1.50m 3.40m 25mm	1	土 谷 製 作 所	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横 軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口 径 揚水量 400mm 20m³/m 揚程 21m 馬力 150HP	1	西 島 製 作 所	
〃	〃 口 径 揚水量 300mm 11m³/m 揚程 21m 馬力 85HP	2	〃	
揚 泥 機	バケットエレベーター式 1 KW	1	土 谷 製 作 所	
搔 泥 機	バケットコンペア式 2 KW	1	〃	
昇 降 機	ローベット懸垂型 電動ホイスト付 1 ton 3 KW	1	日本エレベーター	

(20) 越中島ポンプ所

所 在 地 江東区深川越中島町8番地

創 設 昭和30年10月

敷 地 面 積 808.5m² (245坪)

設 置 目 的 高潮時に江東区深川越中島町一帯の雨水をポンプ吸揚により越中島川に放流する。

計画排水面積 雨水 36.70ヘクタール

計画排水量 雨水量 2.328m³/S (139.68m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボ ン プ 室	鉄筋コンクリート建 延344.68m²			
入 口 阻 水 扉	電動開閉式 高 巾 1.40m 1.40m	1	日 立 製 作 所	
放 流 阻 水 扉	〃 高 巾 1.40m 1.40m	1	〃	
沈 砂 池	長 巾 12.0m 4.0m 有効水深 1.26m 有効容量 60.5m³	1	〃	
ろ 格	手 搔 上 式 高 巾 3.40m 4.00m 巾巾 30mm	1	〃	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン直結横 軸型固定羽根 式軸流ポンプ 口 径 揚水量 800mm 84m³/m 揚程 4.2m 馬力 130HP	1	荏 原 製 作 所	
〃	電動機直結横 軸型斜流ポン プ 口 径 揚水量 600mm 47m³/m 揚程 4.5m 馬力 75HP	2	〃	

(21) 三ノ橋ポンプ所

所 在 地 墨田区豊川町4丁目1番地

創設 昭和4年7月

數地面積 4,674.94m² (1,416.65坪)

設置目的 墨田区南部、即ち亀沢町、錦糸町、江東橋他及び、江東区西北部即ち森下町、高橋、猿江町、他の地域の汚水、雨水ならびに業平橋ポンプ所より送られて来る汚水を吸揚し、雨水は堅川へ放流し、汚水は木場ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 724.00ヘクタール

雨水 422.00ヘクタール

計画人口 189,000人

計画排水量 睽天時 $1,378\text{m}^3/\text{S}$ ($119,000\text{m}^3/\text{D}$)

雨水量 $21.443\text{m}^3/\text{s}$ ($1.286.58\text{m}^3/\text{min}$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室 入口阻水扉	鉄筋コンクリート建 延3,034.84m ² 高巾 3.00m 1.50m 矩形	8	桜田機械	
沈砂池	長巾 18.18m 6.06m 有効水深 2.13m 有効容量 234.6m ³	4		
ろ格機	機械搔上式 高巾 6.06m 1.67m×2 目巾 25mm	4	月島機械	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 460mm 揚水量 21m ³ /m 渦巻ポンプ 揚程 5.8m 馬力 45HP	2	日立製作所	
"	" 口 径 610mm 揚水量 42m ³ /m 揚程 5.3m 馬力 80HP	2	"	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型斜流ポンプ 口 径 250mm 揚水量 9.5m ³ /m 揚程 4.5m 馬力 20HP	1	"	
雨水ポンプ	電動歯車掛け横軸型両吸込式 口 径 1,140mm 揚水量 170m ³ /m 渦巻ポンプ 揚程 3.5m 馬力 180HP	1	荏原製作所	
"	電動機直結横軸型両吸込式 口 径 1,140mm 揚水量 170m ³ /m 渦巻ポンプ 揚程 5m 馬力 250HP	3	"	
"	電動機直結横軸型可動羽根式軸流ポンプ 口 径 1,140mm 揚水量 180m ³ /m 揚程 3.5m 馬力 200HP	3	"	
揚昇機 泥降機	門型移動グラブパケツ式 荷物用能力 1 ton	2 2	日本機械貿易 内外エレベーター	

(22) 業平橋ポンプ所

所 在 地 墨田区吾妻橋3丁目17番地

創 設 昭和4年7月

敷 地 面 積 $4.435.2m^2$ (1,344坪)

設 置 目 的 墨田区中部、即ち向島、吾妻橋、東駒形の地域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は北十間川に放流し、汚水は業平橋幹線により、三ノ橋ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 302.00ヘクタール
雨水 302.00ヘクタール

計画人口 83,000人

計画排水量 晴天時 $0.528m^3/S$ ($45,600m^3/D$)
雨水量 $12.228m^3/S$ ($733.68m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $2,544.76m^2$			
入口阻水扉	高巾 $2.44m$ $1.52m$ 矩形	8	安治川鉄工所	
沈砂池	長巾 $18.28m$ $4.55m$ 有効水深 $3.73m$ 有効容量 $308.5m^3$	4		
揚泥機	バケツエレベーター式	2	米井商店	
ろ格機	機械搔上式 高巾 $5.44m$ $1.67m \times 2$ 自巾 $25mm$	4	桜田機械	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 $500mm$ 揚水量 $30m^3/m$ 揚程 $6.4m$ 馬力 $60HP$	1	日立製作所	
"	" 口径 $510mm$ 揚水量 $27m^3/m$ 揚程 $5.8m$ 馬力 $55HP$	2	"	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 $300mm$ 揚水量 $11m^3/m$ 揚程 $6.5m$ 馬力 $27HP$	1	電業社	
雨水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ 口径 $1,140mm$ 揚水量 $170m^3/m$ 揚程 $4.0m$ 馬力 $230HP$	3	荏原製作所	
"	電動機直結横軸型固定羽根式軸流ポンプ 口径 $1,140mm$ 揚水量 $180m^3/m$ 揚程 $3.0m$ 馬力 $180HP$	3	"	
捲揚機	傾斜路型	1 ton	内外エレベーター	

(23) 砂町ポンプ所

所 在 地 江東区南砂町5丁目1番地

創 設 昭和35年4月

確 地面積 $8,785m^2$ (2,657.52坪)設 置 目 的 砂町系統のうち、砂町排水区（江東区の半分）の汚水、雨水を吸揚し東京湾に放流する。
将来、汚水は大島ポンプ所より来る汚水をあわせ砂町処理場に送る計画である。計画排水面積 汚水 $2,238.57\text{ヘクタール}$ 雨水 488.86ヘクタール

計画人 口 462,000人

計画排水量 晴天時 $3.573m^3/S$ ($308,700m^3/D$)雨水量 $25.482m^3/S$ ($1,528.92m^3/min$)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 $2,295.26m^2$			
入口阻水扉	高巾 $1.80m$ $2.00m$	1	久保田鉄工	汚水用
〃	高巾 $1.80m$ $1.95m$	4	〃	雨水用
沈砂池	長巾 $20.00m$ $3.00m$ 有効水深 $1.80m$ 有効容量 $108.0m^3$	1		汚水用
〃	長巾 $20.00m$ $4.50m$ 有効水深 $2.77m$ 有効容量 $249.3m^3$	4		雨水用
ろ格機	機械搔上式 高巾 $5.1m$ $2.0m$ 目巾 $25mm$	8	桜田機械	雨水用
〃	〃 高巾 $6.1m$ $3.0m$ 目巾 $25mm$	1	〃	汚水用
雨水ポンプ	デイーゼルエンジン歯車掛け 堅軸型斜流ポンプ 口 径 $1,200mm$ 揚水量 $200m^3/m$	2	荏原製作所	
汚水ポンプ	電動機直結堅軸型片吸込式 口 径 $900mm$ 揚水量 $100m^3/m$ 渦巻ポンプ 揚程 $18m$ 馬力 $533HP$	1	〃	
スキツプ ホイスト	電動巻上式 口 径 $7.5HP$	1	桜田機械	
篩渣用脱水機	長巾 $2.3m$ $0.6m$	1	〃	
揚泥機	グラブバケット式	3	〃	
砂洗機	バケットコンベア式	1	〃	
高架ホッパー	油圧開閉式 容量 $5.6m^3$	1	〃	
篩渣用破碎機	スイングハンマー式 处理能力 $3m^3/h$	1	〃	

(24) 大島ポンプ所

所 在 地 江東区大島町6丁目地内

創 設 昭和39年4月

敷 地 面 積 8,349.62m² (2,526.36坪)

設 置 目 的 墨田区吾嬬町の一部、江東区亀戸町の全域よりの汚水、雨水並びに吾嬬、小松川各ポンプ所より送られて来る汚水とを吸揚し、雨水は豊川に放流、汚水は砂幹線により砂町ポンプ所へ送水する。

計画排水面積 汚水 1,749.71ヘクタール
雨水 469.78ヘクタール

計画人口 361,000人

計画排水量 晴天時 2.472m³/S (213,580.8m³/D)
雨水量 26.480m³/S (1,588.80m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 193.5m ²			
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 3.0m 2.2m	2	田原製作所	雨 水 用
〃	〃 高巾 2.2m 2.0m	1	〃	汚 水 用
沈砂池	長巾 20m 5m 有効水深 5.4m 有効容量 540m ³	6		雨 水 用
〃	長巾 15m 4m 有効水深 5.25m 有効容量 315m ³	2		汚 水 用
擣泥機	グラブバケット、シグクリーン式	1	三機工業	雨 水 用
〃	バケットエレベータ式	1	〃	汚 水 用
ろ格機	機械挿上式 高巾 4.58m 4.60m 目巾 45mm	4	〃	雨 水 用
〃	〃 高巾 5.00m 5.04m 目巾 20mm	2	〃	汚 水 用
汚水ポンプ	電動機直結堅軸型斜流ポンプ 口径 800mm 揚水量 86m ³ /m 揚程 7.5m 馬力 200HP	1	電業社	
雨水ポンプ	ディーゼルエンジン直結堅軸斜流ポンプ 口径 1,400mm 揚水量 270m ³ /m 揚程 10m 馬力 900HP	1	日立製作所	

(25) 吾嬬ポンプ所

所 在 地 墨田区吾嬬町東5丁目35番地

創 設 昭和16年3月

敷 地 面 積 5,890.5m² (1,785坪)

設 置 目 的 墨田区隅田町の一部、寺島町の大部、吾嬬町の全域の汚水、雨水を吸揚し、雨水は中川に放流する。将来は千住、隅田各ポンプ所より送られてくる汚水を吸揚し、砂幹線により大島ポンプ所へ送る。

計画排水面積 汚水 1,005.60ヘクタール

雨水 402.90ヘクタール

計 画 人 口 224,000人

計画排水量 晴天時 1.314m³/S (113,500m³/D)雨水量 23.001m³/S (1,380.06m³/min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延855.55m ²			
入口阻水扉	高巾 3.50m 2.00m 矩形	4	久保田鉄工	雨 水 用
"	高巾 1.20m 2.00m 矩形	1		汚 水 用
沈砂池	長巾 18.00m 5.60m 2.96m 有効水深 298.0m ³ 有効容量	4		
揚泥機	移動式	1	守住土木機械	
ろ格機	機械搔上式 高巾 5.267m 目巾 2.15m×2 40mm	2	浦賀船渠	雨 水 用
"	〃 高巾 2.11m 目巾 2.1m×2 21mm	1		汚 水 用
"	〃 高巾 5m 目巾 2.0m×2 25mm	2	東興造機	雨 水 用
篩 漏 脱 水 置	圧縮式	1	東興造機 五十嵐鉄工所	
汚水ポンプ	電動機直結横軸両吸込式渦巻ポンプ 口径 650mm 揚水量 30m ³ /m 揚程 9m 馬力 100HP	2	荏原製作所	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口径 350mm 揚水量 16m ³ /m 揚程 10m 馬力 60HP	1	"	
雨水ポンプ	電動機直結堅軸型可動羽根式軸流ポンプ 口径 1,600mm 揚水量 330m ³ /m 揚程 5.7m 馬力 600HP	1	"	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
雨水ポンプ	電動機直結堅軸型斜流ポンプ 口 径 1,600mm 揚水量 330m ³ /m 揚程 7m 馬力 340HP	2	荏原製作所	
"	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式渦巻ポンプ 口 径 1,000mm 揚水量 140m ³ /m 揚程 7m 馬力 340HP	1	"	
送泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式渦巻ポンプ 口 径 150mm 揚水量 1,41m ³ /m 揚程 26.5m 馬力 27HP	2	"	
ホイスト 高架ホッパー	荷 物 用 能 力 2 ton 油圧開閉式 容 量 3 m ³	1 1	日立製作所 三興工業	

(26) 小松川ポンプ所

所 在 地	江戸川区平井1丁目2,185番地
創 設	昭和37年4月
敷 地 面 積	4,662m ² (1,410坪)
設 置 目 的	墨田区吾嬬町の一部及び江戸川区平井, 逆井, 小松川等の汚水, 雨水を吸揚し, 雨水は中川へ放流する。将来汚水は小松川幹線, 砂幹線により大島ポンプ所へ送水する。
計画排水面積	汚水 274.33ヘクタール 雨水 274.33ヘクタール
計画人口	37,000人
計画排水量	晴天時 0.273m ³ /S (23,600m ³ /D) 雨水量 21.826m ³ /S (1,309.56m ³ /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延2,295.26m ²			
入口阻水扉	油圧開閉式 高巾 1.0m 1.0m	1	桜田機械	汚水用
"	" 高巾 3.25m 1.6m	4	"	雨水用
沈砂池	長巾 12.0m 1.8m 有効水深 0.7m 有効容量 15.1m ³	1		汚水用
"	長巾 20.0m 4.5m 有効水深 2.7m 有効容量 240m ³	4		雨水用
揚泥機	走行ジブクレーン式	1	桜田機械	
ろ格機	機械搔上式 高巾 5.8m 1.5m 目巾 25mm	1	"	汚水用

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ろ 格 機	機械搔上式 高 5.5m 巾 1.75m×2 目巾 25mm	4	桜 田 機 械	雨 水 用
ス キ ツ ブ ホ イ ス ト	電動巻上式 7.5HP	1	〃	
高架ホッパー	油圧開閉式 容量 6m ³ ×2	1	〃	
篩 渣 破 碎 機	スイングハンマー式 处理能力3m ³ /h	1	三 菱 化 工 機	
〃 脱 水 機	〃 0.04m ³ /m	1	〃	
砂 洗 機	〃 3m ³ /h	1	〃	
汚 水 ポ ン プ	電動機直結堅軸型渦巻ポンプ 口 径 350m 揚水量 16m ³ /m 揚程 15m 馬 力 80HP	1	日 立 製 作 所	
雨 水 ポ ン プ	ディーゼルエンジン歯車掛堅軸斜流ポンプ 口 径 1,400m 揚水量 260m ³ /m 揚程 8m 馬 力 700HP	2	〃	

(27) 隅田ポンプ所

所 在 地	墨田区堤通2丁目16番地
創 設	昭和38年4月
敷 地 面 積	6,180.7m ² (1,869.66坪)
設 置 目 的	墨田区隅田町大部、寺島町の一部よりの汚水、雨水を吸揚し、雨水は荒川に放流し、汚水は砂幹線により吾嬬ポン所へ送る。
計画排水面積	汚水 192.00ヘクタール 雨水 192.00ヘクタール
計 画 人 口	53,000人
計画排水量	晴天時 0.331m ³ /S (28,598m ³ /D) 雨水量 16.120m ³ /S (967.20m ³ /min)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
ボンプ室	鉄筋コンクリート建 延1,694m ²			
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 高 3.60m 巾 2.25m	4	田 原 製 作 所 日 立 金 属	雨 水 用
〃	〃 高 1.00m 巾 1.35m	1	〃	汚 水 用
沈 砂 池	長 20m 巾 5m 有効水深 2.6m 有効容量 260m ³	4		雨 水 用
〃	長 16m 巾 1.5m 有効水深 0.54m 有効容量 13m ³	1		汚 水 用

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
揚 泥 機	走行ジブクレーン式	1	日立製作所	
ろ 格 機	機械搔上式 高 5.00m 巾 2.25m 目巾 45mm	4	日立金属	雨 水 用
"	" 高 5.8m 巾 1.5m 目巾 15m	1	"	污 水 用
雨 水 ポンプ	ディーゼルエンジン歯車掛 縦軸型斜流ポンプ	1,200mm 200m ³ /m 8m 550HP	1	電 業 社
汚 水 ポンプ	電動機直結縦 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	350mm 19m ³ /m 12.5m 80HP	2	"

第3節 処理場

1. 処理場・処理能力の推移

年 次	三 河 島	芝 浦	砂 町	小 台	落 合	森 ケ 崎	合 計
32	165,000	539,800	178,800				883,600
33	"	"	"				"
34	"	"	"				"
35	"	"	"				"
36	267,400	633,000	225,000				1,125,400
37	223,000	770,000	302,700	100,000			1,389,000
38	209,700	770,000	302,700	179,000	90,000		1,551,400

(1) 芝浦処理場

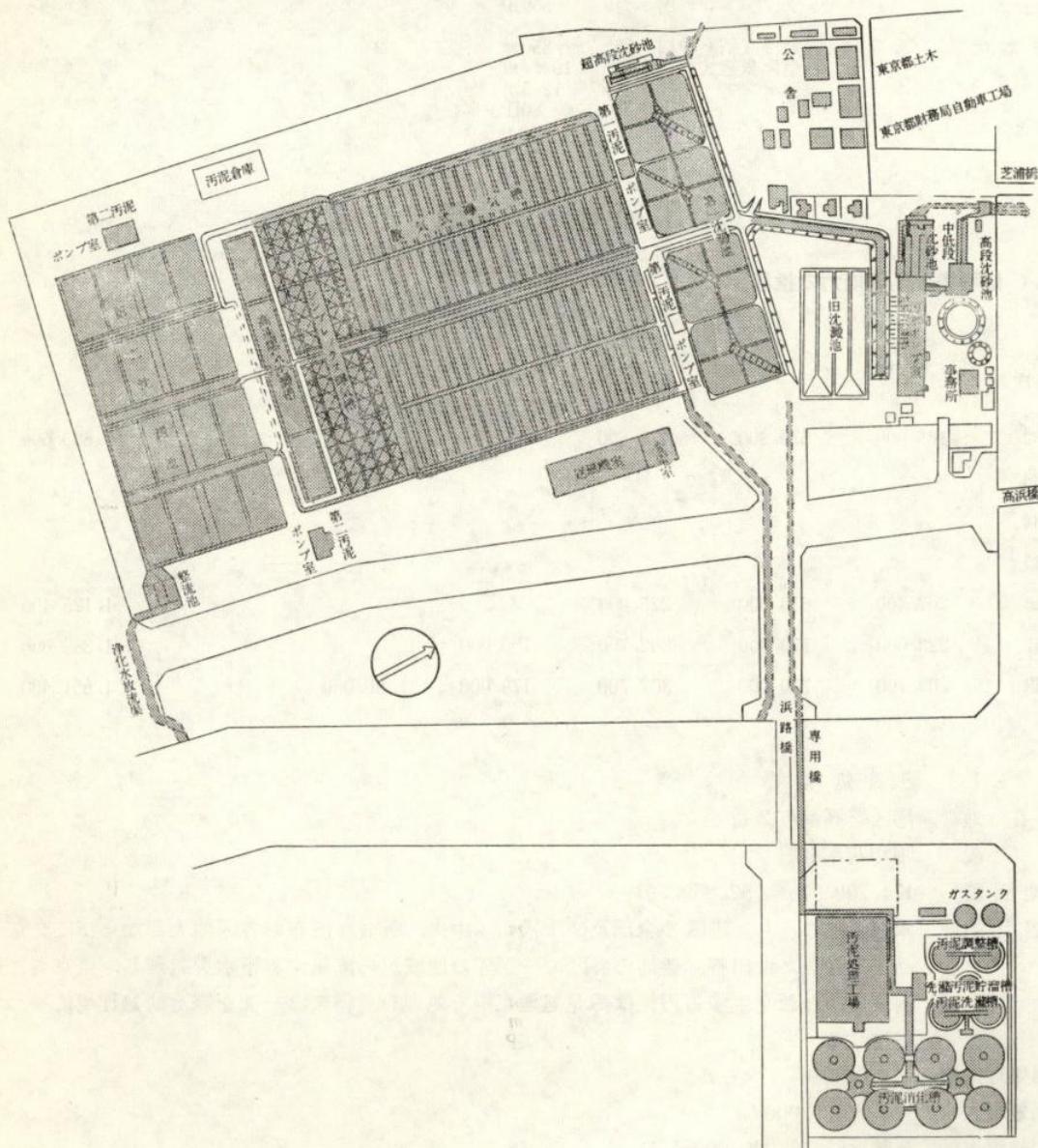
所 在 地	港区芝高浜町2番地
創 設	昭和6年3月
敷 地 面 積	174,700.97m ² (52,859.59坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、港区の全部及び千代田、中央、新宿、渋谷の各区の大部ならびに文京、品川、目黒、世田谷、豊島の各区の一部等の地域から流集する下水を処理し、東京湾に放流する、なお発生する汚泥は汚泥処理工場で処理し、将来は一部を森ヶ崎処理場に送つて処理する。
計画処理面積	6,328ヘクタール
計画処理人口	1,030,000人
計画処理水量	晴天時 1,020,000m ³ /D
現有処理能力	" 770,000m ³ /D

事務所	木造建	延	295.35m ²
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延	2,292.35m ²
送風機室	〃	延	874.14m ²
汚泥処理工場上屋	〃	延	3,039.40m ²

芝浦処理場計画平面図

完成部分

39. 3. 31 現在

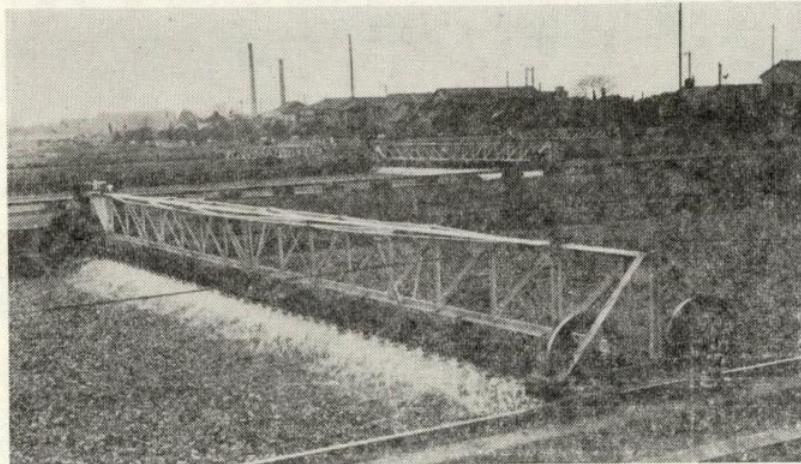


種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
伏 越 阻 水 扉	巾 高	1.67m 1.82m	馬蹄形	3	中山貫一商店
入 口 阻 水 扉	電動開閉式	巾 高	1.8m 1.5m	2	石井鉄工所
沈 砂 池	長 巾	15m 3m		2	超 高 段 用
	有効水深	1.72m			〃
	有効容量	77.4m ³			
搔 る 泥 機 機	バケトエレベーター式		2	〃	〃
	機械搔上式	高 巾	2.82m 1.25m×2 25mm	2	〃
沈 砂 池	長 巾	30.00m 2.40m		2	高 段 用
	有効水深	1.85m			
	有効容量	105m ³			
搔 る 泥 機 機	リンクベルト式		2	大 塚 工 場	〃
	固 定 式		2	〃	〃
揚 る 泥 機 機	機械搔上式	高 巾	4.0m 2.4m×2 25mm	2	江 戸 川 機 械
入 口 阻 水 扉	巾 高	2.25m 1.4m	矩 形	1	関 機 械 製 作 所
〃	巾 高	0.95m 1.40m	矩 形	2	江 戸 川 機 械
〃	巾 高	1.83m 2.44m	矩 形	2	日 立 製 作 所
沈 砂 池	長 巾	19.08m 6.06m		2	中 低 段 用
	有効水深	1.79m			
	有効容量	200m ³			
揚 る 泥 機 機	移 動 式		2	〃	〃
	機械搔上式	高 巾	3.8m 2.424m×2 26mm	2	〃
汚 水 ポ ン プ	電動機直結横軸型両吸込式	口 径 揚水量	410mm 16.8m ³ /m	2	高 段 用
	渦巻ポンプ	揚程 馬力	5m 30HP		
〃	〃	口 径 揚水量	610mm 42m ³ /m	1	〃
		揚程 馬力	5m 70HP		〃
〃	〃	口 径 揚水量	810mm 85m ³ /m	1	〃
		揚程 馬力	5.0m 130HP		〃
〃	〃	口 径 揚水量	610mm 33.3m ³ /m	2	中 低 段 用
		揚程 馬力	7m 70HP		
〃	〃	口 径 揚水量	700mm 60m ³ /m	2	〃
		揚程 馬力	7m 130HP		〃

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考	
汚水ポンプ	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口径 810mm 揚水量 66.6 m³/m 揚程 7m 馬力 130HP	1	日立製作所	中低段用
〃	〃	口径 920mm 揚水量 120 m³/m 揚程 7m 馬力 240HP	3	西島製作所 日立製作所	〃
第1沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量	45.72m 45.72m 3.66m 7,650 m³	4		
擣集機 汚泥ポンプ	ドル式 電動機直結横軸型ブレードレスポンプ	45.72m 隔丸方形返 口径 200mm 揚水量 5 m³/m 揚程 29m 馬力 80HP	4 6	東洋バブコツクアンドリュース商会 日立製作所	第1沈澱池用
曝気槽 (シンプレクツ式)	長 巾 有効水深 有効容量	81.20m 9.80m 5.60m 4,150 m³	8		
曝気機 曝気槽 (散気式)	シンプレクツ式 長 巾 有効水深 有効容量	80.00m × 4回路 6.70m 4.10m 8,000 m³	8 12	関機械製作所 三井物産機械部 三井建設	
送風機	電動機直結横軸型ターボブロワー	口径 450mm 風量 250 m³/m 段 5段 圧力 53m ^{aq} 馬力 450HP	12	荏原製作所	
第2沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量	40.00m 20.00m 4.40m 3,520 m³	14		
採泥機 汚泥ポンプ	走行構桿サイホン式 電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	500mm 揚水量 32 m³/m 揚程 6m 馬力 60HP	16 3	桜田機械 安藤鉄工所 関機械製作所 日立製作所	第2沈澱池用
〃	電動機直結縦軸型片吸込式 渦巻ポンプ	500mm 揚水量 33 m³/m 揚程 7.6m 馬力 78HP	3	久保田鉄工	
高速曝気沈澱池	長 巾 有効水深	40.00m 16.00m 4.9m	4	エバライン フィルコ	
高速曝気槽用 汚泥ポンプ	電動機直結縦型	160mm 揚水量 2 m³/m 揚程 15m 馬力 20HP	2	荏原製作所	
汚泥槽	径 有効水深 有効容量	22.00m 4.56m 1,540 m³	2		
〃	径 有効水深 有効容量	14.55m 3.64m 500 m³	1		
滅菌機	磯村式MSV型真空滅菌機 5.6kg/h D.V.G.型真空滅菌機 6kg/h		8 1	磯村産業 水道機工	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
濃 縮 槽	内径 20.00m 有効水深 4.2m 有効容量 1,530m ³	2		汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 口径 160mm 揚水量 2.5m ³ /m 揚程 20m 馬力 28HP	2	荏原製作所	タ
貯 留 槽	内径 15m 有効深さ 3.5m 有効容量 630m ³	1		汚泥処理工場用
貯留槽ポンプ	電動機ベルト掛横軸型片吸込式渦巻ポンプ 横口径 250mm 揚水量 1.7m ³ /m 揚程 14m 馬力 28HP	2	日曹製鋼	タ
洗 滌 槽	内径 20m 有効深さ 3m 有効容量 940m ³	2		タ
洗滌槽ポンプ	電動機ベルト掛横軸型片吸込式渦巻ポンプ 横口径 150×100mm 揚水量 17m ³ /m 揚程 6m 馬力 21HP	2	日曹製鋼	タ
消 化 槽	内径 25m 有効深さ 9m 有効容量 4,500m ³	8		
汚泥循環ポンプ	電動機直結横軸型ブレードレスポンプ 口径 160mm 揚水量 2.5m ³ /m 揚程 12m 馬力 20HP	8	荏原製作所	タ
ボ イ ラ 一	三胴水管式 壓力 25m Aq 出力 1,583,000Kcal/h 伝熱面積 140m ²	3	安藤鉄工所	タ
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ 口径 160mm 揚水量 3.15m ³ /m 揚程 14.5m 馬力 15HP	3	荏原製作所	
熱 交 換 器	二重管式 出力 920,000 Kcal/h 圧力 1.5kg/cm ²	8	安藤鉄工所	タ
薬品熔解槽	辺 2.5×2.5m 有効深さ 3m 有効容量 20m ³	2		タ
汚泥混和槽	辺 2.0×2.0m 有効深さ 2m 有効容量 8m ³	2		タ
消石灰ホツパー	容量 4m ³	1	大成鉄工	タ
真 空 ろ過 機	連続回転式円筒型 ろ過面積 32m ² 馬力 3HP	12	エバラインフィルコ	タ
ケーキホツパー	手動開口式 容量 5m ³	4	大成鉄工	タ
真 空 ポ ン プ	電動機ベルト掛横型水冷ブレート弁式 容量 65.4m ³ /m 真空度 600mmHg 馬力 100HP	6	三國重工	タ
空 気 圧 縮 機	電動機ベルト掛堅型1段式 容量 16.7m ³ /m 圧力 2gk/cm ² 馬力 100HP	3	タ	タ
ガスプロワー	電動機直結片吸込式2段ターボプロワー 口径 160mm 容量 24m ³ /m 圧力 550mmAq 馬力 7.5HP	2	荏原製作所	タ

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
ガスコンプレッサー	電動機ベルト掛け 横型水冷单氣筒 複動1段式	容量 $16.1 m^3/m$ 圧力 $5Kg/cm^2$ 馬力 $100HP$	2	大都工業	汚泥処理工場用
脱硫器	乾式	容量 $30,000 m^3/D$	1	石井鉄工	タ
ガスタンク	球形	直径 $13.15 m$ 容量 $1,300 m^3$ 圧力 $5kg/cm^2$	1	タ	タ



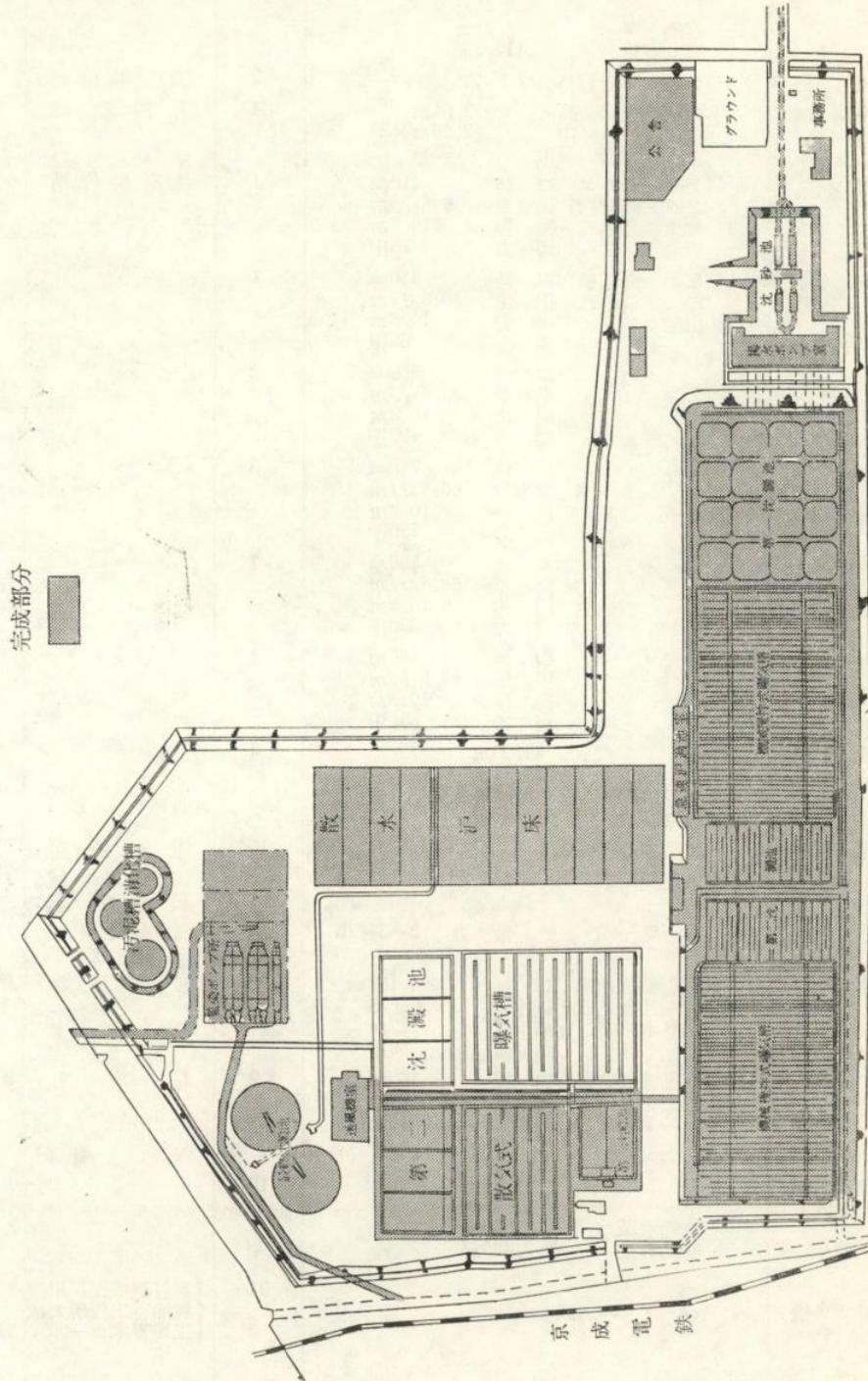
大正12年に建設された三河島処理場の散水汎床は、40余年もくもくと働いてきた、しかし、近年の都市構造などの変化により、汚水量の増大、処理の高級化が要求され、能率のよい散気式曝気槽に改造されることになった。すでに汎床の半分（12床）は37年10月から撤去され、39年9月より新しい散気式曝気槽が運転を始めている。

（2）三河島処理場

所在地	荒川区荒川8丁目25番地
創設	大正12年3月
敷地面積	$184,856.08 m^2$ (55,932.25坪)
設置目的	本都区部のうち、台東、荒川両区の全部及び文京、豊島両区の大部分ならびに千代田、新宿北各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお発生する汚泥は全部を砂町処理場へ送つて処理する。
計画処理面積	3,936ヘクタール
計画処理人口	1,120,000人
計画処理水量	晴天時 $520,000 m^3/D$
現在処理能力	タ $209,700 m^3/D$

事務所 鉄筋コンクリート建 延 $395.27m^2$
 ポンプ室 鉄筋コンクリート建 延 $1,445.73m^2$
 送風機上室 鉄筋コンクリート建 延 $2,255.74m^2$

三河島処理場計画平面図
39. 3. 31. 現在



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式	巾 2.10m 高 1.80m	馬蹄形	2	みのくち式機械 事 務 所
沈 砂 池	長 巾	19.70m		2	
		5.45m			
	有効水深	1.21m			
	有効容量	117.3m ³			
揚 泥 機	チエーン走行バケツスクレッパー式		2	江戸川機械	
ろ 格 機	機械搔上式	高 3.64m		4	東興造機
		巾 2.00m × 2			
		自巾 25mm			
汚 水 ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式	口 径 410mm 揚水量 16.8m ³ /m 揚程 10.5m 馬力 75HP		1	荏原製作所
	渦巻ポンプ				
タ	電動機直結横軸型両吸込式	口 径 410mm 揚水量 16.8m ³ /m 揚程 10.5m 馬力 65HP		1	タ
	渦巻ポンプ				
タ	タ	口 径 560mm 揚水量 33.6m ³ /m 揚程 10.3m 馬力 120HP		3	タ
タ	タ	口 径 760mm 揚水量 66.6m ³ /m 揚程 10.2m 馬力 230HP		3	タ
タ	タ	口 径 800mm 揚水量 68.4m ³ /m 揚程 10.2m 馬力 230HP		1	タ
タ	タ	口 径 800m 揚水量 84.6m ³ /m 揚程 10.5m 馬力 250HP		1	タ
第 1 沈澱池	長 巾	84.00m 21.21m		4	
	有効水深	2.90m			
	有効容量	4,440m ³			
搔 集 機	星型中心運転式		16	浦賀船渠	
ホ ツ パ 一	油圧開閉式	能 力 12m ³	3	江戸川機械 三菱化 工	
脱 水 機	ローラー式	能 力 2-3m ³ /h	3	江戸川機械 三菱化 工	
汚 泥 ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式	口 径 200×150mm 揚水量 0.056m ³ /s 揚程 22m 馬力 50HP		日曹製鋼	第1沈澱池用
	渦巻ポンプ				
タ	電動機直結豎軸型ブレードレスポンプ	口 径 160mm 揚水量 2.5m ³ /m 揚程 10m 馬力 15HP		電業社	第1沈澱池用
曝 気 槽 (パドル式)	長 巾	84.75m 21.20m		12	
	有効水深	1.50m			
	有効容量	2,400m ³			
攪 拌 機	パ ド ル 式		24	岡谷鋼機江戸川機械 油谷工作所大塚工場青木ロール	

種別	形状	其	他	数量	製作所名	備考
第2沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量	33.00m 18.00m 3.7m 2,190m ³		8		
採泥機 汚泥ポンプ	走行構造型サイホン式 電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	300mm 12m ³ /m 4.5m 20HP	8 4	油谷工作所 荏原製作所	第2沈澱池用
ろ床	長 巾 ろ材深さ ろ床面積	66.67m 30.30m 1.49~1.60m 2,020m ³		12		
散水機 最終沈澱池	ハートレー式			24		散水ろ床用
挿集機 汚泥ポンプ	星型中心運転式 電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	2本アーム 口径 揚水量 揚程 馬力	36.0m 150mm 2.4m ³ /m 15m 20HP	2 2	桜田機械 荏原製作所	最終沈澱池用
減菌機 汚泥槽	D. V. G 真空式	6kg/h		3	水道機工	
消化槽	径 有効深さ 有効容量	21.82m 4.09m 1,00m ³		2		
ガスタンク	内径 有効深さ 有効容量	15m 4.5m 1,00m ³		1		
吐口ポンプ	電動機直結横軸固定羽根式 軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	800mm 82.8m ³ /m 3m 100HP	1	荏原製作所	
ク	電動機直結横軸型斜流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	700mm 64m ³ /m 4m 80HP	1	ク	
ク	電動機直結横軸固定羽根式 軸流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	500mm 30m ³ /m 3m 40HP	1	ク	
送泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	150mm 1.41m ³ /m 26.5m 27HP	2	ク	
第1沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量	40m 16m 3m 1,920m ³		2		尾久幹線用
挿集機	リンクベルト式 主コレクター クロスコレクター	長 長	83.6m 32.5m	2	日立金属	ク
汚泥ポンプ	電動機直結豎型ブレードレスポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	150mm 2m ³ /m 7m 10HP	2	電業社	

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
曝 気 槽 (散 気 式)	長巾 有効水深 有効容量	75m×4回路 7.35m 4.20m 9,260m ³	2	尾久幹線用
送 風 機	電動機直結横軸型ターボブロアー	口径 風段 圧馬	450mm 250m ³ /m 5段 5.2mAq 440HP	3 日立製作所
第 2 沈澱池	長巾 有効水深 有効容量	40m 24m 3.5m 3,360m ³	3	タ
搔 泥 機	リンクベルト式		3	日立住友金機属械
	主コレクター クロスコレクター	長長	78m 27m	
汚泥ポンプ	電動機直結豎軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚馬	300mm 12m ³ /m 8m 40HP	3 電業社

(3) 砂町処理場

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地
 創 設 昭和5年2月
 敷 地 面 積 378,770.85m² (114,605.4坪)
 設 置 目 的 本都内部のうち、墨田、江東両区の全部及び中央、足立、江戸川各区の一部等の地域から流集する下水を処理して東京湾に放流する。なお発生する汚泥は三河島処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。

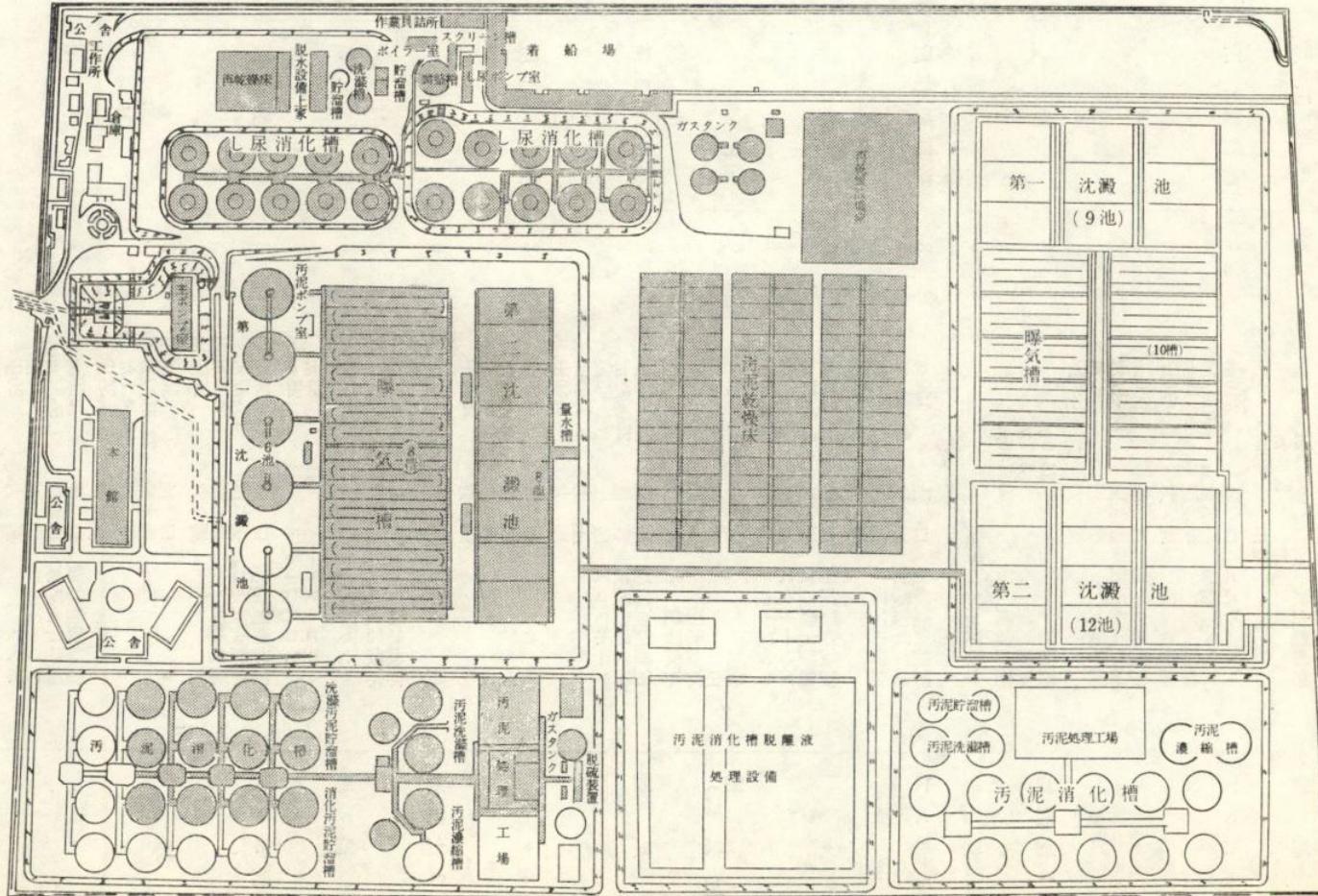
計画処理面積 3,977ヘクタール
 計画処理人口 840,000人
 計画処理水量 晴天時 630,000m³/D
 現有処理能力 タ 302,700m³/D

事 務 所	鉄筋コンクリート建	延 2,013.52m ²
ポンプ室	鉄筋コンクリート建	延 750.42m ²
送 風 機 室	鉄筋コンクリート建	延 3,167.06m ²
汚泥処理工場上室	鉄筋コンクリート建	延 336m ²

砂町処理場計画平面図

39. 3. 31 現在

完成部分



種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
人口阻水扉	巾 高	1.80m 1.80m	馬蹄形	2	電業社原動機
ろ 格 機	機械搔上式	高 巾 目巾	3.1m 2.42m 40mm	2	三 機 工 業
汚 水 ポンプ	ディーゼルエンジン直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	410mm 16m³/m 13m 70HP	4	西 島 製 作 所
〃	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	800mm 84m³/m 13m 335HP	4	〃
第 1 沈澱池	直径 有効水深 有効容量	36.0m 3.7m 3,766m³		4	
搔 集 機	十字型中心運転式			4	江 戸 川 機 械 木 守 住 土 木
汚 泥 ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	160mm 2.1m³/m 5.0m 6.7HP	3	荏 原 製 作 所
〃	電動機直結横軸型片吸込式 ブレードレスポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	200mm 2.5m³/m 5m 14.8HP	3	〃
曝 気 槽 (散 気 式)	長 巾 有効水深 有効容量	80m×4 6.30m 4.80m 9,677m³		6	
送 風 機	電動機直結横軸型片吸込式 ターボプロア	口 径 容量 段数 圧力 馬力	400mm 250m³/m 5段 5.3mAq 440HP	3	石 川 島 重 工 業
〃	〃	口 径 容量 段数 馬力	450mm 300m³/m 5段 533HP	3	荏 原 製 作 所
第 2 沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量	45m 25m 3.80m 4,275m³		6	
搔 泥 機	リンクベルト式			6	日 立 金 属
泥 泥 ポンプ	主コレクター グロスコレクター	長 長	83m 25m		第 2 沈澱池用
〃	電動機直結横軸型両吸込式 渦巻ポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	350mm 15m³/m 4.5m 25HP	3	日 立 製 作 所
〃	〃	口 径 揚水量 揚程 馬力	350mm 22.5m³/m 4.5m 34HP	2	〃
〃	電動機直結横軸型片吸込式 ブレードレスポンプ	口 径 揚水量 揚程 馬力	250mm 7.5m³/m 4.5m 20HP	1	〃

種別	形状其他	数量	製作所名	備考
滅菌機	磯村式真空スーパー滅菌機 20kg/h	1	磯村産業	
濃縮槽	内径 25m 有効水深 4.5m 有効容量 2,200m³	2		汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 2.5m³/m 揚程 20m 馬力 30HP	3	電業社	タ
消化槽	内径 25m 有効水深 9.5m 有効容量 3,300m³	8		タ
汚泥循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 1.7m³/m 揚程 14m 馬力 15HP	12	安藤曹鐵工鋼	
貯留槽	内径 18m 有効水深 3.7m 有効容量 910m³	1		
貯留槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 2.5m³/m 揚程 16m 馬力 25HP	3	電業社	タ
洗滌槽	内径 25m 有効水深 3.5m 有効容量 1,720m³	2		タ
洗滌槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 2.5m³/m 揚程 7.5m 馬力 10HP	3	電業社	タ
ボイラ	三胴水管式 圧力 2.5kg/cm² 出力 5.5t/h 伝熱面積 170m²	2	安藤鐵工	タ
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 3m³/m 揚程 14m 馬力 15HP	3	日立製作所	
熱交換器	二重管式 出力 400,000kcal/h 圧力 1.5kg/cm²	12	安藤鐵工	
薬品熔解槽	有効容量 22m³	2		
汚泥混和槽	16m³	1		
真空ろ過機	連続回転式多室型 ろ過面積 32m² 馬力 5HP	16	三菱化工機	タ
真空ポンプ	電動機ベルト 掛横型往復式 容量 65m³/m 真空度 600mmHg 馬力 100HP	8	宇野沢鉄工所	タ
空気圧縮機	電動機ベルト 掛横型水冷式 容量 20m³/m 圧力 3kg/cm² 馬力 100HP	4	タ	タ
ガスプロワー	電動機直結ターボプロワー 口径 160mm 容量 24m³/m 圧力 600mmAq 馬力 7.4HP	2	荏原製作所	タ
ガス圧縮機	電動機ベルト 掛横型水冷式 容量 11.9m³/m 圧力 5kg/cm² 馬力 80HP	2	大都工業	タ
脱硫器	乾式 容量 60m³	1	石川島重工業	タ

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考	
ガスタンク	球 形	直 径 容 量 压 力	15m 1,770m ³ 5kg/cm ²	1	石川島重工業	汚泥処理工場用

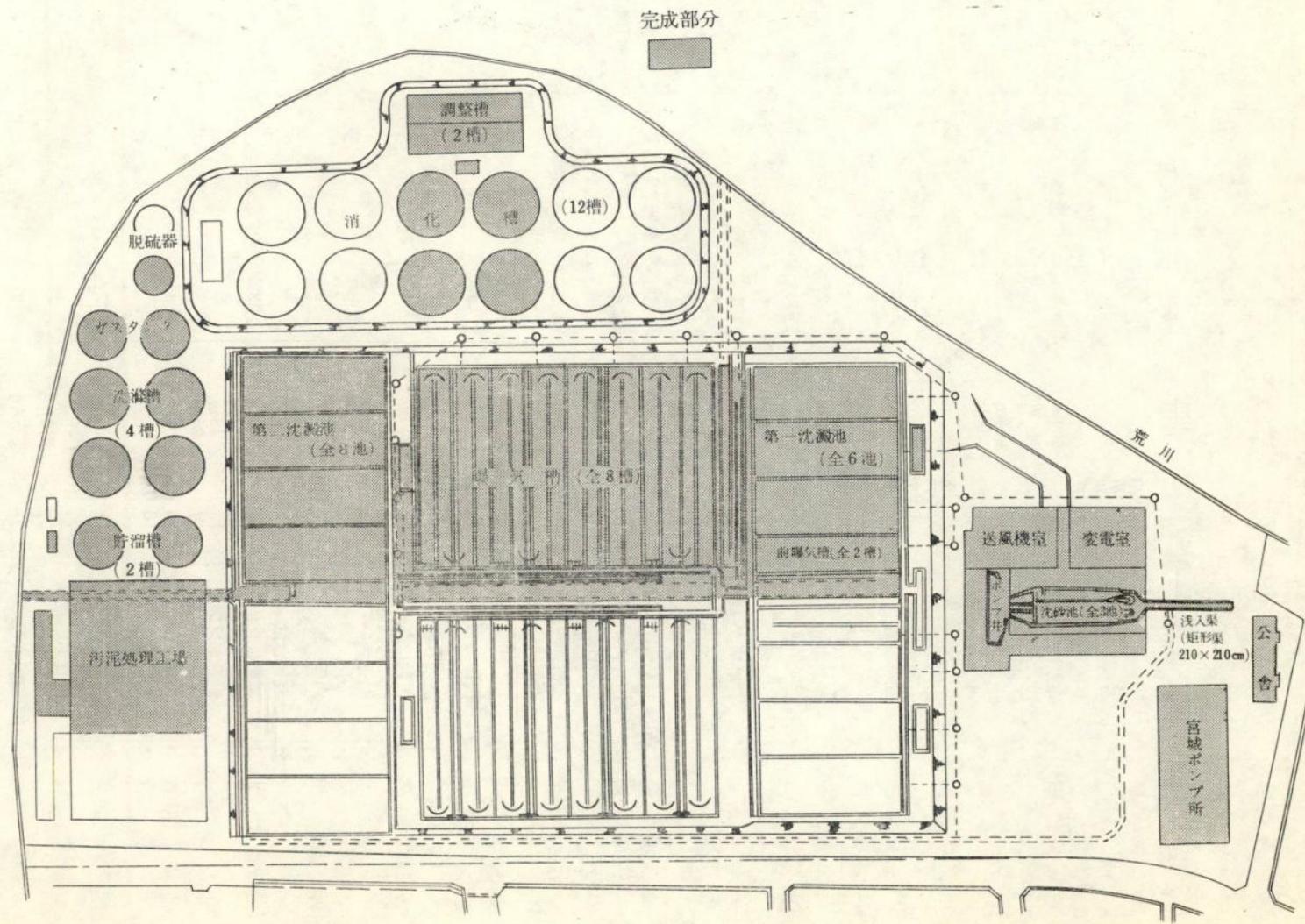
(4) 小台処理場

所 在 地	足立区宮城町24番地
創 設	昭和37年4月
敷 地 面 積	84,738.18m ² (25,639.39坪)
設 置 目 的	本都区部のうち、北、板橋両区の大部分及び新宿、豊島、練馬、足立の各区の一部等の地域から流集する下水を処理して荒川へ放流する。なお、発生する汚泥は、落合処理場より送られて来る汚泥と併せて処理する。
計画処理面積	4,552ヘクタール
計画処理人口	970,000人
計画処理水量	(晴天時) 420,000m ³ /D
現有処理能力	(晴天時) 179,000m ³ /D
本 館	鉄筋コンクリート建 延 6,103m ²
ポンプ室	鉄筋コンクリート建 延 3,580.80m ²
汚泥処理工場	鉄筋コンクリート建 延 5,917m ²

種 別	形 状	其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
入 口 阻 水 扉	油圧開閉式 矩形型	高 2.0m 巾 1.8m	3	桜 田 機 械	
沈 砂 池	辺 高 20.0m × 巾 4.0m 有効深さ 2.9m 有効容量 232m ³		3		
揚 泥 機	固 定 式		3	桜 田 機 械	
洗 砂 機		処理能力 3m ³ /h	1	五 十 嵐 鉄 工	
高架ホッパー	油圧開閉式	容 量 3.5m ³	2	桜 田 機 械	
ろ 格 機	機械挿上式 高 2.9m 巾 1.5×2 目巾 25mm		3	〃	
篩渣破碎機	スイングハンマー式	処理能力 3m ³ /h	1	五 十 嵐 鉄 工	
〃 脱水機		〃 3m ³ /h	1	住 友 機 械	
汚 水 ポンプ	電動機直結型 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口 径 700mm 揚水量 75m ³ /m 揚 程 13m 馬 力 300HP	2	荏 原 製 作 所	
前 曝 気 槽	長 巾 51.5m 有効水深 6.0m 有効容量 4.5m 2,700m ³		1		
第一沈澱池	長 巾 50.0m 有効水深 20.0m 有効容量 3.6m 3,500m ³		2		

小台処理場計画平面図

39. 3. 31 現在



種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考		
搔 集 機	リングペ ルト式	主コレクター クロスコレクター	長さ 24m	3	日立金属	第一沈澱池用
汚泥ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	160mm 2m ³ /m 6m 10HP	4	電業社	◆
曝 気 槽	長 巾 有効水深 有効容量		70.0m 6.3m 4.2m 7,410m ³	2		
送 風 機	電動機直結横 軸型ターボー プロアー	口径 風量 段 圧 馬力	500mm 300m ³ /m 4 5.3mAq 533HP	3	荏原製作所	
第二沈澱池	長 巾 有効水深 有効容量		50.0m 20.0m 4.0m 3,900m ³	2		
搔 泥 機	リングペ ルト式	主コレクター クロス	長さ 23.5m	4	日立金属	
汚泥ポンプ	電動機直結 豎型斜流ポン プ	口径 揚水量 揚程 馬力	350mm 13m ³ /m 4m 20HP	2	電業社	第二沈澱池用
汚泥ポンプ	電動機直結豎 型斜流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	350mm 16m ³ /m 4m 25HP	1	電業社	第二沈澱池用
減 菌 機	D V型真空減菌機		30kg/h	1	水道機工	◆
濃 縮 槽	辺 有効深さ 有効容量	巾	10m × 長40m 4m 1,660m ³	2		汚泥処理工場用
濃縮槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	160m 2.1m ³ /m 18m 25HP	2	電業社	◆
消 化 槽	内径 有効深さ 有効容量		23.0m 12.0m 5,000m ³	4		◆
汚泥循環ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	150m 2.8m ³ /m 12m 20HP	4	電業社	◆
貯 留 槽	内径 有効深さ 有効容量		17.0m 3.0m 680m ³	2		◆
貯留槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	160m 2.5m ³ /m 18m 25HP	2	電業社	◆
洗 滌 槽	内径 有効深さ 有効容量		19.0m 3.0m 850m ³	4		◆
洗滌槽ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	130mm 1.2m ³ /m 5m 7.5HP	2	電業社	◆
ボイラー	三胴水管式	圧力 出力 伝熱面積	25mAq 3,000,000kcal/h 170m ²	2	安藤鉄工	◆

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
温水循環ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 渦巻ポンプ	口径 180mm 揚水量 3.55m ³ /m 揚程 14m 馬力 20HP	2	電業社	タ
熱交換器	二重管式	出力 680,000kcal/h 圧力 1.5kg/cm ²	4	安藤鉄工	汚泥処理工場用
薬品熔解槽	有効容量	20m ³	2	三機工業	タ
汚泥混和槽	タ	20m ³	1		タ
消石灰ホツバー	容量	5m ³	1	三機工業	タ
真空ろ過機	連続回転式円筒型	ろ過面積 32m ² 馬力 21HP	6	タ	タ
ケーキホツバー	油圧開口式	容量 5m ³	2	タ	タ
真空ポンプ	電動機ベルト掛横型一段ブレード弁式	容量 65m ³ /m 真空度 600mmHg 馬力 100HP	3	三国重工	タ
空気圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷式	容量 30m ³ /m 圧力 3kg/cm ² 馬力 145HP	1	タ	タ
ガスブロワー	電動機直結ターボブロワー	口径 160mm 容量 25m ³ /m 圧力 700mmAq 馬力 10HP	2	荏原製作所	タ
ガス圧縮機	電動機ベルト掛横型水冷單氣筒複動1段式	容量 11.9m ³ /m 圧力 5.2kg/cm ² 馬力 72HP	2	大都工業	タ
脱硫器	乾式	30,000m ³ /D	1	石井鉄工	タ
ガスタンク	球形	直径 15.6m 容量 2,000m ³ 圧力 5kg/m ²	1	タ	タ

(5) 落合処現場

所在地 新宿区上落合1丁目100番地

創設 昭和39年3月

敷地面積 68,645.61m² (20,770.23坪)

設置目的 本下水処理場は、本都区部のうち中野、杉並両区の大部分及び新宿、世田谷、渋谷、豊島練馬、各区の一部等の地域から流集する下水を処理して神田上水へ放流する。尚、発生する汚泥は全部小台下水処理場へ送つて処理する。

計画処理面積 6,151ヘクタール

計画処理人口 1,230,000人

計画処理水量 晴天時450,000m³/D

現有処理能力 90,000m³/D

本館 鉄筋コンクリート建 延 15,084m²

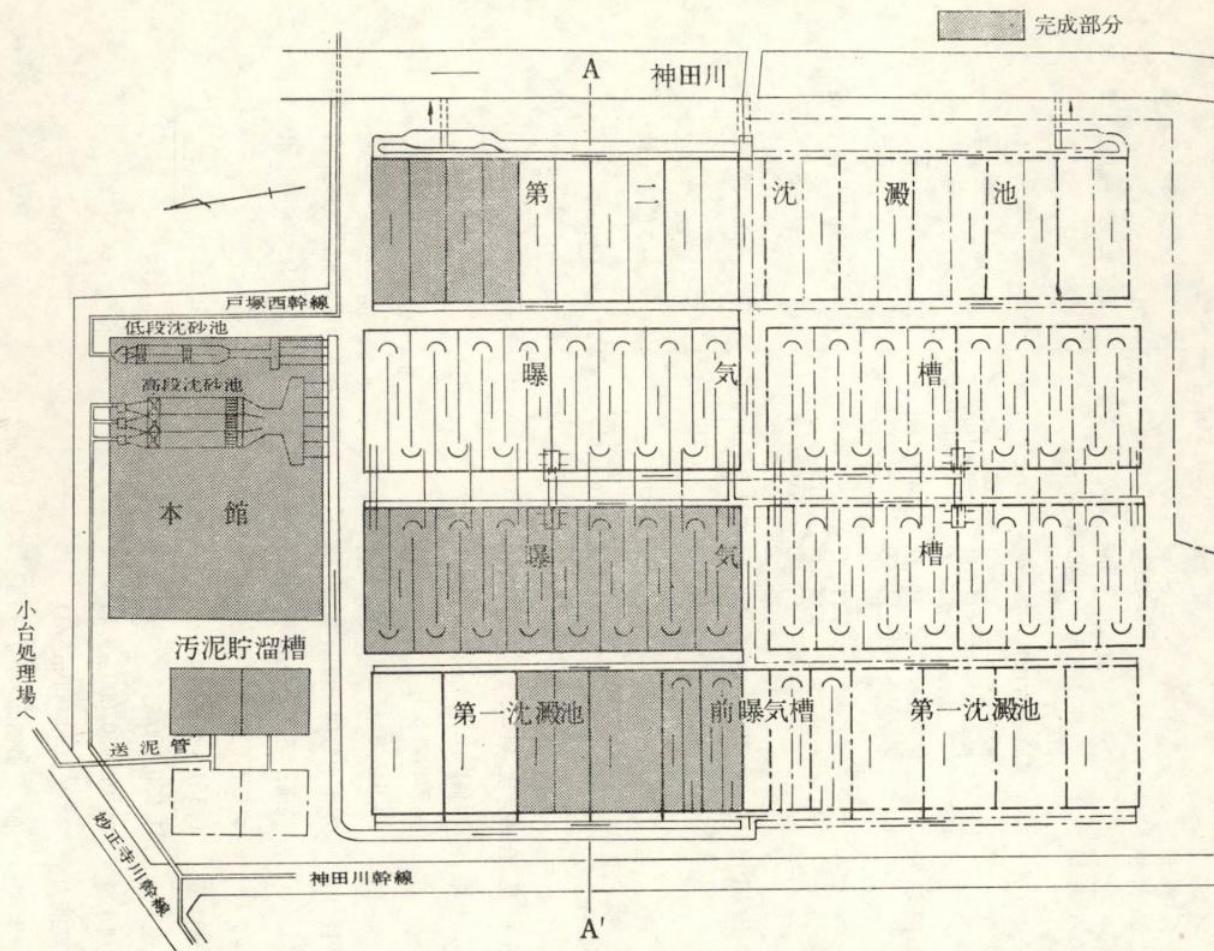
ポンプ室 鉄筋コンクリート建 延 480m²

送風機室 鉄筋コンクリート建 延 768m²

種別	形状	其他	数量	製作所名	備考
入口阻水扉	電動開閉式	巾 1.8m 高 2.5m	3	久保田鉄工所 東邦製作所	高段用

39. 3. 31 現在

落合処理場計画平面図



種別	形状	其他	数量	製作所名	備考	
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	22m 4m 1.27m 111.8m ³	2			
ろ格機	機械搔上式	高巾 1.534m 200mm	4	新三菱重工業	〃	
入口阻水扉	油圧開閉式	巾高 1.8m 1.2m	2	久保田鉄工所 油研工業	低段用	
沈砂池	長巾 有効水深 有効容量	12m 1.8m 0.61m 13.2m ³	2		〃	
ろ格機	機械搔上式	高巾 1.534m 20mm	2	新三菱重工業	〃	
汚水ポンプ	電動機直結型 軸型斜流ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	900mm 120m ³ /m 6m 253HP	2	電業社	高段用
	電動機直結型 軸型片吸込式	口径 揚水量 揚程 馬力	350mm 14.5m ³ /m 13m 73HP	1	〃	〃
	電動機直結及 びディーゼル エンジン掛片 吸込式渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	350mm 14.5m ³ /m 13m 73HP エンジン馬力 85HP	1	〃	〃
前曝気槽	長巾 有効水深 有効容量	40m×2 5.4m 4.5m 1.940m ³	2			
送風機	電動機直結横 軸型ターボブロア	口径 風量 風圧 馬力	500mm 360m ³ /m 5.3mAq 666m	4	新三菱重工業	
第一沈澱池	長巾 有効水深 有効容量	40m 20m 3.2m 2,560m ³	4			
搔集機	リンクベルト式 主コレクター クロスコレクター		2	浦賀重工	第一沈澱池用	
汚泥ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 ブレードレス	口径 揚水量 揚程 馬力	160mm 3m ³ /m 45m 7.3HP	3	久保田鉄工	〃
曝気槽	長巾 有効水深 有効容量	39.6m×8m 6.3m 4.55m 9.080m ³	4		〃	
第二沈澱池	一階 二階 有効水深	長巾水深 40m×20m×2.8m 37m×20m×2.5m 4.240m ³	5			
搔集機	リンクベルト式		8	石川島播磨重工	第二沈澱池用	
汚泥ポンプ	電動機直結横 軸型片吸込式 斜流渦巻ポンプ	口径 揚水量 揚程 馬力	450mm 26m ³ /m 4.0m 40HP	2	久保田鉄工	第二沈澱池用

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
送泥ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 4.5m³/m 揚程 5m 馬力 10HP	1	〃	前曝氣槽用
〃	〃 口 径 200mm 揚水量 3.6m³/m 揚程 18m 馬力 40HP	4	〃	
塩素滅菌機	DV型真空式 3.5kg/h	1	水道機工	

第4節 尿尿消化槽

(清掃局委託)

所 在 地 江東区南砂町9丁目2,473番地 砂町処理場内

建設開始 昭和24年9月1日

建設完了 昭和35年3月31日

尿尿消化処理量 計画 2,700m³/D (ほかに種汚泥として下水汚泥20%を混入)

種 別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
尿尿ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 5.4m³ 揚程 8.0m 馬力 30HP	1	荏原製作所	
〃	〃 口 径 200mm 揚水量 5.4m³ 揚程 12.0m 馬力 40HP	3	〃	
尿尿沈砂槽	長 9.9m 巾 11.3m 有効水深 1.79m 有効容量 200m³	1		
ろ格機	ドル型機械捲上式 巾 2.0m 高 2.0m 目巾 35mm	3	三機工業	
ろ格機	〃 口 径 2.0m 高 2.0m 目巾 19mm	3	〃	
シサ脱水装置	ロール圧縮式 内径 22.0m 有効深さ 4.75m 有効容量 1,800m³	2	三菱化工機	
調整槽	処理能 10m³/h	1		
攪拌機	翼車式	1	三機工業	
調整槽ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 5.4m³/m 揚程 8.0m 馬力 25HP	2	荏原製作所	
〃	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 5.4m³/m 揚程 7.5m 馬力 25HP	1	〃	
消化槽ポンプ	〃 口 径 200mm 揚水量 5.4m³/m 揚程 21.0m 馬力 60HP	1	〃	

種別	形 状 其 他	数 量	製 作 所 名	備 考
消化槽ポンプ	電動機直結横軸型ブレード 揚水量 揚程 馬力 口 径 200mm 3m ³ /m 15m 60HP	2	荏原製作所	
消化槽	内径 有効深さ 有効容量 25.0m 6.0m 3,250m ³	20		
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ 揚水量 揚程 馬力 口 径 80mm 0.47m ³ /m 5m 3HP	2	三菱化工機 酒井製作所	
汚泥ポンプ	電動機直結横軸型渦巻ポンプ 揚水量 揚程 馬力 口 径 130mm 1.5m ³ /m 15m 1.5HP	1	三菱化工機 酒井製作所	
真空脱水機	廻 転 式	4	三菱化工機 ウノサワ組鉄工所	
真空ポンプ	電動機ベルト 掛横軸型真空 ポンプ 揚水量 真空度 馬力 口 径 760mm×300mm 68m ³ /m 500mm/Hg 100HP	4	ウノサワ組鉄工所	
再乾燥床		1,440m ²		
乾燥床		30,000m ²		
乾燥汚泥 採取装置	構架自走式 軌間 走行速度 10m 4.08m/min	1	浦賀ドック	
ガスタンク	内径 14.9m 15.25m 容量 1,200m ³ 2,000m ³	2 2	石井鉄工 石川島重工	
乾燥脱硫機	乾式 4,000m ³ /D	2	石井鉄工	
ガス洗滌塔	湿式 5,000m ³ /D 〃 21,600m ³ /D	2 1	〃 岡谷鋼機	
洗滌ポンプ	電動機直結横軸型片吸込式 揚水量 揚程 馬力 口 径 250mm 6m ³ /m 12m 30HP	1	荏原製作所	
〃	〃 口 径 揚水量 揚程 馬力 260mm 7.5m ³ /m 16m 30HP	1	日立製作所	
搔集機	廻 転 式	2	住友機械	第1, 第2洗滌槽用
ボイラ一	三胴水管式 缶圧 2.5kg/cm ² 出力 常用=700,000kcal/h 最大=900,000 〃	5	岡谷鋼機 大阪ボイラ一	
ボイラ一	三胴水管式 缶圧 2.5kg/cm ² 出力 常用=1,940,000kcal/h 最大=2,330,000kcal/h	1	安藤鉄工	

第7章 作業

第1節 管渠

管渠掃除実績表

(昭和38年度)

管理事務所名	中部	北部	東部	合計
所管区域	千代田・港・中央・文京各区の大部	台東・豊島・北・荒川各区の大部	中央区の一部 墨田区・江東区	
種別	新宿・品川・目黒・渋谷・豊島・中野・杉並・台東・北・荒川・各板橋区・足立区 区の一部 大田区	千代田・文京両区の一部 並ぶ 板橋区・足立区		
修理延長 (m)	74	103	26	203
補修個数 (個)	3,044	920	639	4,603
掃除延長 (m)	435,611	226,824	228,025	890,460
汚泥量 (m³)	10,393	7,007	6,004	23,404
掃除個数 (個)	6,298	4,023	1,680	12,001
汚泥量 (m³)	84	169	54	307

作業費実績累年比較表

(過去5年間)

年度	管渠 人孔枠	分類	管理延長 (m)	掃除延長 (m)	汚泥量 (m³)	修繕員数 (m 個)
		同個数 (個)	同個数 (個)			
34	管渠 人孔枠	2,580,907	976,979	26,836.30	280.00	
		328,366	29,587	1,759.45	3,683	
35	管渠 人孔枠	2,681,332	815,930	22,787.96	654.00	
		348,071	26,148	1,434.65	3,805	
36	管渠 人孔枠	2,767,882	961,288	26,035.65	379.60	
		366,878	21,098	886.31	3,842	
37	管渠 人孔枠	2,876,329	872,792	23,062.82	330.20	
		390,549	19,440	488.60	4,238	
38	管渠 人孔枠	3,062,056	890,460	23,404.00	203.0	
		427,795	12,001	307.00	4,603	

第2節 ポンプ所

ポンプ作業状況

(昭和38年度)

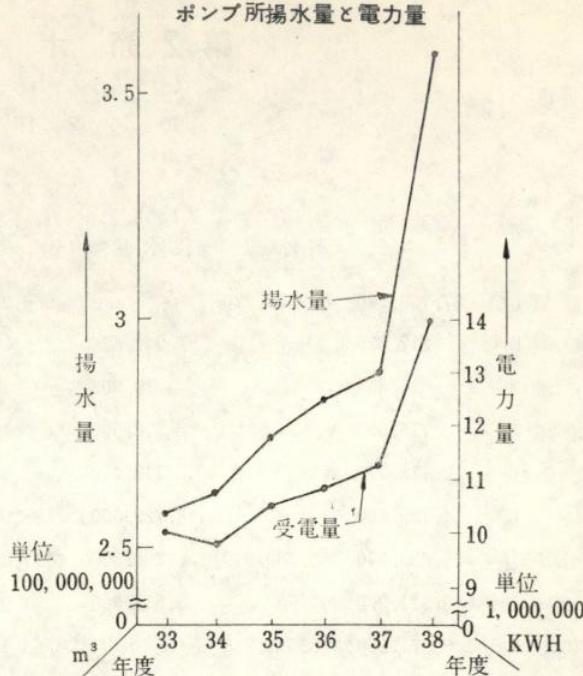
ポンプ所	揚水量	揚水量内訳		シサ量	沈砂量	受電量	受電量内訳		
		送水量	放水量				ポンプ運転	諸照	機械明
銭瓶町	87,753,220	87,753,220	87,753,220	966.2	1,450.0	3,295,192	3,034,530	260,662	
箱崎町	217,626		217,626			5,708.1	3,232.3	2,475.8	
中洲町	10,353		10,353			1,337.3	160.7	1,176.6	
浜町	776,500		776,500			42,005.0	14,412.5	27,592.5	
汐留	2,713,770		2,713,770	65.9		90,264	20,340	69,924	
桜橋	14,729,600		14,729,600	88.9		591,360	426,466	164,894	
南千住	5,634,540	5,369,940	264,600	117.4	88.5	127,665	89,302	38,363	
日本堤	3,511,000		3,511,000	31.9	95.7				
和泉町	3,571,250	3,571,250		64.1	10.5	95,154	82,125	13,029	
地蔵堀	848,910	420,750	428,160	59.4	113.5	34,253	20,650	13,603	
町屋	21,940,700	21,021,510	919,190	230.2	204.0	1,133,037	1,048,614	84,423	
橋場	1,170,490	982,030	188,460	11.2	77.7	43,752	30,839	12,913	
汐入	2,538,710	2,268,390	270,320	6.1	50.1	63,972	53,863	10,109	
山谷	524,061		524,061	12.1	15.1	14,026	8,404	5,622	
千住	10,359,441		10,359,441	21.5	76.0	482,830	372,105	110,725	
千住曙町	0								
小台橋	143,618		143,618	2.2	1.5	3,778	3,778		
八幡堀	3,292,460		3,292,460	8.6		84,828	82,297	2,531	
木場	79,225,730	74,692,030	4,533,700	323.0	1,490.0	2,869,416	2,194,045	675,371	
越中島	141,875		141,875	1.5	10.0	17,406	2,230	15,176	
月島	8,183,392	8,004,356	179,536	61.0	88.5	572,210	522,670	49,540	
三之橋	47,594,575	41,607,025	5,987,550	360.5	90.8	1,421,940	1,101,930	320,010	
業平橋	21,626,730	17,936,900	3,689,830	253.6	37.5	796,800	508,701	288,099	
吾嬬	34,116,372		34,116,372	263.6	353.0	1,559,196	1,151,390	407,806	
砂町	4,845,820		4,845,820	43.0	92.0	269,863	196,990	72,873	
小松川	1,375,907		1,375,907	16.1	32.5	126,972	38,156	88,816	
隅田	2,450,510		2,450,510	9.3	12.8	209,441	82,878	126,563	
合計	359,297,660	263,627,401	95,670,259	3,017.3	4,389.7	13,952,405.4	11,090,108.5	2,862,296.9	

ポンプ所揚水量及び電力量と作業費

年度	揚水量	受電量
33	258,268,809 m^3	9,959,817.2 KWH
34	262,752,707	9,801,494.2
35	274,571,669	10,549,543.7
36	282,709,165	10,727,510.84
37	288,646,790	11,187,502.9
38	359,297,660	13,952,405.4

年度	作業費	揚水量 100 m^3 当たり作業費
33	72,254,634 円	27.98 円
34	69,665,705	26.62
35	73,209,092	26.66
36	85,167,314	33.19
37	10,335,913	35.80
38	117,009,882	32.57

ポンプ所揚水量と電力量



第3節 処理場

処理作業状況 1

※ は回数平均

処理場名	種別	処理水量(m^3)	簡易処理水量(m^3)	高級処理水量(m^3)	汚泥量(m^3)	シサ量(m^3)
芝處理場	年合計	240,616,616	12,501,527	226,704,149	1,410,940	2,281.2
	日最大	1,172,052	481,783	801,529	6,850	20.1
	日平均	657,422※	140,467	619,410	3,866※	6.6
三處理場	年合計	100,595,770	3,743,600	96,206,390	645,780	788.3
	日最大	503,820	207,400	377,950	3,710	6.50
	日平均	274,852※	54,255	262,859	1,817※	2.62
小處理場	年合計	16,067,160	73,380	15,675,890	317,890	132.7
	日最大	134,900	13,920	125,500	2,840	3.3
	日平均	43,899※	8,153	42,830	930※	0.5
砂處理場	年合計	76,289,006	34,600	74,912,506	1,341,900	336.6
	日最大	308,012	34,600	293,798	7,760	3.5
	日平均	208,440※	34,600	204,679	3,666※	0.92
落處理場	年合計	—	—	—	—	—
	日最大	—	—	—	—	—
	日平均	—	—	—	—	—
合計	年合計	433,568,552	16,353,107	413,498,935	3,716,510	3,538.8
	日最大	1,951,101	—	—	—	—
	日平均	1,184,614	—	—	—	—

処理作業状況 2

処理場名	種別	沈砂量 (m³)	塩素使用量 (kg)	受電量 (KWH)	付属ポンプ所 ンブボ運転 (KWH)	処理用 (KWH)
芝 理 浦 場	年合計	4,598.1	6,450	24,890,000	6,255,434	18,634,566
	日最大	60.3	40	91,480	27,882	67,402
	日平均	※ 22.9	※ 165	68,005	17,091	50,914
三 理 河 島 場	年合計	1,382.0	9,714	13,471,197	4,156,113	9,315,084
	日最大	15.50	384	46,776	21,006	30,300
	日平均	※ 4.99	※ 141	36,807	11,356	25,451
小 理 台 場	年合計	713.7	368.1	5,891,712	1,980,620	3,911,092
	日最大	37.5	70	19,290	9,080	13,540
	日平均	※ 7.8	※ 41	16,098	5,412	10,686
砂 理 町 場	年合計	—	170	18,794,760	5,506,222	13,288,538
	日最大	—	170	62,035	22,388	45,533
	日平均	—	170	51,352	15,044	36,307
落 理 合 場	年合計	—	—	243,492	112,056	131,436
	日最大	—	—	13,288	4,020	10,100
	日平均	—	—	4,774	2,197	2,577
合 計	年合計	6,693.8	16,702.1	63,291,161	18,010,445	45,280,716
	日最大	—	—	—	—	—
	日平均	—	—	—	—	—

※ は回数平均

汚泥処理作業状況

処理場名	種別	汚泥処理量 (m³)	汚泥投入量 (m³)	消化汚泥量 (m³)	脱水汚泥量 (m³)	硝石灰 (kg)	鉄塩剤 (kg)	受電量 (KWH)
芝 理 浦 場	年合計	1,410,940	1,410,940	345,323	18,928	938,600	633,679	2,049,689
	日最大	6,850	6,850	1,782	93.2	4,300	4,420	7,292
	日平均	3,866	3,866	944	63.3	3,139	2,119	5,600
小 理 台 場	年合計	317,890	317,890	30,580	6,753	334,530	148,670	1,322,000
	日最大	2,840	2,840	560	75	2,960	1,330	5,500
	日平均	930	930	135	24	1,166	518	3,612
砂 理 町 場	年合計	1,464,650	1,464,650	142,290	27,602	1,064,230	635,280	2,232,360
	日最大	8,010	8,010	1,530	178	7,000	3,820	8,800
	日平均	4,002	4,002	470	94	3,645	2,176	6,099
合 計	年合計	3,193,480	3,193,480	518,193	53,283	2,337,360	1,417,629	5,604,049
	日最大	—	—	—	—	—	—	—
	日平均	—	—	—	—	—	—	—

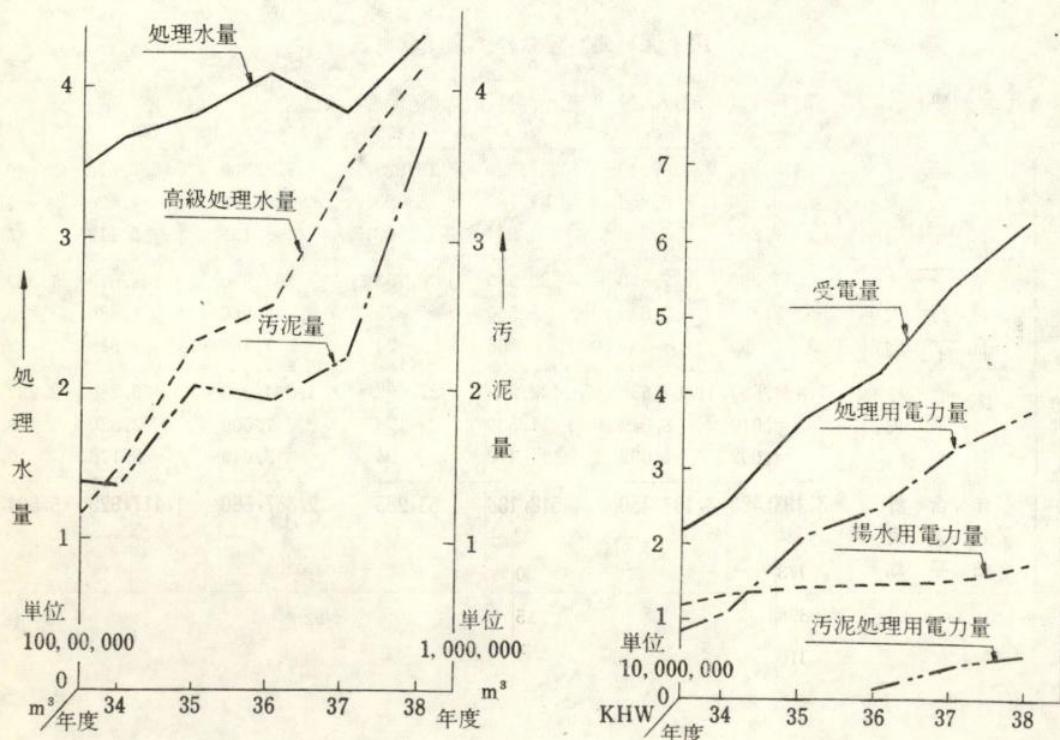
全処理場年間処理量と作業費の推移

年 度	処理水量 m^3	汚泥量 m^3	作業費 円	処理水量 100 m^3 当たり 作業費 円
33	328,051,617	1,396,016	123,832,115	37.75
34	364,175,547	1,373,030	142,172,508	39.04
35	380,583,785	2,043,041	180,791,094	47.50
36	408,748,345	1,924,198	226,507,385	55.41
37	344,870,245	2,210,823	343,951,434	89.36
38	433,568,552	3,716,510	399,102,598	92.05

全処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量 m^3	高級処理水量 m^3	汚泥量(m^3)	受電量 (KWH)	揚水用電力量 (KWH)	処理用電力量 (KWH)	汚泥処理用電 力量(KWH)
34	364,175,547	146,238,657	1,373,030	25,405,727	13,046,720	11,245,943	—
35	380,583,785	231,538,421	2,043,041	36,579,165.6	14,400,128	21,268,547	—
36	408,748,345	256,754,105	1,924,198	42,920,128.6	15,086,045	25,153,569	1,092,631
37	384,870,245	346,605,278	2,210,823	54,466,255	15,578,410	33,131,684	4,091,879
38	433,568,552	413,498,935	3,716,510	63,047,669	17,898,389	37,969,870	5,604,049

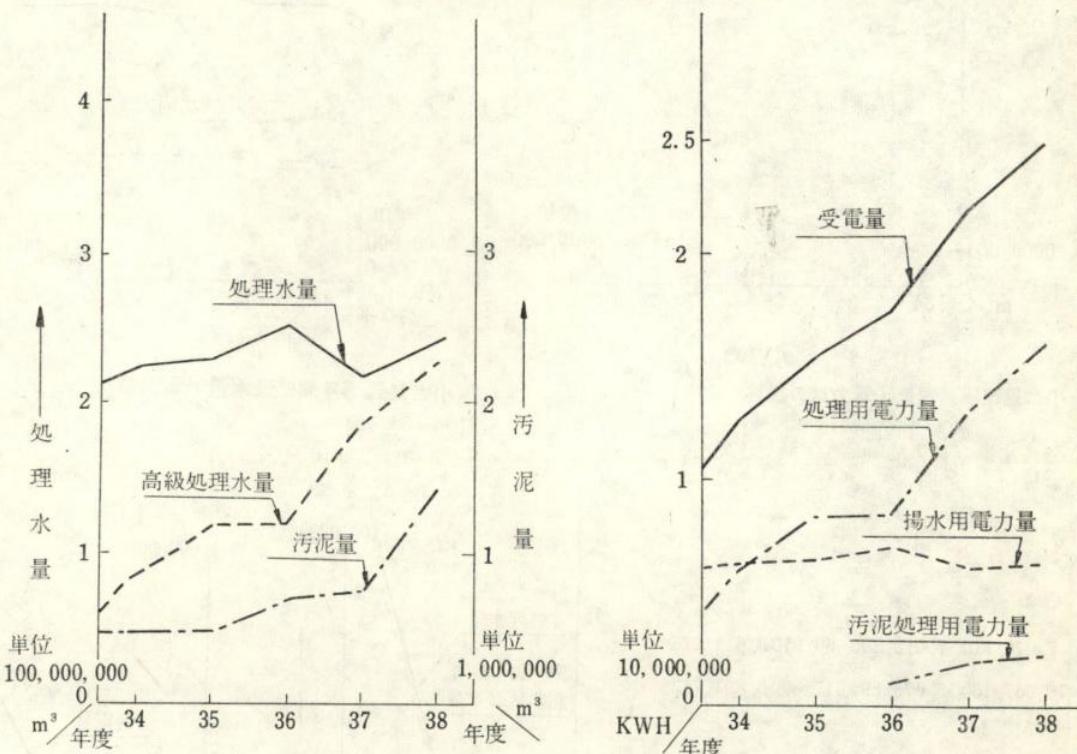
年間処理量と電力量全処理場



芝浦処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量(m^3)	高級処理水量(m^3)	汚泥量(m^3)	受 電 量(KWH)	揚水量電力量(KWH)	処理用電力量(KWH)	汚泥処理用電力量(KWH)
34	222,069,824	83,007,896	468,100	12,486,828	6,269,630	5,802,404	—
35	227,840,591	117,137,887	478,100	15,370,960	6,483,500	8,389,446	—
36	251,813,272	119,333,774	693,850	17,485,720	7,040,871	8,405,891	1,092,631
37	216,306,223	134,842,528	749,870	22,019,960	6,184,463	13,106,047	1,905,479
38	240,616,616	226,704,149	1,410,940	24,890,000	6,255,434	15,965,153	2,049,689

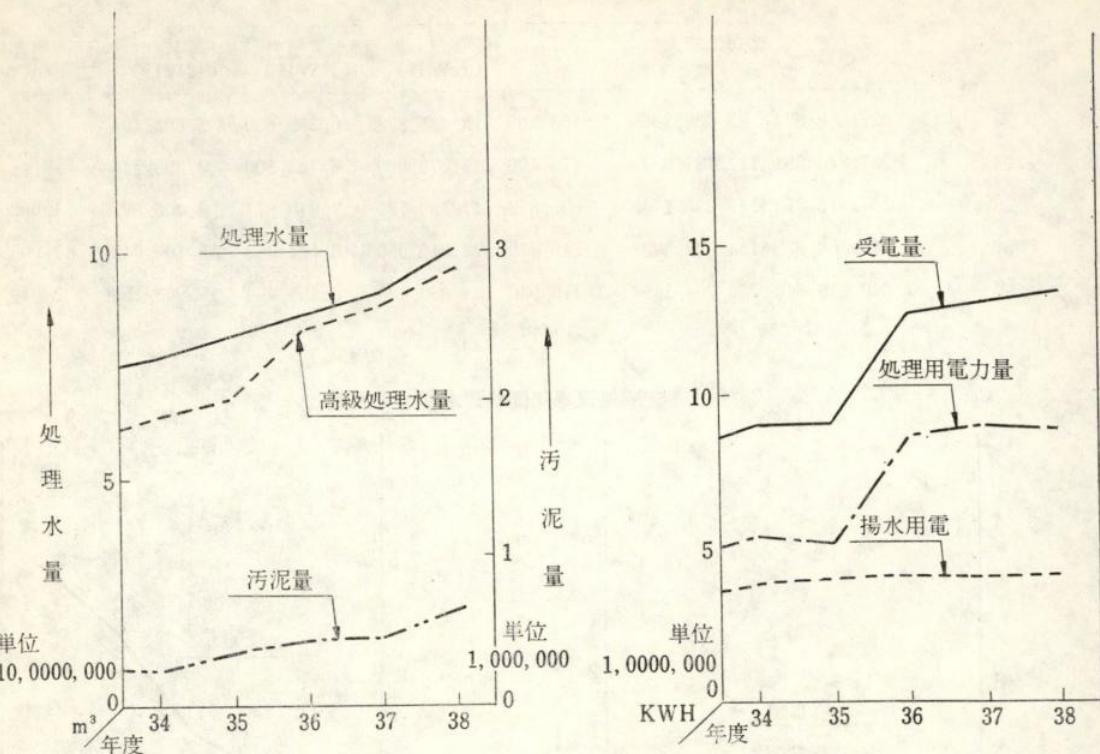
芝浦処理場年間処理水量と電力量



三河島処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量(m^3)	高級処理水量(m^3)	汚泥量(m^3)	受 電 量(KWH)	揚水量電力量(KWH)	処理用電力量(KWH)	汚泥処理用電力量(KWH)
34	76,744,973	63,230,761	257,630	9,153,134	3,832,534	5,308,025	—
35	81,291,898	67,035,999	360,315	9,113,454	3,925,894	5,105,325	—
36	86,631,310	82,161,864	436,051	12,729,968.6	4,069,109	8,652,862	—
37	91,156,360	88,223,171	460,598	13,172,876	4,009,595	9,059,200	—
38	100,595,770	96,206,390	645,780	13,471,197	4,156,113	8,908,422	—

三河島処理場年間処理水量と電力量

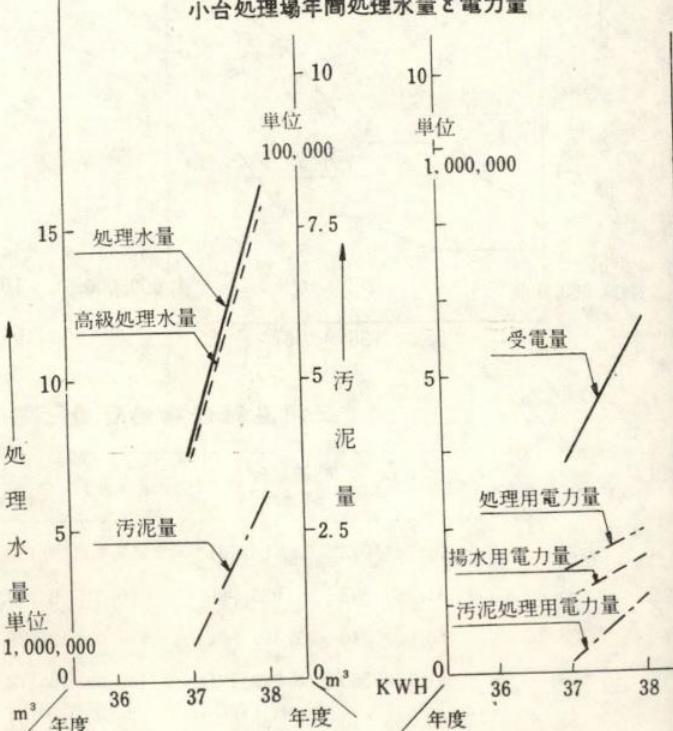


小台処理場処理量・電力量の推移

年度	処理水量 (m³)	高級処理 水量 (m³)	汚泥量 (m³)	受電量 (KWH)
34	—	—	—	—
35	—	—	—	—
36	—	—	—	—
37	7,079,110	7,018,200	60,910	3,614,276
38	16,067,160	15,675,890	317,890	5,891,712

年度	揚水量・電 力量(KWH)	処理用・電 力量(KWH)	汚泥処理用電 力量(KWH)
34	—	—	—
35	—	—	—
36	—	—	—
37	1,250,190	1,821,280	290,900
38	1,980,620	2,417,530	1,322,000

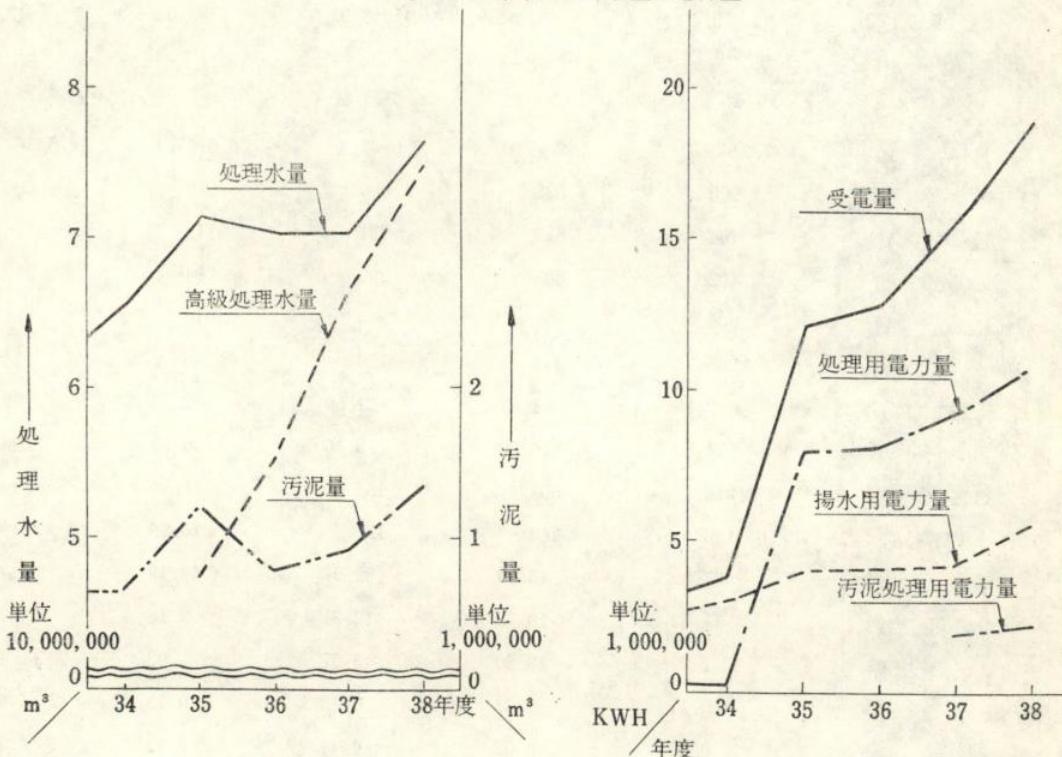
小台処理場年間処理水量と電力量



砂町処理場処理量・電力量の推移

年 度	処理水量(m^3)	高級処理水量(m^3)	汚泥量(m^3)	受電量(KWH)	揚水量電力量(KWH)	処理用電力量(KWH)	汚泥処理用電力量(KWH)
34	65,360,750	—	647,300	3,765,765	2,944,556	135,514	—
35	71,451,296	47,364,535	1,204,626	12,094,759	3,990,734	7,773,776	—
36	70,303,763	55,258,467	794,297	12,704,440	3,796,065	8,094,786	—
37	70,328,552	66,521,379	939,445	15,659,143	4,134,162	9,145,157	1,895,500
38	76,289,006	74,912,506	1,341,900	18,794,760	5,506,222	10,678,765	2,232,360

砂町処理場年間処理水量と電力量



第4節 水質試験

1 定期精密試験

(1) 芝浦処理場定期精密試験

(昭和38年度平均)

試験名		生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法散氮式及シンプレツクス式処理水	活性汚泥法高速曝氣式処理水
採取箇所	沈砂池	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口	第二沈澱池出口	
気温	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0
水温	17.3	17.7	17.6	17.9	17.8	
透視度	3.4	2.4	3.9	83.0	43.0	
色相	—	—	—	—	—	
臭氣	—	—	—	—	—	
P.H. 値	7.0~7.7	7.0~7.6	7.0~7.4	6.6~7.1	6.5~7.1	
蒸発残留物	1,106	1,325	1,030	922	995	
熱灼残留物	704	819	731	718	776	
熱灼減量	402	506	299	204	219	
溶解性物質	900	854	904	916	981	
浮遊物質	206	471	126	6	14	
溶存酸素(D.O.)	3.36	1.67	1.50	2.53	2.52	
酸素飽和百分率	34.80	16.90	15.10	26.90	26.20	
B.O.D.	216	304	158	11.90	16.20	
C.O.D. (高温法)	180	266	125	13.90	19.60	
総窒素	37.09	45.80	32.97	16.12	17.44	
アンモニア性窒素	11.54	13.72	12.21	9.18	7.07	
アルブミノイド窒素	7.74	13.80	5.97	1.03	1.28	
亜硝酸性窒素	0.17	0.25	0.23	0.18	0.41	
硝酸性窒素	0.39	0.32	0.47	2.94	4.20	
有機性窒素	24.99	31.51	20.06	3.82	5.76	
塩素イオン	334	320.	354.	393	423	
硫化物(ヨウ素消費量)	28.54	37.22	24.78	5.11	4.39	
油類	13.70	17.67	6.40	1.10	1.10	
一般細菌数	584,000	982,000	767,000	23,300	20,400	
大腸菌群数	—	—	—	3,000	2,200	

(2) 三河島処理場定期精密試験

(昭和38年度平均)

試料名	生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法 パドル式 処理水	生下水	沈澱下水	沈澱下水	活性汚泥法 散氮式 処理水
採取個所	沈砂池	第一沈澱池 入	第一沈澱池 口出	第二沈澱池 口出	第一沈澱池 入	第一沈澱池 口出	曝氣槽入口	第二沈澱池 口出
気温	19.4	19.4	19.4	19.4	19.1	19.1	19.1	19.1
水温	17.5	17.5	17.7	17.6	16.6	16.8	14.8	19.1
透視度	3.5	3.5	4.1	28.0	4.4	5.2	4.5	23.6
色相	—	—	—	—	—	—	—	—
臭氣	—	—	—	—	—	—	—	—
P H 値	6.5~8.4	6.6~7.0	6.6~7.2	6.9~7.3	6.2~7.1	6.3~6.9	6.4~6.9	6.6~7.0
蒸発残留物	1,237	1,299	1,361	959	706	638	892	722
熱灼残留物	792	833	967	220	431	380	578	530
熱灼減量	445	466	394	239	275	258	314	192
溶解性物質	1,049	1,075	1,221	941	575	534	779	700
浮遊物質	188	224	140	18	131	104	113	22
溶存酸素 (D.O.)	3.43	2.94	2.27	2.65	4.76	5.22	4.78	3.79
酸素飽和百分率	33.10	28.80	22.90	27.20	50.60	38.20	45.90	38.60
B. O. D.	182.00	205.00	149.40	12.10	130.15	108.40	128.80	13.50
C. O. D. (高温法)	150.00	168.10	119.80	20.90	105.30	84.40	102.90	21.20
総窒素	32.66	36.37	31.09	18.97	28.23	28.34	30.80	14.03
アンモニア性窒素	11.60	13.10	14.00	12.70	12.10	12.80	13.00	8.10
アルブミノイド窒素	6.30	7.60	5.30	1.50	4.00	4.10	4.60	0.94
亜硝酸性窒素	0.14	0.17	0.19	0.37	0.23	0.22	0.20	0.23
硝酸性窒素	2.31	2.10	1.90	0.90	1.99	2.20	2.00	2.00
有機性窒素	18.61	21.00	15.00	5.00	13.91	13.12	15.60	3.70
塩素イオン	402.00	408.00	499.00	375.00	157.00	141.00	262.00	234.00
硫化物(ヨウ素消費量)	30.60	32.30	24.70	3.00	14.50	13.10	17.50	2.60
油類	13.90	17.30	10.20	2.20	9.30	6.40	5.80	1.50
一般細菌数	520,000	599,000	632,000	16,000	545,000	583,000	476,000	136,800
大腸菌群数	109,700	125,500	208,800	2,490	133,000	87,000	63,000	1,825

(3) 砂町処理場定期精密試験

第三回定期試験結果

(昭和38年度平均)

試 料 名	生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活 性 汚 泥 法 散 気 式 处理 水
採 取 個 所	マ ン ホ ー ル	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
氣 温	17.3	17.3	17.3	17.3
水 温	15.7	17.1	17.2	17.3
透 視 度	6.1	1.9	3.4	57.3
色 相	—	—	—	—
臭 気	—	—	—	—
P H 値	6.8~7.3	6.9~7.7	6.9~8.1	6.9~7.8
蒸 発 残 留 物	2,032	3,051	2,007	1,534
熱 灼 残 留 物	1,418	1,773	1,426	1,167
熱 灼 減 量	614	1,278	581	367
溶 解 性 物 質	1,848	1,810	1,762	1,508
浮 遊 物 質	164	1,241	245	26
溶 存 酸 素 (D. O.)	3.83	2.33	2.55	5.37
酸 素 鮑 和 百 分 率	34.69	22.10	24.90	52.57
B. O. D.	126.60	338.60	153.90	14.50
C. O. D. (高溫法)	97.20	277.80	118.00	16.30
総 窒 素	24.51	60.19	32.96	16.44
アンモニア性 窒 素	11.31	23.99	17.58	13.35
アルブミノイド 窒 素	5.20	12.38	6.73	2.84
亜 硝 酸 性 窒 素	0.08	0.07	0.09	0.18
硝 酸 性 窒 素	0.10	0.10	0.08	0.06
有 機 性 窒 素				
塩 素 イ オ ン	765	770.	744	675
硫 化 物 (ヨウ素消費量)	17.96	95.44	54.24	4.88
油 類	10.10	32.75	8.50	3.10
一 般 細 菌 数	2,300,000	3,300,000	2,400,000	140,000
大 腸 菌 群 数	54,000	71,000	56,000	1,900

(4) 小台処理場定期精密試験

(昭和38年度平均)

試験名	生下水	池濾下水	活性汚泥法 散気式処理水
採取箇所	前曝氣槽入口	第一沈濾池口 出	第二沈濾池出口
気温	19.2	19.2	19.2
水温	18.6	18.3	18.4
透視度	3.1	7.8	82.0
色相	—	—	—
臭氣	—	—	—
P H 値	6.3~8.1	7.0~7.5	6.5~7.5
蒸発残留物	888	481	378
熱灼残略物	530	285	237
熱灼減量	358	196	141
溶解性物質	555	413	358
浮遊物質	333	68	20
溶存酸素 (D.O.)	4.00	3.50	4.30
酸素飽和百分率	42.98	36.28	51.21
B. O. D.	225.00	81.80	4.60
C. O. D. (高温法)	194.90	75.10	15.30
総窒素	26.25	19.11	9.89
アンモニア性窒素	9.30	9.40	6.20
アルブミノイド窒素	6.50	3.20	1.00
亜硝酸性窒素	0.23	0.25	0.16
硝酸性窒素	1.02	0.79	1.63
有機性窒素	15.70	8.67	1.90
塩素イオーン	116.00	74.00	67.00
硫化物 (ヨウ素消費量)	20.10	9.07	2.12
油類	19.80	6.10	3.78
大腸菌群数	635,000	1,223,000	1,300

2. 混合精密試験

(1) 芝浦処理場混合精密試験

(昭和38年度平均)

試料名	生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法散気式及シンプレックス式処理水	活性汚泥法高速曝気式処理水
採取箇所	沈砂沈	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口	第二沈澱池出口
気温	17.3	17.3	17.3	17.3	17.3
水温	18.1	18.4	18.4	18.3	18.4
透視度	5.1	2.7	5.2	76.0	37.5
色相	—	—	—	—	—
臭氣	—	—	—	—	—
P H 値	7.2~7.4	7.1~7.4	7.2~7.4	7.2~7.4	7.0~7.4
蒸発残留物	1,400	1,580	1,300	1,039	1,196
熱灼残留物	972	992	918	801	932
熱灼減量	428	588	382	238	264
溶解性物質	1,262	1,145	1,175	1,029	1,181
浮遊物質	138	435	125	10	15
溶存酸素(D.O.)	—	—	—	—	—
酸素飽和百分率	—	—	—	—	—
B.O.D.	148.20	229.00	112.80	7.30	12.90
C.O.D. (高温法)	115.60	213.00	100.60	14.20	18.00
総窒素	28.77	43.46	29.91	17.63	19.13
アンモニア性窒素	10.71	13.60	12.81	10.99	10.78
アルブミノイド窒素	5.11	10.88	5.25	0.95	1.12
亜硝酸性窒素	0.14	0.29	0.36	0.88	0.61
硝酸性窒素	0.63	0.30	0.50	1.35	2.94
有機性窒素	17.29	29.27	16.24	4.41	4.80
塩素イオン	546.00	484.00	509.00	464.00	527.00
硫化物(ヨウ素消費量)	23.16	34.11	20.47	4.92	7.30
油類	12.20	18.90	7.30	4.20	3.30
A B S	3.39	4.33	3.76	2.08	1.86

(2) 三河島処理場混合精密試験

三河島混合処理場試験 (2)

(昭和38年度平均)

試料名	生下水	生下水	沈澱下水	活性汚泥法 パドル式 処理水	生下水	沈澱下水	沈澱下水	活性汚泥法 散気式 処理水
採取箇所	沈砂池	第一沈澱池 入	第一沈澱池 出	第二沈澱池 出	第一沈澱池 入	第一沈澱池 出	曝氣槽入口	第二沈澱池 出
気温	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7	16.7
水温	18.1	18.0	18.1	18.0	17.6	17.6	17.8	18.0
透視度	4.4	3.5	4.6	23.0	5.3	5.8	5.4	21.4
色相	—	—	—	—	—	—	—	—
臭氣	—	—	—	—	—	—	—	—
P H 値	6.8~7.1	6.8~7.0	6.9~7.1	7.1~7.3	6.7~6.8	6.7~6.8	6.7~6.9	6.8~7.2
蒸発残留物	1,006	1,087	944	915	577	550	689	670
熱灼残留物	665	653	569	597	378	367	464	522
熱灼減量	341	434	375	318	199	183	225	148
溶解性物質	844	851	829	890	454	475	611	640
浮遊物質	162	236	115	25	123	75	78	30
溶存酸素(D.O.)	—	—	—	—	—	—	—	—
酸素飽和百分率	—	—	—	—	—	—	—	—
B.O.D.	136.60	154.60	123.90	15.20	92.00	80.20	97.20	13.20
C.O.D. (高温法)	111.00	126.90	97.50	28.10	78.80	66.90	78.80	22.60
総窒素	27.48	30.58	27.42	19.05	22.02	22.76	23.95	18.13
アンモニア性窒素	12.80	13.90	13.60	12.80	8.90	10.10	10.50	11.00
アルブミノイド窒素	5.00	7.10	4.80	1.70	4.80	3.50	4.00	1.00
亜硝酸性窒素	0.18	0.18	0.27	0.40	0.12	0.26	0.15	0.13
硝酸性窒素	1.60	1.50	2.15	0.90	1.80	2.30	1.90	3.70
有機性窒素	12.90	15.00	11.40	4.95	11.20	10.10	11.40	3.30
塩素イオン	326.00	329.00	321.00	315.00	129.00	135.00	200.00	214
硫化物(ヨウ素消費量)	18.60	20.10	14.90	2.90	10.50	10.50	12.70	3.60
油類	11.30	13.10	9.70	2.80	9.90	5.50	8.00	2.50
A B S	5.40	—	3.80	1.80	4.40	3.80	3.98	0.17

(3) 砂町処理場混合精密試験

昭和38年度平均

試 料 名	生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活性汚泥法 散気式処理水
採 取 個 所	マンホール	第一沈澱池入口	第一沈澱池出口	第二沈澱池出口
気 温	19.6	—	—	—
水 温	18.1	18.3	18.4	19.2
透 視 度	5.4	1.6	2.8	44.5
色 相	—	—	—	—
臭 気	—	—	—	—
P H 値	6.8~7.3	6.8~7.4	6.8~7.5	7.2~7.8
蒸 発 残 留 物	1,795	2,584	1,918	1,641
熱 灼 残 留 物	1,337	1,543	1,390	1,259
熱 灼 減 量	458	1,041	528	382
溶 解 性 物 質	1,625	1,775	1,650	1,618
浮 遊 物 質	170	809	268	23
溶 存 酸 素 (D.O.)	5.18	0.38	2.19	5.41
酸 素 鮑 和 百 分 率	55.00	4.00	22.50	58.00
B. O. D.	120.20	307.50	178.60	12.30
C. O. D. (高溫法)	103.10	302.50	138.10	18.10
総 窒 素	20.30	57.14	37.23	22.38
アンモニア性窒素	10.35	22.89	20.36	15.48
アルブミノイド窒素	5.47	14.43	10.11	2.80
亜硝酸性窒素	0.04	0.03	0.06	0.14
硝酸性窒素	0.03	0.03	0.03	0.07
有機性窒素	—			
塩 素 イ オ ン	685.00	715.00	710.00	710.00
硫化物 (ヨウ素消費量)	19.67	86.78	54.26	6.34
油 類	8.30	27.40	10.50	4.50
A B S	4.04	4.63	3.82	1.82

(4) 小台処理場混合精密試験

規格試験結果

(昭和38年度平均)

試 料 名	生 下 水	生 下 水	沈 澱 下 水	活性汚泥法 散気式処理水
探 取 個 所	前曝氣槽入口	第一沈澱池口 入	第一沈澱池口 出	第二沈澱池出口
気温	—	—	—	—
水温	—	—	—	—
透視度	3.7	3.0	7.3	80.0
色相	—	—	—	—
臭氣	—	—	—	—
P H 値	6.8~7.3	7.4	7.0~7.5	7.0~7.4
蒸発残留物	611	829	465	375
熱灼残留物	348	472	285	232
熱灼減量	263	357	180	143
溶解性物質	424	530	395	360
浮遊物質	187	299	70	15
溶存酸素 (D.O.)	—	—	—	—
酸素飽和百分率	—	—	—	—
B. O. D.	138.00	208.00	73.30	4.90
C. O. D. (高温法)	125.90	215.00	62.00	14.30
総窒素	20.33	32.62	16.42	11.21
アンモニア性窒素	8.70	22.00	9.00	6.90
アルブミノイド窒素	5.80	8.20	3.20	1.00
亜硝酸性窒素	0.54	0.43	0.46	0.09
硝酸性窒素	0.29	0.19	0.26	1.12
有機性窒素	10.80	10.00	6.70	3.20
塩素イオーン	70.00	118.00	70.00	68.00
硫化物 (ヨウ素消費量)	19.99	8.88	13.96	4.92
油類	14.10	8.40	6.80	4.10
A B S	7.61	4.70	5.81	3.02

第5節 汚泥試験

(1) 芝浦処理場

(イ) 汚泥試験

(昭和38年度年平均)

試料名	生汚泥	濃縮汚泥	消化汚泥	洗滌汚泥	脱水汚泥
採取個所	濃縮槽入口	濃縮槽出口	消化槽出口	2次洗滌槽出口	脱水機シコート
汚泥温度	18.0	18.2	39.2	21.6	—
P H 値	5.6~6.9	5.45~6.80	6.3~7.8	6.0~7.5	—
水分(%)	96.88	95.11	94.58	92.86	71.16
固体分(%)	3.12	4.89	5.42	7.14	28.84
有機分(乾物中)(%)	51.10	49.70	38.40	32.80	32.50
無機物(%)	48.90	50.30	61.60	67.20	67.50
純窒素(%)	—	2.93	3.46	—	2.27
アンモニア性窒素(%)	—	0.28	1.08	—	—
アルカリ度(ppm)	—	—	2,099	663	—

(ロ) 廃液試験

(昭和38年度年平均)

試験名	脱り液	洗滌廃液	脱水汎液
採取個所	消化槽出口	2次洗滌槽出口	脱水機出口
温度	31.0	20.5	19.8
P H 値	6.7~7.4	6.5~7.6	10.3~12.5
蒸発残留物(ppm)	2,528	4,065	5,258
熱灼残留物(%)	1,335	2,340	3,627
熱灼減量(%)	1,193	1,725	1,631
※溶解性物質(%)	2,063	1,112	5,188
※浮遊物質(%)	407	2,953	57
※B O D(%)	921	746	252
アンモニア性窒素(%)	393	—	144

註 ※は7月~3月の平均

(ハ) ガス試験 (昭和38年度年平均)

試料名	ガス	ガス
採取個所	脱硫器入口	脱硫器出口
メタン(%)	53.48	53.35
水素(%)	2.57	3.32
炭酸ガス(%)	36.56	36.03
酸素(%)	0.37	0.73
硫化水素(%)	0.0048	0.00025
窒素(%)	7.02	6.57
発熱量(Kcal/m³)	4,800	4,800

(2) 砂町処理場

(イ) 汚泥試験

(昭和38年度年平均)

試料名	生汚泥	濃縮汚泥	消化汚泥	洗滌汚泥	脱水汚泥
採取個所	濃縮槽入口	濃縮槽出口	消化槽出口	2次洗滌槽出口	脱水機シコート
汚泥温度	14.0	18.5	25.6	20.0	—
P H 値	6.4~6.9	6.7~7.8	6.8~7.2	7.1~9.1	—
水分(%)	96.15	95.84	94.23	93.11	76.05
固体分(%)	3.85	4.16	5.77	6.89	23.95
有機分(乾物中)(%)	49.47	50.46	43.37	43.26	38.25
無機分(%)	50.53	49.54	56.63	56.74	61.75
総窒素(%)	4.74	3.78	3.74	3.04	1.58
アンモニア性窒素(%)	1.09	0.93	1.19	0.73	0.16
アルカリ度(ppm)	530	—	—	—	—

(ロ) 廃液試験

(昭和38年度年平均)

試料名	脱り液	洗滌廃液	脱水戻液
採取個所	消化槽出口	2次洗滌槽出口	脱水機出口
温度	26.2	15.0	18.3
P H 値	6.8~7.14	7.1~7.4	10.1~13.1
蒸発残留物(ppm)	21,604	5,500	15,161
熱灼残留物(%)	11,613	3,732	11,302
熱灼減量(%)	9,986	1,768	4,109
※溶解性物質(%)	5,880	1,581	9,759
※浮遊物質(%)	21,037	3,838	2,700
※B O D(%)	2,990	970	123
アンモニヤ性窒素(%)	612	280	297

註 ※は10月~3月の平均

(ハ) ガス試験

(昭和38年度年平均)

試料名	ガス	ガス
採取個所	脱硫器入口	脱硫器出口
メタン(%)	54.14	55.66
水素(%)	8.16	7.67
炭酸ガス(%)	32.05	31.04
酸素(%)	0.10	0.08
硫化水素(%)	0.02	0.
窒素(%)	5.53	5.55
発熱量(Kcal/m ³)	4,839	4,955

第6節 降水量

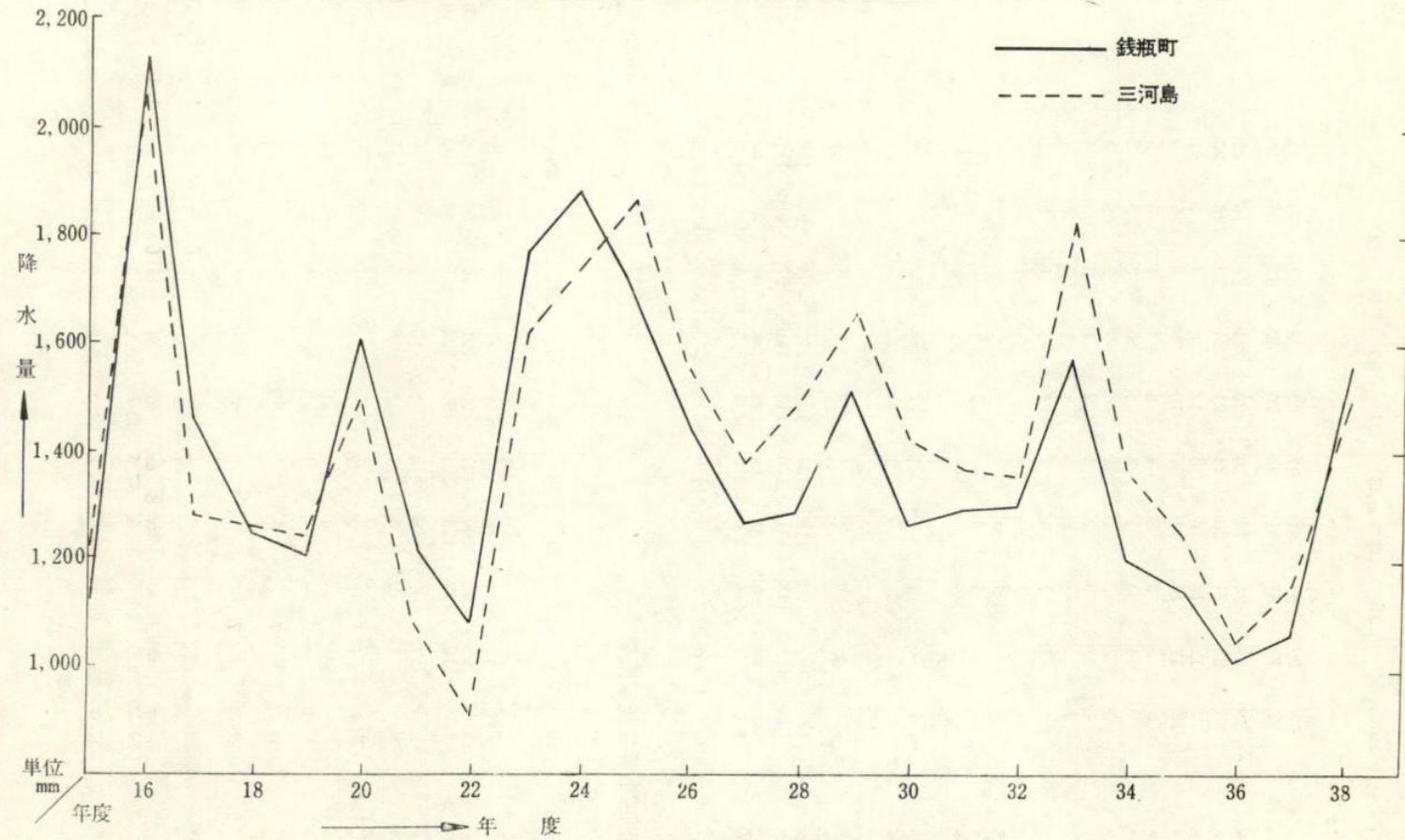
(1) 錢瓶町ポンプ所及び三河島処理場降水量月別累年比較概要

(最近10年間)

月別	場所	年度	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	10カ年平均
4月	錢瓶		137.4	75.6	116.1	99.8	▲ 24.6	124.1	143.9	175.7	113.2	61.1	107.15
	三河島		170.4	77.8	122.8	108.7	▲ 26.8	135.4	155.9	148.1	106.5	60.0	111.24
5月	同		111.6	131.7	● 279.6	133.1	65.0	162.0	99.9	42.6	193.5	113.6	133.26
	同		125.0	144.7	● 306.4	145.9	69.5	186.5	112.2	47.8	190.0	110.0	143.80
6月	同		● 253.6	71.5	95.4	● 274.1	55.0	95.6	69.5	● 271.1	● 209.5	222.2	161.75
	同		● 275.2	62.6	96.2	● 287.3	56.2	126.6	62.3	272.8	● 217.0	221.5	167.77
7月	同		92.8	55.2	78.5	128.9	168.3	54.1	▲ 27.2	25.8	140.5	39.8	81.11
	同		125.0	68.5	89.0	108.7	226.1	66.0	▲ 29.3	29.5	188.5	43.5	97.41
8月	同		111.3	178.0	96.4	▲ 30.3	69.2	113.2	● 196.1	23.7	33.0	● 371.9	122.31
	同		115.3	178.8	91.2	▲ 34.5	72.8	135.0	● 226.8	24.1	64.0	● 348.5	129.10
9月	同		222.4	156.4	169.1	215.8	● 574.3	139.2	143.7	28.1	3.7	114.3	176.70
	同		234.3	183.1	176.2	214.1	● 687.8	163.8	135.6	35.2	12.0	104.0	194.61
10月	同		117.9	● 252.4	259.3	105.3	286.3	● 176.5	150.5	263.7	95.7	289.9	● 199.75
	同		147.8	● 316.3	267.9	117.1	267.0	● 199.4	182.3	● 302.6	101.0	269.0	● 217.04
11月	同		122.2	86.6	56.4	43.3	65.0	99.1	102.9	43.8	128.2	74.1	82.16
	同		133.0	102.3	65.4	57.1	82.8	97.8	110.2	47.0	135.0	78.5	90.91
12月	同		73.2	▲ 20.1	1.9	109.9	86.3	131.2	63.2	32.4	58.3	▲ 26.3	60.28
	同		68.2	▲ 22.9	2.9	109.6	93.3	139.0	72.7	33.0	55.5	▲ 25.0	62.21
1月	同		▲ 37.6	74.9	▲ 0.5	59.2	30.3	50.7	31.1	36.2	▲ 0	124.6	44.51
	同		▲ 38.0	88.0	▲ 0.3	56.8	54.0	49.5	30.0	33.0	▲ 0	116.5	▲ 46.61
2月	同		71.4	35.8	74.3	54.4	89.3	▲ 5.2	34.9	▲ 8.8	17.9	50.4	▲ 44.24
	同		74.2	44.9	80.8	62.0	107.7	▲ 3.6	37.7	▲ 12.0	13.5	42.0	47.84
3月	同		166.1	118.5	62.7	48.1	67.9	51.7	79.5	54.0	73.9	86.3	80.87
	同		149.2	128.8	67.7	50.7	86.6	49.4	83.6	48.5	65.0	75.0	80.45
合計	同		1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4	1,574.5	1,294.09
	同		1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.2	1,238.6	1,033.6	1,148.0	1,493.5	1,388.99

(注) ●……最大降水量、▲……最小降水量

錢瓶町ポンプ所及三河島処理場降水量年度別曲線



錢瓶町および三河島処理場降水量年度別表

場所	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38
錢瓶町	1,092.0	2,124.0	1,456.3	1,250.4	1,204.6	1,605.8	1,220.0	1,072.2	1,752.0	1,879.7	1,680.4	1,462.2	1,263.4	1,288.8	1,517.5	1,256.7	1,290.2	1,302.2	1,581.5	1,202.6	1,142.4	1,005.9	1,067.4	1,574.5
三河島	1,145.6	2,061.1	1,277.1	1,245.0	1,246.9	1,499.6	1,074.6	912.7	1,604.9	1,738.5	1,860.5	1,554.0	1,373.6	1,479.3	1,655.6	1,418.7	1,366.8	1,352.5	1,830.6	1,352.0	1,238.6	1,033.6	1,148.0	1,493.5

(2) 混水單別回數累年比較要
(最近10年間)

(3) 脣兩強度別回數累年比較要
(最近10年間)

第7節 処理水の利用

処理水は、従来そのまま河海に放流していたが、これら未利用資源を活用して事業運営の歴史をあげるため、処理水の工業用水化を実施している。すなわち、三河島処理場においては、活性汚泥法による処理下水を、急速ろ過施設により更にろ過して供給するもので、昭和30年2月から千住製紙工場、さらに36年6月には荒川工業用水利用組合に供給契約を結び送水である。

契約料金は次のとおりである。

供給先	契約料金	契約期間
千住製紙	基本料金 1ヶ月使用水量300,000m ³ まで 1m ³ につき 2円10銭 超過料金 1ヶ月使用水量300,000m ³ を超えるもの 1m ³ につき 1円80銭	
荒川工業用水利用組合	最低責任使用料 1ヶ月35,000m ³ 1ヶ月使用料 56,000m ³ 未満 1m ³ につき 5円80銭、56,000m ³ 以上、 70,000m ³ 未満 1m ³ につき 5円、70,000m ³ 以上 84,000m ³ 未満 1m ³ につき 4円40銭、84,000m ³ 以上 1m ³ につき 4円	

なお38年度においても上記の契約で利用されている。

三河島処理場急速砂ろ過施設 ろ過池	6池その他一式	当初施設 3池
		昭28-12 起工 昭29-8 竣工 工事費 25,462,171円
		増設施設 3池
		昭34-6 起工 昭34-11 竣工 工事費 25,121,725円

送水量と収入金額

年 度	送 水 量 (m ³)	収 入 金 額 (円)
29年 度	472,650	936,476
30 タ	3,879,140	7,582,452
31 タ	4,399,090	8,513,362
32 タ	4,815,270	9,267,486
33 タ	5,320,460	10,176,828
34 タ	5,948,860	11,307,948
35 タ	6,642,880	13,037,184
36 タ	7,392,020	15,778,519
37 タ	7,761,260	16,839,076
38年 度	8,059,570	17,654,384

第8節 し尿消化槽

昭和32年度作業実績

	し尿量	シサ量	消化槽投入量	廃液量	消化汚泥量	乾燥量	ガス発生量	重油消費量	電力量
年合計	m ³ 857,335	m ³ 6,405	m ³ 850,930	m ³ 1,149,171	m ³ 162,325	m ³ 18,454.0	m ³ 5,009,600	ℓ 733,156	KWH 3,410,460
日最大	3,134	24	3,114	4,204	620	190.0	16,800	9,200	12,250
日平均	2,748	21	2,727	3,660	520	58.4	14,072	4,888	9,318

(注) 乾燥量は脱水汚泥と乾燥汚泥の合計量。

第 8 章 工事施行状況

第 1 節 拡張工事

総括表

種別	施 行 内 容
施設拡張	
11,703,684,207円	
繰 越	
11,703,684,207円	
繰 越	
11,703,684,207円	
ポンプ所	構築物及び建物 尾久・宮城・藍染・大島各ポンプ所上屋及びポンプ設備その他。
1,294,124,631円	大島・隅田・千住・小松川各ポンプ所、公舎新築その他。
繰 越	機械及び装置 町屋・日本堤・宮城・藍染各ポンプ所、ポンプ設備その他。
26,008,207円	設計管理委託 日本堤・大島・志茂・東雲・藍染・宮城各ポンプ所のポンプ設計管理委託。
	そ の 他 3件
処理場	構築物及び建物 森ヶ崎処理場 污水・雨水両沈砂池及び放流渠吐口工事
1,748,911,127円	落合処理場 送汚管・高級処理量水槽・汚泥貯留槽・空気本管・散気設備・第2沈澱池工事
繰 越	小台処理場 曝気槽・第2沈澱池及び同汚泥ポンプ、散気板・空気管工事
29,862,000円	砂町処理場 汚泥消化槽
	機械及び装置 落合処理場 特高変電所・配電盤工事・第2沈澱池機械設備・汚泥ポンプ設備・第1沈澱池機械設備・沈砂池機械設備・消毒設備・送風機設備工事
	小台処理場 污水ポンプ設備・第2沈澱池機械設備・第1沈澱池機械設備・汚泥ポンプ設備・ボイラー設備工事

種 別	施 行 内 容			
	芝浦処理場 防泡設備 砂町処理場 汚泥脱水設備・電気設備工事 設計管理委託 落合処理場 本館・造園工事設計・公舎新築に伴う設計管理委託 芝浦処理場 第2ポンプ室上家新築工事設計管理委託 そ の 他 6 件			
用 地 買 収 1,176,577,273円	管渠用地 4 件 $2,536.12m^2$ ポンプ所用地 4 件 $4,830.49m^2$ 処理場用地 2 件 $40,383.74m^2$			
そ の 他	事務費, 補償費, 映画製作費, 乗用自動車, 鋼矢板, 計算器, その他			
特別失業対策管渠敷設 229,401,819円	管渠枝線延長 $15,038.39m$ 就労人員延 52,086人			
整 備 拡 充 1,711,386,970円	管 渠 981,991,631円	幹線延長 枝線延長	1,981.16m 166.8m	
	繰 越 914,538,819円			
	ポ ン プ 所 187,570,542円 繰 越 236,971,801円	構 築 物	汐入ポンプ所 銭瓶ポンプ所	
整 備 拡 充 費	ポ ン プ 所	設計管理委託 そ の 他 用 地 買 収	3 件 3 件	汐入, 銭瓶, 湯島各ポンプ所 $840.59m^2$ 汐入ポンプ所
	処 理 場 525,669,730円	構 築 物 建 物 そ の 他	6 件 10 件	三河島処理場処理施設改造
都 市 改 造 費 84,488,791円	管 渠	件 数 管 渠 延 長	12 件 $3,508.84m$	
	そ の 他	汚 水 構 設 場 試	33カ所 61カ所	
新 河 岸 川 清 洁 907,544,198円	管 渠 883,649,798円	幹 線 延 長 枝 線 延 長 試 場 そ の 他 の 工 事	$1,356.61m$ $925.35m$ 8 件 在来管復旧	$84.5m$
	そ の 他 23,894,400円 繰 越 399,670,000円	用 地 買 収, 機 械 器 具		

(1) 管渠敷設

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
幹線	神田川幹線その13工事	□幹195cm×156cm 枝○25~80 465.80m 750.90	円 99,978,997	年月日 38. 4. 1 39. 3. 3	
	岩淵幹線その10工事	○210~□235×175 □200×200 662.11	156,167,766	38. 4. 1 39. 3. 3	
	妙正寺川幹線その2工事	幹○200~□195×175 枝○25~80 385.20 348.60	83,255,670	38. 4. 1 39. 2. 8	
	石神井川下幹線その10工事	○180 943.00	176,782,776	38. 4. 1 39. 3. 27	
	尾久幹線その7工事	幹○150~165 590.62 枝○25~40 247.80	90,302,168	38. 4. 1 39. 6. 16	
	砂町幹線その15工事	幹□210×210~ □270×273 314.98 枝○30~100 17.05	89,739,783	38. 4. 1 39. 3. 10	
	戸塚西幹線その5工事	幹○180 157.17 枝○35 12.47	22,177,116	38. 5. 10 38. 10. 21	
	砂幹線その13工事施工委託	○100 65.00	23,114,780	38. 5. 1 38. 11. 11	水道局へ委託
	千駄ヶ谷幹線その9工事	幹□270×243 320.43	42,857,422	38. 7. 9 39. 1. 23	
々	その6工事	幹□750×335 480.70 枝○25 261.44	62,002,166	38. 6. 27 38. 11. 15	
	戸塚西幹枝その6工事	幹○180. 206.51 枝○60~165 64.37	34,325,178	38. 9. 17 39. 3. 31	
	千駄ヶ谷幹線その7工事	○750×361 覆蓋 329.94	60,931,907	38. 9. 5 39. 2. 13	
	妙正寺川幹線その2工事 施行委託	幹□180×180 14.00 枝○25~30 28.00	9,753,000	38. 7. 23 39. 1. 31	西武鉄道へ 委託
	桃園川幹線その10工事	△600cm×350cm~ △600×465 底張 (366.97m)	55,824,922	38. 9. 18 39. 3. 31	
	妙正寺川幹線その3工事	○120~□210×147 330.10	40,995,490	38. 10. 1 39. 3. 31	
	尾久幹線その8工事	○135~165 551.65	181,491,840	38. 10. 3 39. 3. 31	
々	その9工事	幹□520×416 18.00 枝○60 54.80	40,155,490	38. 10. 3 39. 8. 15	継越額 102,344,510円
	砂幹線その14工事	幹□210×210 30.00 枝○80 17.40	14,613,500	38. 8. 16 39. 3. 31	東武鉄道へ 委託
々	その17工事	0	144,296	39. 9. 5 39. 5. 30	継越額 2,140,704円 国鉄へ委託
	千駄ヶ谷幹線その8工事	△650×360~ △750×360 153.80	29,368,582	38. 10. 15 39. 3. 2	
	砂幹線その16工事	□445×352 18.50	13,663,296	38. 10. 30 39. 6. 30	継越額48,236, 704円部予算外 義務負担39年度

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考	
枝 線	多摩川幹線その1工事に伴う地質調査	25m 6カ所 20m 6カ所	円 1,440,000	年月日 38. 11. 11 39. 1. 30		
	タ その2工事	25m 6カ所 20m 6カ所	1,440,000	38. 11. 15 39. 1. 30		
	妙正寺川幹線その4工事	幹□195cm×156cm 176.64m □210×147 枝○35~70 183.87	41,868,690	39. 1. 6 39. 3. 31		
	タ その5工事	幹□195×156 163.40 枝○25~50 161.21	36,884,384	38. 12. 10 39. 3. 31		
	桃園川幹線その11工事	△600×425~600×445 112.55 △タ (402.75)	44,905,549	38. 12. 20 39. 3. 31		
	タ その11工事	△600×445~ △600×465 (346.17)	34,400,000	38. 12. 20 39. 3. 31		
	神田川幹線その15工事	幹□180×162 205.00 枝○25~40 218.85	42,413,419	39. 1. 7 39. 3. 31		
	タ その14工事	幹○160~□195×156 200.0 枝○25~80 163.30	43,395,935	39. 1. 7 39. 3. 31		
	谷端川幹線その2工事	△295×120~ △370×200 (237.81)	41,882,960	39. 1. 17 39. 3. 31		
	タ その5工事	△500×450 (235.00)	48,160,671	39. 2. 8 39. 3. 31		
	タ その6工事	△500×450 (250.00)	51,748,380	39. 2. 8 39. 3. 31		
	タ その7工事	△500×450 (250.00)	53,008,619	39. 2. 8 39. 3. 31		
	タ その3工事	△500×450 (250.00)	49,129,489	39. 2. 8 39. 3. 31		
	タ その4工事	△500×450 (250.00)	49,572,803	39. 2. 8 39. 3. 31		
	千駄ヶ谷幹線その10工事	□274×280~363×380 148.01 □274×250 7.00	9,212,716	39. 2. 6 39. 3. 31		
	十二社幹線その1工事	幹○150 38.40 枝○25 41.00	6,134,420	39. 2. 25 39. 3. 31		
	砂幹線その18工事施行委託		0	0	39. 2. 7 39. 5. 30	総額 2,717,000円 帝都高速度交通営団へ委託
	桃園川幹線汚水管その他工事	○120 14.50	2,844,274	39. 2. 25 39. 3. 31		
	岩淵幹線その8工事		0	6,872,953	37. 4. 2 38. 7. 23	37年度よりの総工事設計変更による38年度分
	神田川幹線その11工事	幹○200 391.43 枝○25~90 534.20	82,181,710	37. 10. 6 39. 2. 29	37年度予算外義務負担	
砂幹線その12工事	○40~□270×243 枝 34.42	14,058,432	37. 10. 6 38. 5. 10			
岩淵幹線その8工事	幹□150×180~○180 43.52 枝○60×135 10.08	44,601,316	37. 4. 2 38. 7. 23			

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着 手 竣 工	備 考
枝 線	尾久幹線その6工事	幹○165cm 42.60m ²	円 13,513,707	年 月 日 38. 1. 29 38. 5. 29	
	戸塚西幹線その4工事	幹□180×180 枝○25～50	30.76 1.69	10,750,895	38. 1. 10 38. 5. 11
	岩淵幹線その8工事に伴う軌道 復旧工事外13件	軌道復旧・地管調査 道路舗装・外	87,777,432		
	渋谷区穂田2丁目付近枝線工事	○25～60 304.85	6,068,047	38. 4. 1 38. 7. 4	事故繰越
	渋谷区並木町 タ	○35～90 566.48	33,680,198	38. 4. 1 38. 7. 16	タ
	渋谷区田町恵比寿東2丁目付 近枝線その2工事	○50～80 291.75	21,389,616	38. 4. 15 38. 10. 12	タ
	渋谷区若木町羽沢町 付近枝線工事	○25～50 1,473.47	30,030,738	38. 6. 17 38. 9. 30	タ
	渋谷区鷺谷町八幡通2丁目 付近枝線その2工事	○25～90 1,124.10	23,089,699	38. 6. 3 38. 11. 5	タ
	渋谷区代々木本町代々木富ヶ谷 町付近枝線工事施行委託	□330×297 15.17	15,728,940	38. 3. 10 38. 12. 20	小田急へ 委託
	江東区南砂町1・8丁目 付近枝線工事	○80～150 66.53	26,849,949	37. 9. 26 38. 5. 30	
	渋谷区鷺谷町八幡通2丁目 ^タ	○60～180 8.18	14,266,099	37. 11. 5 38. 4. 30	
	江東区大島町6丁目 付近枝線その2工事	□240×240 ～□400×360 126.17	39,411,940	37. 12. 8 38. 6. 29	
	渋谷区鷺谷町八幡通2丁目付近 枝線工事施工委託		0	52,520	37. 10. 23 38. 3. 25
	江戸川区平井1丁目 ^タ	□300×300 13.00	13,863,012	37. 12. 4 39. 2. 28	タ
	江戸川区平井1丁目付近 枝線工事施工委託その2		0	9,009,207	37. 10. 30 39. 3. 31
	江東区南砂町5・6丁目付近 枝線その3工事	○25～80 181.70	12,473,695	38. 1. 7 38. 5. 20	
	北区堀舟町2丁目付近枝線工事	○45～150 168.90	28,169,389	38. 1. 10 38. 6. 8	
	タ1丁目 付近枝線その1工事	○120 30.10	6,891,217	38. 1. 16 38. 4. 30	
	タ その2工事	○50～120 110.20	9,533,142	38. 1. 16 38. 4. 30	
	中野区新山通1丁目 付近枝線工事	○25～80 21.80	16,404,243	38. 2. 8 38. 4. 30	
	渋谷区代々木富ヶ谷町代々木 深町付近枝線工事	○120～□330×297 208.60	96,233,939	38. 6. 12 39. 1. 28	
	北区赤羽町2丁目付近 枝線その5工事	○100～□195×195 244.25	62,587,903	38. 4. 1 38. 10. 31	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	台東区谷中天王寺町谷中坂町付近枝線工事	◎25cm~45cm 280.70m	円 4,290,178	年 月 日 38. 4. 1 38. 6. 21	
	荒川区尾久町8丁目付近枝線その1工事	◎25~180 142.40	30,721,188	38. 4. 1 38. 12. 16	
	品川区中延4丁目付近枝線工事	◎150~□210×189 194.67	22,826,987	38. 4. 1 38. 7. 29	
	渋谷区青葉町金王町付近	◎25~60 420.85	8,704,755	38. 4. 1 38. 6. 17	
	渋谷区原宿2丁目付近枝線その3工事	◎25~50 572.73	8,488,787	38. 4. 1 38. 7. 3	
	豊島区池袋5・6丁目付近枝線その2工事	◎25~40 627.95	10,513,919	38. 4. 1 38. 7. 4	
	中野区氷川町川添町付近枝線工事	◎25~60 745.81	19,916,072	38. 4. 1 38. 7. 20	
	新宿区柏木2丁目付近枝線その2工事	◎180 199.55	23,338,082	38. 4. 1 38. 8. 20	
	文京区関口町付近枝線その2工事	◎25 262.30	3,435,277	38. 4. 13 38. 6. 3	
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その4工事	◎120 32.00	6,808,980	38. 5. 1 38. 7. 8	
	杉並区高円寺6丁目付近枝線工事	◎25~120 794.81	14,763,532	38. 5. 6 38. 9. 21	
	足立区宮城町付近枝線その4工事	◎25~120 1,925.38	56,727,831	38. 5. 1 38. 10. 5	
	北区堀船2・3丁目付近枝線その1工事	◎25~100 335.51	17,612,434	38. 5. 10 38. 10. 3	
	北区豊島6丁目付近枝線工事	◎60 21.90	2,526,935	38. 5. 14 38. 7. 10	
	渋谷区鉢山町鷺谷町付近枝線工事	◎25~165 607.45	48,609,756	38. 5. 15 38. 10. 23	
	新宿区上落合1丁目付近枝線その1工事	◎25~120 855.84	28,933,317	38. 5. 15 38. 11. 6	
	杉並区阿佐ヶ谷1丁目付近枝線工事	◎25~40 175.34	2,621,372	38. 6. 4 38. 7. 31	
	江東区大島町6丁目付近枝線その3工事	□300×300~ □400×420 109.26	48,723,325	38. 6. 22 38. 11. 21	
	渋谷区恵比寿南2丁目付近枝線工事	◎25~35 896.78	12,879,432	38. 6. 27 38. 9. 28	
	渋谷区千駄ヶ谷3・4丁目付近	◎25~□270×120 369.10	75,577,684	38. 6. 26 39. 2. 20	
	江東区大島町6丁目付近枝線その4工事	◎25~□400×220 346.41	129,178,197	38. 7. 6 39. 3. 31	
	渋谷区大山町栄通2丁目付近枝線工事	◎25~120 1973.70	36,301,612	38. 6. 24 38. 11. 2	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
枝 線	目黒区中目黒1丁目 下目黒3丁目付近枝線その2工事	◎90cm~□180cm×180cm 410.51m	45,654,186	円 年 月 日 38. 6. 27 39. 1. 27	
	渋谷区神園町 神南町付近枝線工事	◎25~120 516.15	16,144,691	38. 7. 1 39. 1. 28	
	渋谷区本町2・4丁目付近 〃	◎25~100 2,202.35	48,995,229	38. 6. 20 39. 2. 13	
	豊島区池袋4・5・7丁目付近枝線工事	◎25~80 1,811.96	33,947,319	38. 7. 16 38. 10. 5	
	新宿区淀橋十二社付近枝線工事	◎25~70 1,491.85m	32,476,766	38. 7. 12 38. 12. 17	
	墨田区吾嬬町東7・8丁目付近枝線その2工事	◎50~135 620.33	63,336,531	38. 6. 26 39. 2. 22	
	墨田区隅田町1丁目付近枝線その5工事	■225×202~ ■240×216 179.47	65,171,334	38. 6. 26 39. 1. 30	
	千代田区平河町2丁目付近枝線工事	◎25 250.55	4,945,833	38. 8. 1 38. 12. 14	
	中央区日本橋本町 日本橋小伝馬町付近枝線工事	◎25~35 496.45	6,035,201	38. 7. 1 38. 8. 27	
	新宿区上落合1丁目付近枝線その1工事施工委託	◎120 17.00	2,898,000	38. 6. 17 38. 12. 20	西武鉄道へ 委託
	渋谷区新橋町恵比寿通2丁目付近枝線工事	◎25~50 1,214.66	21,538,399	38. 7. 22 38. 11. 4	
	新宿区上落合1丁目付近枝線その3工事	◎25~80 1,777.97	24,442,206	38. 2. 10 39. 2. 6	
	中野区氷川町 宮園通1丁目付近枝線工事	◎25~50 1,869.00	41,367,512	38. 8. 10 39. 1. 29	
	北区王子3丁目付近枝線工事	◎25~120 1,393.62	44,671,737	38. 8. 12 39. 2. 11	
	足立区宮城町付近枝線その5工事	◎165~180 468.20	69,434,308	38. 9. 5 39. 3. 31	
	渋谷区恵比寿南1丁目付近枝線工事	◎25~70 802.50	12,820,336	38. 8. 27 38. 11. 11	
	渋谷区千駄ヶ谷4丁目付近 〃	◎135~□270×327 289.20	48,682,688	38. 9. 2 39. 3. 19	
	北区豊島4・6丁目付近枝線工事	◎25~135 1,437.30	38,990,277	38. 9. 12 39. 3. 2	
	渋谷区並木町 田毎町付近 〃	◎25~35 651.20	12,451,322	38. 9. 5 38. 11. 20	
	渋谷区元代々木町付近 〃	■160×240~ ■300×300 205.57	63,884,686	38. 9. 5 39. 3. 31	
	渋谷区松濤1丁目 神山町 〃	◎25~60 1,785.90	28,518,560	38. 9. 12 38. 12. 18	
	板橋区中丸町 幸町 〃	◎135~□210×160 310.61	41,730,843	38. 9. 16 39. 3. 23	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
枝線	荒川区尾久町8丁目付近枝線 その2工事	◎180cm 112.40m	円 37,255,534	年 38. 9. 19 月 39. 3. 25	
	その3工事	◎180 106.20	37,779,761	年 38. 9. 19 月 39. 3. 14	
	北区王子1丁目 堀船1・2丁目付近枝線工事	◎25~50 1,073.09	19,478,904	年 38. 9. 5 月 38. 12. 20	
	渋谷区千駄ヶ谷2丁目 原宿1丁目付近枝線工事	◎25~100 1,459.35	31,383,603	年 38. 9. 11 月 39. 2. 15	
	渋谷区穂田3丁目 原宿3丁目付近枝線工事	◎25~135 993.79	64,066,207	年 38. 9. 5 月 39. 3. 31	
	渋谷区田每町付近枝線工事施工委託	◎60~70 43.50	5,978,480	年 38. 10. 12	東急電鉄へ委託
	渋谷区原宿2丁目 青葉町付近枝線工事	◎25~60 1,592.51	21,833,375	年 38. 9. 16 月 39. 2. 22	
	渋谷区千駄ヶ谷3丁目付近枝線 その4工事	◎25~70 1,310.20	19,805,802	年 38. 9. 27 月 39. 1. 7	
	渋谷区大和田町付近枝線工事	◎25~30 270.45	11,999,044	年 38. 10. 10 月 39. 3. 2	
	新宿区戸塚町1丁目付近枝線工事	◎25~30 109.80	1,813,799	年 38. 9. 6 月 38. 10. 5	
	荒川区町屋5丁目	◎25~50 570.47	9,084,263	年 38. 10. 1 月 39. 2. 25	
	足立区宮城町付近枝線その6工事	◎25~60 770.49	1,400,152	年 38. 10. 5 月 39. 3. 17	
	墨田区吾嬬町西2丁目付近枝線 その5工事	◎25~70 1,045.55	23,114,295	年 38. 9. 25 月 38. 12. 14	
	江戸川区逆井2丁目付近枝線工事	□210×210~ □330×330 138.15	76,954,557	年 38. 10. 3 月 39. 3. 31	
	新宿区上落合1丁目付近枝線 その2工事	◎25~110 1,389.48	45,610,776	年 38. 9. 30 月 39. 3. 31	
	北区滝野川2・3丁目付近枝線 その2工事	◎25 126.38	4,086,128	年 38. 9. 17 月 38. 11. 14	
	中野区宮前町本町通3丁目付近枝線工事	◎25~80 1,475.20	23,967,127	年 38. 10. 1 月 39. 2. 25	
	目黒区洗足町原町	◎30~150 842.40	44,913,573	年 38. 10. 10 月 39. 3. 17	
	新宿区上落合1丁目付近枝線その2工事施工委託	◎70~170 34.80	1,960,000	年 38. 9. 14 月 39. 3. 30	西武鉄道へ委託
	渋谷区宅田川町 北谷町付近枝線工事	◎25~150 1,006.83	35,782,616	年 38. 10. 10 月 39. 3. 14	
	渋谷区猿楽町八幡通3丁目	◎25~50 1,873.11	46,125,889	年 38. 10. 11 月 39. 3. 16	
	渋谷区代々木3丁目	◎25~70 463.39	16,994,952	年 38. 9. 26 月 39. 12. 18	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
枝 線	墨田区吾嬬町東7丁目付近枝線 その2工事	◎25cm~70cm 535.40m	円 20,700,752	年月日 38. 12. 10 39. 3. 31	
	北区豊島7丁目 王子3丁目 付近枝線工事	◎25~70 821.55	18,021,612	38. 10. 8 39. 1. 24	
	品川区中延3・4丁目 〃	□195×195~ □210×189 289.20	43,314,655	38. 10. 15 39. 3. 21	
	目黒区洗足町 原町付近枝線工 事施工委託	◎120 21.87	2,737,800	38. 9. 16 38. 12. 27	東急電鉄へ 委託
	中野区桃園町 宮園通4丁目付 近枝線工事	◎25~100 697.60	36,419,131	38. 10. 21 39. 3. 28	
	江東区南砂町5・8丁目付近 枝線その2工事	◎25~100 1,013.04	44,581,602	38. 10. 11 39. 3. 31	
	墨田区吾嬬町東5丁目付近枝線 工事	◎25~120 749.91	22,869,812	38. 10. 10 39. 3. 30	
	新宿区戸塚町3・4丁目付近 枝線その2工事	◎25~80 905.58	18,608,998	38. 11. 4 39. 3. 31	
	目黒区下目黒3・4丁目 付近枝線工事	◎25~□210×189 658.60	60,427,756	38. 9. 28 39. 3. 28	
	千代田区永田町2丁目 〃	◎60 52.00	4,094,612	38. 10. 7 38. 11. 9	
	北区堀船2・3丁目付近枝線 その2工事	◎29~70 895.70	23,924,019	38. 11. 1 39. 2. 22	
	墨田区吾嬬橋1丁目 付近枝線工事	◎70~80 235.87	5,392,871	38. 11. 13 39. 1. 25	
	渋谷区上通2丁目金王町 〃	◎25~45 1,287.45	20,949,869	38. 10. 21 39. 2. 24	
	杉並区和田本町付近枝線その4 工事	◎25~180 754.59	34,577,421	38. 10. 25 39. 3. 31	
	中野区小滝町 文園町 付近枝線工事	◎25~110 1,348.85	51,002,594	38. 11. 26 39. 3. 23	
	渋谷区原宿1丁目 〃	◎25~70 662.10	16,833,255	38. 11. 4 39. 3. 28	
	渋谷区千駄ヶ谷3・4丁目付近 枝線その2工事	◎25~50 502.55	6,283,424	38. 11. 20 39. 2. 22	
	渋谷区恵比寿西1・2丁目付近 枝線工事	◎25~60 2,062.67	36,833,411	38. 11. 20 39. 3. 31	
	北区滝野川4丁目付近枝線その 2工事	◎25~□200×250 1,705.31	31,206,941	38. 11. 26 39. 6. 20	繰越額 5,581,559円
	渋谷区恵比寿南2丁目付近枝線 その1工事施工委託	◎70 42.05	1,681,445	38. 10. 12 39. 2. 15	国鉄へ委託
	渋谷区原宿3丁目付近枝線その 1工事	◎25~45 1,026.45	16,791,825	38. 11. 18 39. 3. 13	
	渋谷区桜ヶ丘町付近枝線その 1工事	◎25~40 1,063.75	20,218,692	38. 11. 11 39. 3. 4	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	渋谷区恵比寿東2丁目 西1・2 丁目付近枝線工事	◎25cm～60cm 1,782.65m	円 24,804,164	年 月 日 38. 11. 25 39. 1. 31	
	中野区朝日ヶ丘町 相生町 付近枝線工事	◎25～150 1,431.31	33,985,448	38. 12. 2 39. 2. 13	
	渋谷区上通3丁目円山町 々	◎25～70 1,702.26	39,510,104	38. 12. 2 39. 2. 13	
	中野区小滝町付近枝線その3工 事	◎25～70 704.53	12,533.124	38. 11. 26 39. 3. 31	
	中野区小滝町付近枝線その2工 事	◎25～120 746.55	29,082,480	38. 11. 26 39. 3. 31	
	渋谷区常盤松町 氷川町 付近枝線工事	◎25～40 819.05	13,535,556	38. 11. 25 39. 3. 24	
	北区滝野川2・3・4丁目 々	◎25～110 1,075.34	32,264,848	38. 11. 26 39. 3. 31	
	中野区千代田町 々	◎25～100 920.90	22,174,169	38. 12. 2 39. 3. 31	
	北区滝野川4・5丁目付近 枝線その1工事	◎25～165 541.60	39,997,059	38. 12. 10 39. 3. 31	
	枝線その2工事 々	◎25～90 323.80	19,497,116	38. 12. 10 39. 3. 31	
	新宿区柏木3丁目 付近枝線工事	◎25～150 1,029.33	42,180,971	38. 12. 10 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町4丁目 々	◎25～200 637.38	8,415,913	38. 12. 17 39. 2. 25	
	港区三田南寺町 麻布笄町付近 枝線工事	◎25 295.20	3,254,354	38. 12. 21 39. 3. 19	
	北区滝野川2・3・4丁目付近枝 線その2工事	◎25～40 736.94	9,994,203	38. 12. 12 39. 3. 25	
	渋谷区代々木1丁目 付近枝線その2工事	◎135～165 279.56	44,050,854	38. 12. 21 39. 3. 31	
	渋谷区千駄ヶ谷4・5丁目 々	◎25～60 466.83	7,739,235	38. 12. 16 39. 3. 10	
	新宿区上落合1丁目 下落合3 丁目付近枝線工事	◎25～70 1,087.85	18,265,248	38. 12. 12 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町4丁目 付近枝線その2工事	◎25～70 1,302.43	22,124,524	38. 12. 12 39. 3. 31	
	々 その3工事	◎25～80 1,184.70	15,492,474	38. 12. 25 39. 3. 25	
	々 その4工事	◎25～50 922.65	12,226,748	38. 12. 12 39. 3. 31	
	渋谷区並木町 付近枝線その2工事	◎35 49.00	2,111,794	39. 1. 11 39. 2. 15	
	新宿区戸塚町4丁目 々 その6工事	◎60～90 256.65	9,033,537	39. 1. 6 39. 3. 31	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	新宿区戸塚町4丁目付近枝線その5工事	◎25cm~100cm 2,011.02m	円 35,534,179	年 月 日 38. 12. 17 39. 3. 23	
	北区赤羽町2・4丁目付近枝線工事	■195×195 75.40	24,111,638	38. 12. 10 39. 3. 17	
	北区田端新町3丁目	◎20~35 186.46	3,770,069	39. 1. 8 39. 2. 15	
	新宿区戸塚町3丁目付近枝線工事	◎25~70 1,229.81	15,227,708	38. 12. 16 39. 5. 30	繰越額 円 29,842,292
	新宿区下落合2・3丁目	◎25~50 717.00	17,195,214	38. 12. 25 39. 5. 25	繰越額 円 17,380,557
	渋谷区桜ヶ丘町付近枝線その2工事	◎25~50 941.60	24,197,059	38. 12. 26 39. 3. 28	
	渋谷区千駄ヶ谷4・5丁目付近枝線工事	◎25~60 381.00	27,621,718	38. 12. 23 39. 3. 16	
	渋谷区富ヶ谷1丁目神山町付近枝線工事	◎25~40 712.80	9,696,249	39. 1. 4 39. 3. 19	
	新宿区柏木2丁目付近枝線その3工事	◎30~120 898.55	27,219,825	39. 1. 10 39. 3. 31	
	渋谷区鉢山町付近枝線工事	◎25~100 1,476.45	41,365,877	38. 12. 26 39. 3. 13	
	渋谷区南平台町	◎25~60 1,260.47	21,177,550	38. 12. 26 39. 3. 26	
	渋谷区千駄ヶ谷4・5丁目付近枝線その3工事	◎25~70 1,114.10	22,255,912	38. 12. 25 39. 3. 25	
	渋谷区原宿3丁目 その2工事	◎25~80 831.79	17,886,551	38. 12. 26 39. 3. 31	
	品川区平塚1・2丁目付近枝線工事	◎25~80 947.65	24,805,849	39. 1. 8 39. 3. 31	
	新宿区戸塚3丁目付近枝線工事 施工委託	◎60 17.01	850,000	38. 12. 14 39. 3. 31	西武へ委託
	渋谷区南平台町 桜ヶ丘町付近枝線工事	◎25~60 1,482.80	29,949,515	38. 12. 26 39. 3. 31	
	渋谷区原町	◎25~70 1,004.30	19,785,798	38. 12. 26 39. 3. 31	
	新宿区下落合3丁目付近枝線工事	◎50 9.60	590,420	39. 1. 6 39. 1. 29	
	千代田区麹町1丁目	◎25 446.53	8,147,201	38. 12. 26 39. 3. 16	
	渋谷区代々木4丁目付近枝線工事 施工委託		0	5,310,000	繰越額 11,7 93,000円小田急電鉄へ委託
	渋谷区千駄ヶ谷3丁目付近枝線 その5工事	◎25~50 1,345.19	23,172,255	38. 12. 26 39. 3. 18	
	北区滝野川4丁目付近枝線工事	◎100~135 187.10	49,125,827	39. 1. 17 39. 3. 31	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
枝 線	渋谷区原町付近枝線その2工事	◎25cm~40cm 718.90m	円 10,137,130	年 月 日 39. 1. 8 39. 3. 31	
	渋谷区代々木深町代々木5丁目付近枝線工事	◎25~135 392.80	19,583,432	39. 1. 8 39. 7. 13	繰越額 円 9,896,568
	渋谷区長谷戸町 々	◎25~60 913.15	20,776,364	39. 1. 8 39. 3. 30	
	品川区西中延1・2丁目付近枝線工事	◎25~70 1,389.68	37,101,879	39. 1. 9 39. 3. 31	
	渋谷区上通4丁目神泉町 々	◎25~□980×540 1,151.08	33,568,427	39. 1. 9 39. 3. 31	
	渋谷区上通4丁目神泉町付近枝線その2工事	◎25~30 785.13	14,180,029	39. 1. 9 39. 3. 21	
	杉並区神明町付近枝線工事	◎180 60.63	11,066,928	39. 1. 17 39. 3. 10	
	北区十条仲原1丁目 上十条3丁目付近枝線工事	◎25~30 355.30	6,001,621	39. 1. 17 39. 2. 27	
	北区滝野川2丁目 々	◎40~70 63.90	14,079,191	39. 1. 28 39. 3. 31	
	北区王子5丁目豊島8丁目 々	◎25~60 770.78	16,273,959	39. 1. 17 39. 3. 31	
	渋谷区神山町 々	◎25~60 949.80	19,035,212	39. 1. 9 39. 3. 23	
	北区東十条1丁目 王子2丁目 々	◎25~40 984.10	23,063,013	39. 1. 17 39. 3. 31	
	北区豊島2・3丁目 々	◎25~70 1,064.58	22,495,158	39. 1. 17 39. 3. 31	
	渋谷区代々木4丁目 々	◎135~165 132.60	16,833,179	39. 1. 31 39. 5. 29	繰越額 円 13,666,821
	墨田区吾嬬町西4丁目 々	◎25~70 553.95	13,675,486	39. 2. 1 39. 3. 31	
	墨田区吾嬬町東5丁目付近枝線その2工事	◎25~45 589.64	10,281,138	39. 2. 1 39. 3. 31	
	新宿区柏木3丁目付近枝線その2工事	◎25~60 766.95	14,958,298	39. 2. 5 39. 3. 31	
	板橋区大和町付近枝線工事	◎30~150 474.25	28,201,667	39. 2. 5 39. 3. 31	
	北区岸町1丁目 王子本町2丁目 々	◎25~40 653.63	12,497,366	39. 2. 5 39. 3. 31	
	新宿区柏木4丁目 々	◎25~45 838.40	15,024,764	39. 2. 5 39. 3. 31	
豊島区雑司ヶ谷4丁目巣鴨6丁目付近枝線工事	◎25~30 395.85	4,975,260	39. 2. 25 39. 3. 31		
渋谷区恵比寿東1丁目付近枝線工事	◎25 53.20	1,627,237	39. 2. 24 39. 3. 30		

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着 手 竣 工	備 考
枝 線	新宿区柏木2丁目付近枝線その4工事	◎60cm 19.00m	円 1,893,436	年 月 日 39. 2. 10 39. 2. 10	
	荒川区荒川8丁目付近枝線工事	◎70 145.55	5,285,666	39. 2. 10 39. 5. 11	繰越額 円 11,844,334
	渋谷区本町1丁目付近枝線工事	◎50~150 146.40	13,283,154	39. 2. 19 39. 3. 31	
	豊島区池袋2・4丁目付近枝線工事	◎25~30 848.75	11,504,869	39. 2. 25 39. 3. 31	
	北区上十条1丁目 堀船1丁目	◎25~30 218.15	4,149,098	39. 2. 20 39. 3. 31	
	中野区上高田3・5丁目	◎50 60.80	153,854	39. 3. 14 39. 5. 30	繰越額 円 26,846,146
	渋谷区内污水拡設置その2工事	拡工事 128カ所	2,388,156	39. 2. 26 39. 3. 31	
	〃 その3工事	〃 205カ所	3,368,925	39. 2. 26 39. 3. 30	
	渋谷区代々木深町 代々木5丁目付近枝線工事施工委託		0	0 39. 5. 30	繰越額 16,48 9,000円 小田急電鉄へ委託
	新宿区下落合2・3丁目	◎60 26.20	1,610,000	39. 2. 18 39. 3. 31	西部鉄道へ委託
	渋谷区代々木1・2丁目付近枝線工事		0	0 39. 3. 30 39. 6. 20	繰越額 円 22,800,000
	新宿区下落合1・2丁目		0	0 39. 3. 19 39. 8. 31	繰越額 円 21,800,000
	新宿区下落合3丁目上落合2丁目付近枝線工事		0	0 39. 4. 14 39. 8. 31	繰越額 円 30,300,000
	渋谷区代々木1・2丁目付近枝線その2工事		0	0 39. 3. 27 39. 6. 30	繰越額 円 31,700,000
	〃 その4工事		0	0 39. 3. 27 39. 6. 18	繰越額 円 15,080,000
	青梅街道舗装に伴う新宿区柏木1・2丁目 淀橋付近人孔その他工事	◎25~60 83.46	3,929,383	39. 3. 14 39. 3. 25	
	渋谷区富ヶ谷町1丁目付近枝線工事		0	0 39. 3. 24 39. 8. 15	繰越額 円 22,190,000
	渋谷区代々木2丁目		0	0 39. 3. 24 39. 8. 31	繰越額 円 32,600,000
	渋谷区代々木4丁目付近枝線その2工事		0	0 39. 4. 4 39. 8. 24	繰越額 円 25,200,000
	〃 その3工事		0	0 39. 3. 24 39. 8. 31	繰越額 円 28,540,000
渋谷区代々木5丁目付近枝線その2工事		0	0 39. 3. 24 39. 8. 31	繰越額 円 30,450,000	
〃 その3工事		0	0 39. 4. 7 39. 8. 3	繰越額 円 32,930,000	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
枝 線	環状6号舗装工事に伴う中野区上ノ原町付近人孔その他工事	◎30cm~40cm 19.30m	円 743,689	年月日 39. 3. 14 39. 3. 31	
	新宿区上落合2丁目付近枝線工事	0	0	39. 4. 10 39. 8. 31	繰越額 円 29,000,000
	新宿区下落合2丁目	0	0	39. 4. 10 39. 8. 31	繰越額 円 24,770,000
	新宿区下落合3丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 4. 10 39. 8. 31	繰越額 円 25,500,000
	新宿区下落合2・3丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 4. 20 39. 8. 31	繰越額 円 28,860,000
	大田区調布嶺町1丁目先永富開渠改築工事施工委託	0	1,469,080	38. 4. 1 38. 7. 31	国鉄へ委託
	新宿区淀橋十二社付近枝線その2工事	0	0	39. 4. 15 39. 7. 13	繰越額 円 11,700,000
	渋谷区穂田3丁目付近枝線工事	0	0	39. 3. 31 39. 6. 30	繰越額 円 2,350,000
	渋谷区代々木1・2丁目付近枝線その3工事	0	0	39. 6. 30	繰越額 円 3,000,000
	北区滝野川4丁目付近枝線その2工事施工委託	0	0	—	繰越額 円 1,752,000 国鉄へ委託
	佃川埋立に伴う下水管埋設工事	◎25~180 415.00	10,979,582	38. 11. 26 39. 3. 31	建設局へ委託
	渋谷区代々木1丁目付近枝線その3工事	0	0	39. 4. 21 39. 8. 31	繰越額 円 25,960,000
	渋谷区代々木4丁目付近枝線その4工事	0	0	39. 4. 21 39. 8. 31	繰越額 円 31,690,000
	渋谷区緑ヶ岡町 港区赤坂青山高樹町付近枝線工事	0	0	39. 7. 13	繰越額 円 8,700,000
	渋谷区代々木2・3丁目付近枝線工事	0	0	39. 8. 31	繰越額 円 24,000,000
	渋谷区代々木3丁目付近枝線その2工事	0	0	39. 8. 31	繰越額 円 29,000,000
	渋谷区代々木4丁目付近枝線その5工事	0	0	39. 8. 31	繰越額 円 41,000,000
	中野区新山通2丁目付近枝線工事外28件	埋設物調査197カ所 土質調査20カ所 設計図の作成39,944m 測量4,600m 污水管456カ所 その他	円 50,122,099	—	繰越額 円 1,528,500
側溝	豊島区高松町2丁目付近側溝工事	L型延長 (2,142.00m)	2,550,000	38. 8. 1 38. 12. 20	
	渋谷区千駄ヶ谷1・4丁目	(2,418.10)	3,612,466	38. 8. 9 39. 1. 11	
	新宿区柏木2・3丁目	(1,202.80)	1,670,000	38. 8. 26 39. 1. 16	
	北区滝野川3・5丁目	(1,556.20)	1,783,702	38. 9. 12 39. 12. 12	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
側 溝	渋谷区大和田町上通3丁目付近測溝工事	(2,556.60m)	円 3,355,202	年 月 日 38. 10. 12 39. 3. 27	
	北区豊島6・7丁目	(1,379.40)	1,652,125	38. 11. 26 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町3・4丁目	(2,098.50)	2,370,000	38. 11. 1 39. 3. 24	
	板橋区熊野町 中丸町	(1,721.70)	2,165,285	38. 10. 25 39. 3. 9	
	北区王子町	(1,472.70)	1,914,810	39. 1. 7 39. 3. 31	
	北区王子町付近側溝その2工事	(1,222.40)	1,501,575	39. 1. 7 39. 3. 21	
	渋谷区恵比寿南2丁目付近側溝工事	(2,977.40)	4,006,500	38. 12. 26 39. 3. 31	
	北区上十条2・3丁目	(1,177.70)	1,318,074	39. 1. 17 39. 3. 31	
	新宿区戸塚町3丁目 新宿4丁目	(362.0)	390,000	39. 2. 5 39. 3. 31	
試 挖	試 挖 調 査	2,594カ所	23,452,269		21件
設計委託	渋谷区上通2丁目 金王町付近枝線工事外2カ所	(3,031m)	730,000	38. 5. 16 38. 9. 9	
	渋谷区常盤松水川町	(2,952)	630,000	38. 5. 16 38. 9. 9	
	品川区平塚町1・2丁目付近枝線工事外1カ所	(2,453)	790,000	38. 5. 19 38. 10. 21	
	渋谷区桜ヶ丘町付近枝線その1工事外3カ所	(3,429)	918,972	38. 5. 16 38. 9. 9	
	中野区朝日ヶ丘相生町付近枝線工事外1カ所	(2,210)	630,000	38. 6. 15 38. 9. 21	
	北区滝野川2・3・4丁目付近枝線その1工事外1カ所	(1,920)	630,000	38. 6. 19 38. 9. 26	
	北区王子5丁目 豊島8丁目付近枝線工事外1カ所	(2,230)	663,000	38. 6. 19 38. 9. 26	
	渋谷区代々木4丁目付近枝線工事	23	60,000	38. 8. 9 38. 12. 20	小田急電鉄 へ委託
	江東区大島町7丁目付近枝線その1工事外2カ所	(4,050)	1,560,000	38. 10. 24 39. 3. 9	
	墨田区吾嬬町東1・3丁目付近枝線工事外3カ所	(2,630)	1,280,000	38. 10. 24 39. 3. 7	
	渋谷区原町付近枝線その1工事外1カ所	(1,949)	460,000	38. 10. 7 38. 11. 14	
	渋谷区上通4丁目 神泉町付近枝線その1工事外1カ所	(2,592)	625,000	38. 10. 7 38. 11. 28	

(2) ポンプ所建設

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
構築物 及び建物	大島ポンプ所雨水吐工事	放流渠 吐口 9.8m 10.5m	円 35,459,726	年月日 37. 12. 10 39. 3. 31	
	日本堤ポンプ所建設その5工事	ポンプ室上家 延3,099.86m ² 放流渠 38.5mの一部	142,616,306	38. 4. 1 39. 8. 19	予算外義務 負担工事
	尾久ポンプ所建設その2工事	流入渠27.5m 汚水管14. 04m 沈砂池4池 ポンプ 室下部 634.95m 放流渠	135,565,398	38. 4. 1 39. 3. 27	
	宮城ポンプ所建設その2工事	ポンプ所上家 鉄筋コンクリート造 延床面積 1,169.835m ² 雨水放流渠 68.00m 電気設備 その他1式	37,158,961	38. 4. 1 38. 9. 25	
	藍染ポンプ所 流入渠及び阻水扉室工事	流入渠 155.0m 放流渠 38.5m 阻水扉室 1式	60,219,153	38. 6. 26 39. 2. 9	
	隅田、千住ポンプ所 公舎新築その他工事	鉄筋コンクリート各2世 帶 隅田2階建延94.84m ² 千住平家建 80.36	9,451,000	38. 8. 26 39. 3. 15	経理部へ 委託
	小松川ポンプ所 〃	木造2階建 2世帯延 94.05m ²	3,190,000	38. 11. 11 39. 3. 13	経理部へ 委託
	大島ポンプ所 公舎新築工事	木造2階建 2世帯延 97.20m ²	3,480,000	39. 1. 30 39. 3. 31	経理部へ 委託
	尾久ポンプ所 建設その3工事	ポンプ室上家 延床面積 675.92m ² の一部	8,217,625	39. 1. 16 39. 6. 20	繰越額 23,870,207
	大島ポンプ所雨水吐工事	次頁の工事と同一	14,950,000		
機械及 置	起重機設備工事	20t天井走行起重機 1基 走行軌条布設ならびに付 帶設備 1式	5,520,000	37. 10. 6 38. 4. 12	
	藍染ポンプ所 起重機設備工事	20t天井走行起重機 1基 走行軌条布設ならびに付 帶設備 1式	5,529,000	37. 10. 6 38. 4. 1	
	〃 ポンプ設備その1工事	雨水ポンプ ディーゼル駆動φ1700 2台 〃 電動機駆動 φ1700 1台 その他付帶工事	206,000,000	37. 10. 6 38. 8. 6	
	町屋ポンプ所 汚水ポンプ設備その2工事	汚水ポンプ φ 500 1台 および付帶工事	7,760,000	38. 5. 6 38. 12. 16	
	宮城ポンプ所 電気設備その1工事	配電盤工事 1式 所内発電機工事 1式 配線工事 1式 その他	39,300,000	38. 7. 1 39. 3. 21	
	〃 沈砂池機械設備工事	阻水扉2組 グリットエ レベーター2基 沈砂機 4基 沈砂機4面 沈砂 筒渣搬出設備1式 阻水 扉用配電盤及油圧装置	31,000,000	38. 7. 1 39. 3. 10	
	〃 起重機設備工事	15t天井走行 起重機 1基 その他付帶設備 1式	3,550,000	38. 7. 1 39. 1. 20	
	藍染ポンプ所 放流扉設備工事	放流扉 1基 同上用捲揚機 1台	6,680,000	38. 7. 1 39. 3. 18	
	砂町ポンプ所 汚水ポンプ設備その1工事	汚水ポンプ 1台 給排水ポンプ 各1台 の残部	12,710,000	37. 6. 21 38. 5. 10	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
機械置	日本堤ポンプ所 沈砂池機械設備その2工事	阻水扉 2基 揚泥機 1台 沈砂撿集機 2台の残部	円 3,957,000	年月日 37. 7. 19 38. 4. 30	
	宮城ポンプ所	雨水ポンプディーゼル φ1100機関駆動 1台 クーリングタワー 1台	66,400,000	38. 7. 6	
	雨水ポンプ設備その1工事	φ1100電動機駆動 1台 クーリングタワー 1台 その他付帯設備		39. 3. 10	
	日本堤ポンプ所	雨水ポンプ電動機駆動 φ2000 1台	42,400,000	38. 7. 6	繰越額 1,10 0,000円一部 予算外義務 負担39年度 (74,000,000)
	雨水ポンプ設備その3工事	および付帯工事 1式 の一部		39. 11. 10	
	タ	雨水ポンプ、ディーゼル駆動 φ 200 1台	106,800,000	37. 4. 2	
	タ その2工事	同上用ディーゼル機関 1台		38. 4. 20	
	大島ポンプ所沈砂池 機械設備その1工事	雨水用阻水扉 2面 汚水用 タ 1面 雨水用揚泥機 1台 汚水用 タ 1組 雨水用沪格機 4面 汚水用 タ 2面 沈砂篩渣搬送設備 1式	53,000,000	37. 10. 6 38. 7. 2	
	藍染ポンプ所 電気設備その1工事	配電盤工事 1式 所内発電機工事 1式 配線工事 1式	63,900,000	37. 10. 6 38. 8. 24	
設計管 理委託	大島ポンプ所 構内管理委託	雨水ポンプ、ディーゼル駆動 φ1400 1台 汚水 タ 電動機駆動 φ 800 1台 その他付帯工事	99,700,000	37. 10. 6 38. 7. 2	
	タ 電気設備その1工事	高圧受電装置 1式 配電盤工事 1式 所内発電機工事 1式	42,500,000	37. 10. 6 38. 7. 29	
	大島ポンプ所 構内管理委託	本館管理 延床面積 2,471.00m ²	628,379	38. 4. 1 38. 8. 31	
	藍染ポンプ所 構内管理委託	本館及び機械 延床面積 4,212.02m ² 汚水用揚泥機 1組 その他の管理	552,175	38. 4. 1 38. 9. 30	
	宮城ポンプ所 建設その2工事管理委託	ポンプ所上家 延床面積 1,169.835m ² 電気設備 1式 オイルタンク設備 1式	445,000	38. 4. 3 38. 9. 25	
	日本堤ポンプ所 建設その5工事管理委託	ポンプ所上家 延床面積 3,099.86m ² 電気設備その他 1式	752,000	38. 8. 21 39. 8. 19	繰越額 698,000円
	大島ポンプ所 構内管理委託その2	ポンプ所本館 および機械等の管理	1,552,775	38. 9. 1 39. 3. 31	
その他	志茂ポンプ所 上家新築工事設計委託	ポンプ所上家延 1,787m ² 沈砂池上家 1,400m ² 及付帯設備の設計委託	3,900,000	38. 12. 12 39. 3. 14	
	東雲ポンプ所上家 新築工事設計委託	ポンプ所上家延 1,860m ² 沈砂池上家延 903m ² 及付帯設備の設計委託	4,400,000	38. 12. 26 39. 3. 14	
	大島ポンプ所 整備工事	周壁 294.4m コンクリート舗装 1,930.0m ² 污水管 57.4m その他	26,230,133	38. 6. 13 39. 1. 30	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
その他	山谷堀地質調査工事	テストボーリング 11ヵ所	円 700,000	年月日 38. 12. 27 39. 2. 29	
	江東区大島町6丁目付近 応急漏水防止工事	堤外土表積土砂壩充工事 1,375.00m ² 堤外盛土工事 262,00m ² モルタル壩充工事 107ヵ所	7,950,000	38. 3. 12 38. 4. 22	
	尾久ポンプ所 建設その3工事管理委託	拡張第787号の工事管理	0	39. 1. 22 39. 6. 20	緑越額 340,000

(3) 処理場建設

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
構築物及び 建物	森ヶ崎西処理場 建設その2工事	雨水沈砂池 汚水沈砂池 6池 6池	円 89,493,599	年月日 38. 4. 1 39. 3. 18	
	建設その6工事	汚泥貯留槽 付属機械室 汚泥ポンプ室 その他 2槽 2棟	61,070,023	38. 6. 26 38. 12. 7	
	小台処理場 建設その8工事	曝気槽 第2沈澱池 各一部 4槽 4池 の 第2汚泥ポンプ室80m ²	168,133,603	38. 10. 3 39. 11. 4	一部予算外 義務負担 39年度 210,485,953
	曝気槽散気設備その2工事	散気板 空気管 4,536枚 1,407.0m	33,734,896	38. 10. 10 39. 3. 31	
	落合処理場 空気本管その他工事	空気管 前曝気槽散気装置 32カ所 850m 32カ所	10,350,000	37. 10. 6 38. 5. 16	タ
	散気設備その1工事	曝気槽散気装置 モノレール の一部 (竣工) 688組 800m	10,180,000	37. 10. 6 38. 4. 10	37年度予算 外義務負担
	建設その4工事	第二沈澱池 雨水放流渠 の一部 (竣工) 5池 114.0m の一部 (竣工)	110,890,464	37. 10. 6 38. 10. 4	タ
	砂町処理場 汚泥消化槽その3工事	汚泥消化槽 管廓 の一部 (竣工) 4槽 160m	148,780,254	37. 8. 30 38. 8. 20	タ
	森ヶ崎西処理場 放流渠吐口工事	放流渠吐口 鉄筋コンクリート造 矩形渠 巾3,600mm×高2,200mm 2連 21.40m	8,399,588	38. 11. 8 39. 2. 4	
	落合処理場 送泥管その10工事	ダクタイル鋳鉄管 1,772.05m 鋼管 66.05m	27,838,176	38. 6. 6 38. 11. 29	
	送泥管その11工事	ダクタイル鋳鉄管 2,069.0m 鋼管 141.0m	34,026,367	38. 6. 6 38. 11. 29	
	建設その5工事	高級処理量水槽 予備処理 放流渠 陸橋 造園(曝気槽上) その他 1槽 1槽 15.03m 112.34m	90,079,321	38. 7. 6 39. 1. 29	
	送泥管その8工事	国鉄委託分	46,809	37. 8. 27 37. 11. 5	委託料のみ 緑越
機械及び装置	小台処理場 汚水ポンプ設備その2工事	汚水ポンプ (ディーゼル機関) 1台	9,600,000	38. 5. 6 39. 1. 25	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
機械及び 装 置	芝浦処理場 防泡設備工事	配水管 6,595.0m ポンプ井及びポンプ室 防泡ポンプ 2台 電気設備 2面	円 30,689,200	年 月 日 38. 8. 30 39. 3. 25	
	小台処理場 第二沈澱池機械設備その2工事	汚泥搔集機 2池分 吸泥管弁 2池分 手摺 2池分	38,300,000	38. 10. 1 39. 3. 31	
	〃 第一沈澱池 機械設備その2工事	汚泥搔集機 1池分 吸泥管弁 1組	20,200,000	38. 10. 1 39. 3. 25	
	〃 汚泥ポンプ設備その2工事	汚泥ポンプ(電動) 3台 その他付属設備	8,100,000	38. 10. 1 39. 3. 31	
	砂町処理場 電気設備その2工事	配電盤工事 配線工事 その他 } 一式	72,000,000	37. 10. 6 38. 9. 5	
	小台処理場 ボイラー設備その2工事	ボイラー 1缶 重油貯留槽 1基 汚泥バイパス管弁設備 1式 管廊排水ポンプ 1台	31,300,000	37. 10. 6 38. 7. 25	
	落合処理場 污水ポンプ設備その1工事	污水ポンプ φ900 2台 〃 φ350 2台 水中ポンプ 1台 給水ポンプ 1台	38,750,000	37. 10. 6 38. 8. 6	
	砂町処理場 汚泥脱水設備その3工事	真空汎過機 4台 真空ポンプ 2台 空気圧縮機 1台 給水用増圧ポンプ 1台	60,200,000	37. 8. 30 38. 7. 1	
	落合処理場 電気設備その1工事	特高変電所 1式 配電盤工事 1式 配線工事 1式 その他	199,000,000	38. 4. 1 39. 1. 31	
	〃 送風機その1工事	送風機 3台 同上用電動機 3台 その他付帯設備	78,800,000	37. 8. 30 38. 8. 12	予算外義務 負担
	〃 消毒設備その1工事	真空式塩素滅菌機 1台 および付帯設備	11,700,000	38. 7. 1 39. 1. 25	
	〃 第二沈澱池機械設備 その1工事	汚泥搔集機 2池分 流入扉 } 各3池分 排水扉 }	77,850,000	38. 7. 6 39. 1. 20	
	〃 汚泥ポンプ設備その1工事	第一沈澱池汚泥ポンプ 3台 第二 汚泥ポンプ 2台 前曝気槽 汚泥ポンプ 1台 送泥ポンプ 4台	34,050,000	38. 5. 30 39. 1. 25	
	〃 第一沈澱池機械設備 その1工事	汚泥搔集機 流入扉 } 各4池分 排水扉 } 各4池分 吸泥管弁 2池分	39,070,000	38. 6. 26 39. 1. 25	
	〃 沈砂池機械設備 その1工事	阻水扉 5組 沈砂池バケットエレベーター 4台 グリットコレクター 4台 汚格機 6基	50,450,000	38. 6. 26 39. 1. 25	
設計管理 委 託	落合処理場 本館管理委託	処理場本館の管理	1,225,000	38. 4. 1 38. 9. 30	
	〃 建設その5工事管理 委託及び本館前造園工事設計委 託	38年度工事第563号 の工事管理	1,025,000	38. 8. 9 39. 1. 29	
	〃 本館管理委託その2	本館 床面積15,080m ² 機械類 その他	1,730,000	38. 10. 1 39. 2. 29	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
設計管理 委託	落合処理場 公舎新築に伴う 設計委託	公舎12世帯 延 574.2m ² の 設計	円 630,000	年 月 日 38. 12. 3 39. 1. 11	経理部へ委託
	芝浦処理場 第2ポンプ室上家 新築工事設計委託	ポンプ室延 754m ² 沈砂池上家延 274m ² の 設計	円 1,680,000	年 月 日 39. 1. 11 39. 3. 31	
その他	落合処理場 建設その4工事	第2沈殿池 5池 雨水放流渠 114.00m の一部	円 9,198,003	年 月 日 37. 10. 6 38. 10. 4	一部予算外義 務負担
	〃 散気設備その1工事	曝気槽散気装置 688組 モノレール 800m の一部	円 60,000	年 月 日 37. 10. 6 38. 4. 10	〃
	芝浦処理場	控壁 径50mm×長16.00m 52組	円 22,369,826	年 月 日 38. 5. 1	
	汚泥処理工場西側埋立	〃50 ×13.50 36組			
	その2工事	控壁 厚350mm×高1,600 116.70m 〃400 ×〃1,800 29.50		年 月 日 38. 10. 23	
	森ヶ崎西処理場 地質調査工事	ラストボーリング 5カ所 サウンディング 35カ所	円 1,100,000	年 月 日 38. 8. 12 38. 11. 18	
	砂町処理場 南側敷地護岸築造工事	石柱護岸 528.0m 木柵 〃 50.0m	円 57,008,331	年 月 日 38. 9. 5 39. 3. 20	
	落合処理場 整備工事	前庭造園 4,710m ² 守衛所 16.41m ² 門扉及周壁 防泡設備	円 59,298,346	年 月 日 38. 9. 30 39. 3. 19	
	小台処理場 整備工事	正門 守衛所 金網扉 プロツク扉その他	円 9,707,324	年 月 日 38. 12. 20 39. 3. 19	
	落合処理場 公舎用地地質調査工事	公舎用地の地質調査	円 55,000	年 月 日 38. 12. 11 39. 1. 8	経理部へ委託
〃 整備その2工事		造園及遊戯施設 柵及門扉 便所	円 0		繰越額 6,425,000円
〃 動力線引込工事		ケーブル 2,700.0m	円 0		繰越額 23,437,000円 東電新宿支社 へ委託

(4) 特別失業対策管渠施設

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
枝線	豊島区高松町2丁目付近 枝線工事	②25~60 1,265.57	円 18,645,262	年 月 日 38. 7. 18 38. 12. 20	就労人員 4,862
	渋谷区千駄谷1・4丁目 〃 〃	②25~70 1,516.20	円 30,185,757	年 月 日 38. 8. 9 39. 1. 11	5,272
	新宿区柏木2・3丁目 〃 〃	②25~70 910.61	円 14,678,783	年 月 日 38. 8. 26 39. 1. 16	4,398
	北区滝野川3・5丁目 〃 〃	②25~40 1,337.06	円 17,666,024	年 月 日 38. 9. 12 38. 12. 12	4,387

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
枝 線	渋谷区大和田町上通3丁目	②25~35 1,556.12	円 22,770,434	年 月 日 38. 10. 12 39. 3. 27	4,641
	北区豊島6・7丁目	②25~50 1,547.05	22,020,049	38. 11. 26 39. 3. 31	6,255
	新宿区戸塚町3・4丁目	②25~60 1,380.75	19,760,756	38. 11. 1 39. 3. 24	5,270
	板橋区熊野町中丸町	②25~50 1,247.40	16,303,838	38. 10. 25 39. 3. 9	3,528
	北区王子町	②25~70 819.72	13,080,247	39. 1. 7 39. 3. 31	2,670
	付近枝線その2工事	②25~35 695.49	9,523,714	39. 1. 7 39. 3. 21	2,105
	渋谷区恵比寿南2丁目 付近枝線その2工事	②25~60 1,595.31	26,911,039	38. 12. 26 39. 3. 31	4,335
	北区上十条2.3丁目 付近枝線工事	②25~45 988.55	15,548,330	39. 1. 17 39. 3. 31	3,945
	新宿区戸塚町3丁目新宿4丁目	②25 178.56	2,307,586	39. 2. 5 39. 3. 31	418

(5) 整備拡充

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
管 渠	谷田川幹線放流渠	幹線□440cm×262cm 337.10m	円 162,299,794	年 月 日 38. 4. 1	
	その5工事	枝線②70~□225×149 27.60		39. 1. 16	
	常盤橋地区千代田区大手町 2丁目付近管渠移設その1工事	幹□250 ×250 ~ △270 ×270 53.0m	20,952,636	38. 10. 3 40. 3. 31	繰越額 円 157,588,388
	その2工事	幹□210cm×210cm~ □300×240 30.0m	26,487,244	38. 10. 3 40. 3. 31	繰越額 円 187,382,756
	その3工事	0	39,529,234	38. 10. 3 40. 3. 31	繰越額 円 326,670,766
	藍染川幹線 雨水吐その2工事	幹□520×416 100.00m 枝②100 100.00m	73,405,036	38. 10. 3 39. 6. 30	89,394,964円
	明石町幹線その2工事に伴う埋 戻工事施工委託		1,869,920	38. 9. 10 39. 1. 25	交通局へ委託
	白山幹線 雨水吐その5工事	幹□300×300~□330×330 82.92m	54,583,472	38. 12. 11 39. 3. 31	
	谷端川幹線 雨水吐その5工事	②110~□330×330 105.20	31,746,068	38. 12. 12 39. 3. 31	
〃	その6工事	幹□330×330 31.00 枝②80~100 16.80 他に□330×330~△600 ×432.5cm 32.90m	43,101,810	39. 1. 20 39. 3. 31	
	その7工事	幹□600×432.5 24.00m (他に△600×415 10.00)	19,881,302	39. 1. 17 39. 3. 31	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
管渠	番町幹線雨水吐その1工事に伴う地中線移設工事施工委託	(22,000Vケーブル) 3条	円 0	年月日 一	繰越額 円 3,524,945 東京電力へ委託
	番町幹線雨水吐その1工事 施工委託		0	0	一 41. 1. 31
	〃 に伴う配水管 移設工事施工委託		0	0	一 繰越額 円 2,877,000 水道局へ委託
	〃 伴う瓦斯管 移設工事		0	0	一 繰越額 円 2,100,000 東京瓦斯へ委託
	谷端川幹線雨水吐 その4工事	幹○360×360 255.3	99,414,869	37. 10. 6 38. 9. 13	37年度予算外 義務負担
	白山幹線雨水吐 その3工事	幹□330×330～□440× 264 572.74m	258,716,861	37. 10. 6 39. 3. 25	〃
	谷端川幹線 雨水吐その4工事		0	1,720,652	37. 10. 6 38. 9. 13
	白山幹線 雨水吐その3工事	□330×330～440×264 ○370mm 0	12,650,869	37. 10. 6 39. 3. 25	〃
	〃 その4工事	□360×360 0	10,633,974	37. 10. 6 38. 12. 3	〃
	藍染川幹線 雨水吐その1工事	幹□520×416 枝○180 31.0 8.7m	22,933,390	37. 12. 13 38. 5. 22	
ポンプ所	白山幹線雨水吐 その4工事	幹□360×360 363.1m	126,989,995	37. 10. 6 33. 12. 3	37年度予算外 義務負担
	汐入ポンプ所 上家新築工事設計委託	ポンプ所上家 沈砂池上家 955m ² 340m ²	2,245,000	38. 8. 1 38. 10. 22	
	〃 雨水吐工事施工委託	□160×160 門扉 9.4m 1式	7,895,000	38. 9. 25 39. 3. 30	建設局へ委託
	〃 雨水放流渠工事	放流渠 □160×160 122.89m	21,203,925	38. 11. 25 39. 3. 20	
	錢瓶町ポンプ所 さくせい工事	35cm 100m 25cm 150m 掘削 2か所	10,870,000	38. 11. 11 39. 2. 4	
	〃 建設その1工事	掘削量 33.655m ³ 門扉取除一式その他	38,493,000	38. 12. 2 39. 3. 24	
	湯島ポンプ所 地質調査工事	深度 40m 〃 30m 1カ所 2カ所	430,000	38. 12. 7 39. 1. 14	
	汐入ポンプ所 建設その1工事	現場打鉄筋コンクリート杭 76基	7,740,000	39. 1. 6 39. 5. 20	繰越額 24,810,000
	錢瓶町ポンプ所 設計委託	ポンプ所 延 6,810坪 の設計	20,400,000	39. 1. 4 39. 3. 31	
	湯島ポンプ所 上家新築工事設計委託	ポンプ所上家 延2,989.0m ² の設計	5,700,000	39. 1. 9 39. 3. 31	

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
ポンプ所	錢瓶町ポンプ所 仮配管工事	仮配管 延長 132.7m 及び樹木移植	円 26,800,000	年 月 日 39. 1. 9 39. 3. 31	
	湯島ポンプ所 建設工事に伴う樹木移植工事	移植樹木 10本	30,000	39. 2. 25 39. 3. 10	
	汐入ポンプ所 建設その2工事		0	0 40. 3. 31	繰越額 円 122,481,801
	湯島ポンプ所 建設その1工事		0	0	繰越額 円 89,680,000
処理場	三河島処理場 処理施設改造その2工事	第1沈殿池 4池 の 曝氣槽 2槽 一部 第2沈殿池 3池 部	323,926,310	38. 4. 1 39. 7. 24	一部予算外義務負担 39年度 145,762,597
	〃 〃 その3工事	高級処理放流渠 297.80m 予備 160.05m 消毒槽 4.5×2.9×80.6× 3回路 量水槽 3槽	63,189,014	38. 4. 1 38. 12. 5	
	〃 送泥管改造その8工事	送泥管 ◎35cm 1,615.70m 鞘管 ◎80cm 26.00m	25,092,395	38. 6. 10 39. 1. 13	
	〃 〃 その9工事	送泥管 ◎35cm 2,480.00m 鞘管 ◎80cm 52.00m	35,512,218	38. 6. 10 38. 11. 21	
	〃 〃 工事施工委託	送泥管 ◎35cm 65.00m	2,801,933	38. 5. 1 38. 11. 11	水道局へ委託
	〃 〃 その7工事	送泥管 ◎35cm 134.50m	7,382,200	38. 7. 10 38. 12. 10	

(6) 都市改造下水施設

種 別	工 事 名	工 事 内 容	金 額	着手竣工	備 考
管 渠	西大崎地区品川区平塚1丁目付近 管渠移設工事	◎25cm～50cm 238.20m	円 2,843,958	年 月 日 38. 6. 28 38. 6. 28	
	組合地区田端 付近管渠移設その18工事	◎25～60 113.91	1,374,852	38. 8. 5 38. 8. 31	
	第8地区渋谷区神宮通1丁目 上通3丁目付近 管渠移設工事	◎25～35 38.36	1,101,912	38. 8. 17 38. 9. 27	
	第32地区豊島区駒込1丁目 〃 〃	◎25 201.20	1,673,231	38. 8. 22 38. 10. 10	
	第5地区品川区五反田3丁目 〃 〃	◎30～150 344.35	37,299,561	38. 9. 16 39. 3. 3	
	第34地区荒川区日暮里3・4丁目 〃 〃	◎25～90 412.68	4,852,309	38. 9. 16 38. 12. 5	
	第13地区豊島区西巣鴨2丁目 巣鴨6・7丁目 〃 〃	◎25～60 488.42	6,431,170	38. 10. 1 38. 12. 13	
	新宿地区新宿区歌舞伎町 〃 〃	◎110 34.60	3,987,553	38. 10. 10 38. 12. 7	
	第31地区豊島区巣鴨2・5丁目 〃 〃	◎25～80 116.20	981,637	38. 10. 3 38. 11. 6	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
管渠	第32地区豊島区駒込1丁目付近管渠移設その2工事	◎25cm~50cm 110.30m	円 1,497,433	年月日 38. 11. 4 38. 12. 20	
	西大崎地区品川区平塚1丁目 西大崎1丁目付近管渠移設工事	◎25~60 1,291.80	15,559,248	38. 11. 15 39. 3. 31	
	第24地区文京区駒込神明町 〃 〃	◎25 118.82	1,288,855	38. 11. 11 38. 12. 10	
	西大崎地区品川区平塚1丁目 西大崎1丁目付近汚水拠設置工事	33カ所	598,146	39. 2. 25 39. 3. 31	
	試掘	61カ所	216,544		

(7) 新河岸川浄化下水施設

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
管渠	志村幹線その4工事に伴う 地質調査	孔径 85mm 孔数 2カ所 深度 30m	円 575,000	年月日 38. 9. 17 38. 10. 28	
	板橋区志村町3丁目 付近枝線工事	■440×264 248.45	104,540,157	38. 10. 3 39. 3. 31	
	板橋区小豆沢4丁目 〃	◎60~■330×360cm 199.62	68,086,069	38. 10. 3 39. 3. 24	
	岩淵幹線その11工事 〃	◎210 幹 627.79	161,300,375	38. 10. 3 39. 3. 31	
	〃 その13工事に伴う 地質調査	孔径 85mm 孔数 20m 30m 12カ所 4カ所	1,730,000	38. 10. 22 38. 12. 18	
	板橋区長後町1丁目付近枝線工事に伴う 〃	孔径 85mm 孔数 20m 30m 4カ所 3カ所	1,240,000	38. 10. 17 38. 12. 18	
	岩淵幹線その12工事に伴う 〃	孔径 85mm 孔数 20m 30m 5カ所 1カ所	580,000	38. 10. 14 38. 12. 11	
	志村幹線その1工事	幹 ■340×240 102.50 枝 ◎50 4.20m	48,221,090	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その2工事	幹 ■300×240 100.00 枝 ◎35~50 8.60	43,513,072	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その3工事	幹 ■300×240 100.0 枝 ◎60~100 8.40	59,712,654	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その4工事	幹 ■300×240 100.0 枝 ◎40~50 17.60	60,124,270	38. 10. 30 39. 3. 31	
	〃 その5工事	幹 ■225×202~ 300×240 120.22 枝 ◎120 6.7	60,198,780	38. 10. 30 39. 3. 31	
	北区浮間5丁目 付近枝線工事	◎70~■240×168 165.45	67,008,750	38. 10. 30 39. 3. 31	
	岩淵幹線その12工事	◎210 幹 100.60	44,853,941	38. 12. 20 39. 3. 31	
	〃 その13工事	◎210 幹 105.50	46,004,153	38. 12. 20 39. 3. 31	

種別	工事名	工事内容	金額	着手竣工	備考
管渠	北区浮間5丁目付近 枝線その2工事	◎110cm 108.73m	円 26,296,508	年月日 38.12.12 39.3.31	
	板橋区長後町1丁目 付近枝線工事	◎45~□440×264 87.30	48,663,572	39.1.8 39.3.31	
	〃 その2工事	□400×240 70.30	38,521,407	39.1.17 39.3.27	
	北区浮間5丁目付近 在来管復旧工事	在来管復旧 (84.5m)	1,980,000	39.3.21 39.3.31	
	拡張工事の実施に伴う 調査及試掘	8か所	500,000	38.4.1 38.9.30	

第2節 改良工事

総括表

種別	施行内容
管渠施設 247,418,317円	管渠 2,765.61m 人孔 250カ所 污水井 1,228カ所
ポンプ施設 131,280,567円	機械及び装置 三ノ橋ポンプ所 業平橋ポンプ所 町屋ポンプ所 銭瓶町ポンプ所 木場ポンプ所 汐留ポンプ所 桜橋ポンプ所 山谷ポンプ所 吾嬬ポンプ所 南千住ポンプ所 和泉ポンプ所 浜町ポンプ所
	構造物 洲崎仮排水所
	機械及び装置 三河島処理場 污水ポンプ制水弁 第一汚泥ポンプ 電気設備

種 別	施 行 内 容
処理場施設	芝浦処理場 電気設備 曝気槽, 曝気機 シツクナー減速設備 汚泥ポンプ サーキュレーター設備 中低段戸格設備
	砂町処理場 汚水ポンプ 塩素消毒設備 汚泥搔集機設備 サーキュレーター設備
構 造 物	小台処理場 曝気槽覆網工事 芝浦処理場 主ポンプ配電盤 給排水設備 防臭設備
	三河島処理場 汚泥ポンプ し渣焼却設備 沈砂池改良 戸格機室改良

(1) 管 渠 施 設

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣	手 工	備 考
管渠敷設	中央区浜町3丁目付近管渠改良工事	450~700mm 316.15m	10,136,536	38. 5. 25 38. 8. 26		
	港区金杉橋~札の辻間管渠敷設替工事	250~700 557.84	17,836,461	38. 7. 1 38. 10. 11		
	中央区日本橋茅場町3丁目14番地先管渠改良工事	250 58.60	1,583,242	38. 5. 21 38. 6. 12		
	中央区銀座東7丁目付近管渠改良工事	600~1350 405.55	30,880,648	38. 9. 16 39. 2. 20		
	中央区月島西仲通8丁目付近管渠改良工事	500~600 183.02	5,808,034	38. 8. 26 38. 11. 15		
	文京区駒込千駄木町付近外1個所管渠改良工事	250~450 128.30	5,231,667	38. 9. 25 38. 11. 14		
	中央区明石町付近管渠改良工事	250~500 388.55	5,118,590	38. 11. 1 38. 12. 20		
	台東区車坂町付近管渠改良工事	230~500 152.70	3,911,367	38. 11. 20 38. 12. 24		

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
管渠敷設	千代田区永田町1丁目付近管渠改良工事	250~300mm 137.50m	円 1,702,285	年月日 38. 11. 18 38. 12. 23	
	足立区千住大川町付近管渠改良工事	350~900 437.40	19,716,290	39. 1. 17 39. 3. 31	
	外 23 件		53,772,544		
人孔 污水栓並 びに取付 管	北部管理事務所三河島出張所管内 人孔新設工事	人孔 38カ所	3,715,816	38. 7. 26 38. 9. 21	
	日本堤出張所管内 人孔新設工事	人孔 48	4,466,354	38. 8. 12 38. 10. 21	
	荒川区尾久町地内人孔改良工事	人孔 40	2,839,603	38. 8. 15 38. 10. 14	
	中部管理事務所大手町出張所管内 人孔改良工事	人孔 52	1,739,450	38. 9. 16 38. 10. 15	
	人孔新設工事	人孔 10	1,508,079	38. 9. 10 38. 10. 15	
	北部管理事務所日本堤出張所管内 污水栓改良工事	污水栓 500	2,584,533	38. 10. 9 38. 11. 25	
	中部管理事務所城山町出張所管内 污水栓改良工事	污水栓 219	3,036,218	38. 10. 21 38. 12. 16	
	台東区浅草京町1・2丁目外1か所 人孔污水栓改良工事	人孔 污水栓 20 56	875,480	38. 11. 6 38. 12. 21	
	北部管理事務所三河島出張所管内 污水栓新設工事	污水栓 300	3,973,161	38. 12. 7 39. 2. 15	
	墨田区小梅町2・3丁目付近污水栓 改良工事	污水栓 83	587,200	38. 12. 13 39. 1. 20	
	東部管理事務所管内人孔新設工事	人孔 15	5,576,577	39. 2. 26 39. 3. 31	
	中央区入船町3丁目~八丁堀1丁 目間 人孔並污水栓改良工事	人孔 污水栓 27 70	541,041	39. 3. 2 39. 3. 31	
	外 41 件		22,199,589		
	中部管理事務所管内防潮扉改良 工事	防潮扉 417	1,025,000	38. 9. 16 38. 10. 21	
その他	新宿区早稲田鶴巻町付近早稲田幹 線床板改良工事	床板 22.00	1,140,000	38. 12. 17 39. 2. 7	
	外 3 件		293,164		
試掘費			2,463,295		
事務費			21,215,420		
合計			247,418,317		

(2) ポンプ所施設

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
機械 および 装置	三之橋ポンプ所電気設備改良工事	特高開閉装置 配電盤手元操作盤 1式 19面	26,100,000 円	年月日 38. 4. 26 39. 2. 29	
	業平橋ポンプ所雨水ポンプ改良工事	ポンプ、誘導電動機 蓄電気 2台 1台分	11,300,000	38. 4. 27 39. 2. 20	
	町屋ポンプ所揚泥機電気設備改良工事	集電装置 付帯工事 1式 1式	615,000	38. 6. 17 38. 7. 30	
	銭瓶ポンプ所沈砂搬出装置改良工事	ライトコンベヤー ホツバーゲート 1式 1式	785,000	38. 7. 1 38. 10. 25	
	木場ポンプ所照明換気設備改良工事	螢光灯その他 換気扇 91基 1台	1,500,000	38. 7. 3 38. 10. 28	
	三之橋ポンプ所雨水ポンプ逆止弁改良工事	蝶形並びに逆止弁取替 駆動装置 1台分 1式	6,980,000	38. 8. 9 39. 3. 19	
	汐留ポンプ所渋格設備改良工事	渋格機 ベルトコンベヤー 6台 1台	2,864,000	38. 8. 5 38. 11. 18	
	業平橋ポンプ所変圧器改良工事	変圧器 特高断路器 7台 1組	4,100,000	38. 8. 6 39. 2. 18	
	桜橋ポンプ所排水ポンプ設置工事	排水ポンプ 電気工事 1台 1式	4,706,000	38. 8. 5 38. 11. 30	
	山谷ポンプ所渋格設備その他改良工事	渋格機 真空ポンプ 2台 1台	3,370,000	38. 9. 20 39. 1. 23	
	吾嬬ポンプ所排水施設改良その他工事	陶管 人孔その他 274m 1式	3,259,066	38. 10. 7 38. 12. 16	
	南千住ポンプ所高架水槽改良その他工事	高架水槽 ポンプ類 1基 3台	4,800,000	38. 11. 12 39. 3. 14	
	桜橋ポンプ所照明設備その他改良工事	照明設備 付帯工事 1式 1式	435,000	38. 12. 6 39. 2. 20	
	和泉町ポンプ所し渣処理設備工事	粉碎機設備 付帯工事 1台 1式	755,000	38. 12. 16 39. 3. 26	
	浜町ポンプ所照明設備その他改良工事	照明設備 その他 1式 1式	667,000	38. 12. 16 39. 3. 25	
	木場ポンプ所仮受変電設備工事	仮受変電室 移設工事 150㎡ 1式	10,200,000	38. 12. 24 39. 3. 31	
	業平橋ポンプ所特高ケーブル引替工事	特高ケーブル S L T A 220m S L 550m	4,500,000	39. 1. 13 39. 3. 31	
構造物	洲崎仮排水所設備工事	上屋並びにポンプ井 土木工事その他 1式 1式	40,043,150	38. 6. 10 39. 1. 31	
事務費			4,301,351		
合計			131,280,567		

(3) 处理場施設

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
機域 および 装置	三河島処理場汚水ポンプ制水弁改良工事	制水弁 電気工事 1台	円 13,550,000	年 38. 6. 7 39. 2. 10	
	芝浦処理場電気設備改良その他工事	配電盤 監視盤 制御操作盤 14面 4面 12面	41,000,000	38. 5. 31 39. 3. 19	
	砂町処理場直通電話線改良工事	電話ケーブル その他設備 1式 1式	2,170,000	38. 7. 1 38. 10. 25	
	¶ 汚泥ポンプ改良工事	汚泥循環ポンプ 12台	3,440,000	38. 7. 8 39. 2. 11	
	芝浦処理場曝気機改良工事	減速機 揚水塔 4台 32組	18,800,000	38. 7. 11 39. 2. 5	
	¶ シツクナー減速設備改良その他工事	シツクナー 5台	2,000,000	38. 7. 17 38. 11. 28	
	¶ 汚泥ポンプ改良工事	ポンプ類 11台	3,320,000	38. 10. 18 39. 3. 13	
	三河島処理場第一汚泥ポンプ改良工事	汚泥ポンプ他 電気設備 3台 1式	3,200,000	38. 10. 25 39. 3. 31	
	芝浦処理場中低段戸格設備改良その他工事	コンベヤー その他 6基 1式	15,650,000	38. 11. 5 39. 3. 31	
	砂町処理場塩素消毒設備改良その他工事	塩素滅菌機 塩素化器 1台 1台	2,495,000	39. 1. 4 39. 3. 31	
構造物	¶ 汚泥搔集機設備改良その他工事	スプロケツトホイル ペアリング 96コ 3,500コ	4,450,000	39. 1. 9 39. 3. 31	
	芝浦処理場サーチュレーター設備改良その他工事	サーチュレーター 付帯工事 2台 1式	3,200,000	39. 1. 13 39. 3. 31	
	砂町処理場サーチュレーター設備改良その他工事	サーチュレーター 付帯工事 3台 1式	4,820,000	39. 1. 9 39. 3. 31	
	小台処理場曝気槽沈澱池流出渠覆網工事	曝気槽覆網 第1.第2沈澱池覆網 2槽分 7池分	3,644,000	38. 7. 10 38. 9. 17	
	芝浦処理場主ポンプ配電盤室改良その他工事	配電盤室 直員室, 蓄電池 63m ² 1式	4,050,000	38. 7. 3 38. 12. 16	
	砂町処理場汚水ポンプ吐出管並びに汚水管改良その他工事	可撓管 汚水管 9本 30.6m	6,980,000	38. 8. 23 39. 2. 22	
	芝浦処理場給排水設備改良その他工事	配管工事 汚水ポンプ管弁 1式 1式	3,960,000	38. 8. 26 39. 1. 18	
	三河島処理場汚水ポンプ吐出管改良工事	可撓管 フラツブ弁 10本 9コ	6,200,000	38. 8. 28 39. 1. 19	
	芝浦処理場防臭設備工事	再燃焼炉 上家並電気工事 1基 1式	4,450,000	38. 9. 12 39. 1. 14	
	三河島処理場し渣焼却設備改良その他工事	し渣焼却炉 その他設備 1基 1式	18,850,000	38. 11. 9 39. 3. 30	
	¶ 沈砂池改良工事	沈砂池嵩上 砂洗槽 1池 1槽	8,980,000	38. 11. 6 39. 3. 30	

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
構造物	三河島処理場汚格機室改良その他工事	汚格機室 堰止門室外 112m ² 127m ²	円 3,750,000	年月日 38. 12. 10 39. 3. 24	
構造物	砂町処理場場内塀その他工事	コンクリート塀 371.64m コンクリート舗装道路 5.0m×61.7m	5,100,000	39. 1. 9 39. 3. 31	
	三河島処理場篩渣焼却設備上家その他の工事	上家 付帯工事 235.21m ² 1式	9,200,000	38. 12. 18 39. 3. 31	
設計委託	設計並監査委託	鉄骨スレート 231m ²	210,000	38. 10. 11 38. 11. 2	
事務費			10,409,928		
合計			203,878,928		

第3節 設備補修工事

総括表

種別	工費		雜補修	合計
	件数	金額		
管渠設備補修	92	円 158,004,521	円 18,313,440	円 176,317,961
ポンプ所設備補修	10	15,657,000	4,271,906	19,928,906
処理場設備補修	11	23,195,000	12,644,541	35,839,541
合計	113	196,856,521	35,229,887	233,086,408

(1) 管渠設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
管渠工事	千代田区神田神保町2丁目2番地先管渠補修工事	600m 3.60m	円 116,633	年月日 38. 6. 19 38. 7. 3	
	墨田区厩橋4丁目付近管渠補修工事	250~450 143.65	3,774,931	38. 11. 11 38. 12. 17	
	江東区深川三好町3丁目付近管渠補修工事	△225×255 71.00	3,770,000	38. 11. 1 38. 12. 18	
	千代田区神田旅籠町3丁目15番地先管渠補修工事	230 8.00	367,210	39. 2. 1 39. 2. 15	
	台東区浅草橋1・2丁目間管渠補修工事	230~380 16.00	300,000	38. 8. 23 38. 11. 17	

種 別	工 事 名	数 量	金 額	着 竣	手 工	備 考
管渠工事	文京区駒込蓬萊町1番地先管渠補修工事	500m 14.55m	円 864,861	年 月 日 39. 3. 21 39. 3. 31		
	外 4 件		959,320			
損傷負担 工 事	中央区日本橋江戸橋1丁目付近管渠復旧工事	400~600 110.80	4,516,745	39. 1. 13 39. 3. 30		
	中央区日本橋江戸橋3丁目付近	250~600 321.90	11,055,253	39. 1. 13 39. 3. 31		
	中央区宝町1丁目付近	300 81.60	2,647,225	39. 1. 13 39. 3. 31		
	中央区銀座東1・2丁目付近	250~600 312.35	6,785,970	39. 1. 13 39. 3. 31		
	外 11 件		103,664,459			
人 孔 汚水樹補修	東部管理事務所管内人孔鉄蓋取替工事	人孔鉄蓋 182枚	1,969,993	38. 7. 6 38. 9. 28		
	港区麻布笄町付近人孔嵩上工事	人孔 11カ所	123,550	38. 8. 20 38. 9. 3		
	台東区浅草公園六区内人孔並污水樹嵩上切下工事	人孔 8カ所 污水樹20ヶ	111,232	38. 9. 13 38. 10. 16		
	墨田区豊川2・3丁目付近人孔及污水樹嵩上工事	污水樹34カ所 人孔 12ヶ	132,000	38. 9. 2 38. 9. 18		
	台東区浅草馬道2・3丁目外2個所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 23カ所 污水樹17ヶ	131,264	38. 10. 21 38. 12. 6		
	文京区白山御殿町21~59番地先人孔切下工事	人孔 10カ所 污水樹5ヶ	117,070	38. 10. 15 38. 10. 19		
	荒川区尾久町5丁目外3箇所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 61カ所 污水樹31ヶ	161,117	38. 10. 25 38. 11. 25		
	千代田区有楽町1~2丁目丸の内1丁目付近人孔並污水樹嵩上工事	人孔 26カ所 污水樹13ヶ	208,808	38. 11. 11 38. 11. 30		
	江東区深川豊住町井住橋付近人孔嵩上工事	人孔 9カ所	160,945	38. 12. 4 38. 12. 16		
	荒川区町屋3・4丁目外2か所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 95カ所 污水樹40ヶ	214,550	38. 12. 13 39. 2. 27		
	台東区浅草田原町2丁目付近外1か所人孔並污水樹嵩上工事	人孔 30カ所 污水樹53ヶ	118,000	39. 2. 10 39. 3. 14		
	中野区本町通1丁目1番地先人孔切下工事	人孔 4カ所	66,981	39. 3. 10 39. 3. 17		
	新宿区南元町付近外1か所污水樹補修工事	污水樹31カ所	217,660	39. 3. 24 39. 3. 31		
	外 45 件		6,155,395			
そ の 他	千代田区神田神保町1丁目~神田小川町3丁目付近管渠防護工事	防護 340.30m	円 5,821,450	38. 8. 1 38. 10. 10		

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
その他	小台橋仮排水所付近吐口阻水扉補修工事	阻水扉1か所	円 48,000 38. 9. 27 38. 10. 18		
	外 7 件		3,423,899		
雜補修	管渠補修	249.30m	3,130,313		
	人孔補修	426カ所	2,847,062		
	人孔蓋補修	661ヶ	3,364,971		
	汚水栓並取付管補修	3,295ヶ	7,065,715		
	その他		1,905,379		
合計			176,317,961		

(2) ポンプ所設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
機械および電気設備補修	三之橋ポンプ所蓄電池補修工事	蓄電池付帶工事 1組1式	円 2,148,000 38. 5. 2 38. 8. 2		
	吾嬬ポンプ所汎格機補修工事	鎖車鎖車軸 4両分4本	960,000 38. 6. 5 38. 8. 30		
	月島ポンプ所汚水ポンプ補修工事	汚水ポンプ その他ポンプ 1台2台	1,840,000 38. 6. 12 39. 2. 20		
	三之橋ポンプ所汚水ポンプ補修工事	渦巻ポンプ 1台	1,820,000 38. 6. 13 39. 2. 29		
	銭瓶町ポンプ所汚水ポンプ補修工事	渦巻ポンプ 2台	2,400,000 38. 11. 5 39. 3. 31		
	木場ポンプ所汎格機補修工事	軸取替 レーキ取替 チエン取替 12本 20本 80m	1,470,000 38. 11. 7 39. 3. 5		
	銭瓶町ポンプ所蓄電池補修工事	蓄電池付帶工事 56槽1式	869,000 39. 1. 6 39. 2. 27		
建物および構築物補修	橋場ポンプ所上家補修その他工事	スチールサツシユ他 門扉 1式2扉	2,860,000 38. 8. 30 38. 11. 8		
	木場ポンプ所高圧変圧器室床面防護工事	防護面積 70.98m ²	510,000 38. 12. 10 39. 1. 9		
	小松川ポンプ所雨水ポンプ吐出管補修工事	雨水ポンプ吐出管2カ所	780,000 39. 2. 25 39. 3. 31		
雜補修	作業用營造物補修	250件	1,340,926		
	諸機械補修	540件	2,322,030		

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
雜補修	構築物補修	33件	267,154		
	その他		341,796		
合計			19,928,906		

(3) 処理場設備補修

種別	工事名	数量	金額	着工	備考
機械および電気設備補修	芝浦処理場ボイラー補修工事	三胴水管式温水ボイラー 3基	1,585,000	38. 6. 20 38. 9. 20	
	三河島処理場攪拌機補修工事	攪拌車 31組 その他 1式	3,510,000	38. 7. 25 39. 1. 24	
	污水ポンプ電動機補修工事	汚水ポンプ高圧 3相誘導電動機 4台	4,200,000	38. 7. 29 39. 3. 27	
	砂町処理場ボイラー補修工事	三胴水管式温水ボイラー 1基	990,000	38. 7. 27 38. 11. 9	
	汚泥脱水設備補修その他工事	真空ポンプ 2台 その他機械 3台	2,820,000	38. 9. 9 39. 1. 10	
	芝浦処理場汚水ポンプ電動機補修工事	固定子巻線巻替 2台 その他 1式	1,940,000	38. 10. 9 39. 2. 13	
	污水ポンプ補修工事	羽根車取替 1台 その他 1式	4,250,000	38. 11. 5 39. 3. 30	
	砂町処理場汚泥ポンプ補修工事	ポンプ 7台 その他 1式	1,160,000	38. 12. 10 39. 3. 31	
	三河島処理場採泥機補修工事	歯車付車輪用タイヤー 4台分 その他 1式	340,000	39. 2. 5 39. 3. 26	
	砂町処理場機械類その他塗装工事	第1沈澱池搔集機 1式	950,000	39. 2. 6 39. 3. 27	
構築物補修	芝浦処理場ガスホルダーその他塗装工事	ガスホルダー 1基 その他 1式	1,450,000	38. 10. 17 38. 12. 10	
雜補修	作業用營造物補修	769件	1,816,624		
	諸機械補修	1,569件	7,789,324		
	構築物補修	239件	2,317,489		
	その他		721,104		
合計			35,839,541		

第4節 その他工事

総括表

種別	区分	工事内容	金額	備考
管渠改造工事	新設	86.30m	1,504,020 円	
	移設	71.10m	2,287,997	
	樹	3,190個	76,932,518	
消化槽工事	10 件		93,955,000	砂町処理場し尿消化槽補修工事 (清掃局より委託のもの)
公共下水道台帳整備	4 件	写真原図 115枚 台帳図 28ヶ その他	1,955,000	

管渠改造工事

種別	区分	数量又は件数	金額	備考
管渠改造工事	新設	86.30 m	1,504,020 円	
	移設	71.10	2,287,997	
その他受託工事	樹工事	3,190個	76,932,518	
合計			80,724,535	

消化槽設備補修

工事名	事業内容	金額	着工
砂町処理場し尿消化槽ボイラー補修工事	三胴水管式温水ボイラー 6基	3,330,000 円	年月日 38. 7. 1 38. 12. 13
変配電室並に変配電設備改良その他工事	消化槽配電盤工事 脱硫室配電盤工事	14,750,000	38. 6. 28 39. 3. 19
ガスタンク補修並に塗装工事	有水式車槽ガスタンク 複槽	5,510,000	38. 8. 6 39. 2. 28
し渣脱水設備改良その他工事	し渣脱水器 ホツバー設備	26,900,000	38. 10. 31 39. 3. 30
し尿ポンプその他補修工事	し尿ポンプ取替 し尿ポンプ補修	6,700,000	38. 10. 31 39. 3. 30
スカムブレーカー攪拌機その他改良工事	電動機直結横軸型ブレードレス ポンプ その他	20,300,000	38. 12. 7 39. 3. 31

工事名	事業内容	金額	着手 年月日	竣工 年月日	手工
砂町処理場し渣ホツパー上家その他工事	し渣ホツパー上家 $44.72m^2$	円 3,870,000	38. 12. 7 39. 3. 31		
〃 軸体補修工事	軸体補修 2槽	2,450,000	39. 1. 18 39. 3. 31		
〃 管弁類その他補修工事	抽出管取替 投入管 〃 $35m$ $35m$	7,450,000	39. 1. 18 39. 3. 31		
〃 送泥管その他改良工事	送泥管 $170m$ 水道管 $150m$	2,695,000	39. 2. 1 39. 3. 31		
計		93,955,000			

公共下水道台帳整備

件名	事業内容	金額	着手 年月日	竣工 年月日	手工
公共下水道台帳系統図調整委託	延長 $155,000m$ 写真原図作成 54枚	円 200,000	38. 6. 29 38. 8. 2		
〃 台帳図調整委託その1	延長 $17,635m$ 台帳図作成 18枚 写真原図 〃 32枚	700,000	38. 8. 1 38. 10. 10		
〃 〃 その2	延長 $21,780m$ 台帳図作成 10枚 写真原図 〃 29枚	720,000	38. 8. 3 38. 10. 12		
〃 台帳調書作成	都区部の一部 $195,000m$	335,000	38. 12. 19 39. 3. 31		
計		1,955,000			

昭和38年度局主要日誌

月 日	記 事	月 日	記 事
4月1日	機構の一部改正、業務課、建設事務所設計課 千住ポンプ所等の設置	10月18日	第4回下水道促進関東々北ブロック会議開催
5月1日	隅田、千住ポンプ所運転開始	10月25日	三多摩地区環境整備連絡協議会設置
4月8日 5月15日	昭和38年度監査実施	10月25日 11月14・ 15日	隅田ポンプ所落成式
5月17日	隅田川浄化対策に伴う下水道事業実施調査委 員会設置	11月29日	第26回6大都市下水道会議開催
5月25日	「石神井川下幹線その9工事」(シールド工 法)に全建賞授与	12月5日	千住ポンプ所落成式
5月 27・28日 6月 ～7月	下水道建設実務講習会開催	12月5日 39年1月 20～24日	常盤橋地区再開発事業および錢瓶町ポンプ所 起工式
6月20日 7月15日	中学生の施設見学会実施	2月20日	第7回全国下水道促進大会開催
6月25日	(砂町処理場～3,000人)	2月25日	38年度上半期出納監査、隨時監査終る
7月10日	昭和37年度決算審査始まる	3月1日	38年度文化祭開催
7月20日	映画「東京の下水道」完成	3月3日	区部全域の都市計画下水道決定
7月27日	小汀利得、小川栄一両建設大臣特命査察委員 下水道整備状況視察	3月23日	落合処理場一部運転開始
7月20日	38年度起債許可額決まる(91.5億円)	3月31日	38年度東京都下水道事業会計更正予算可決
7月27日	除害施設調査会設置		39年度東京都下水道事業予算案可決
7月～8月	巡回映画会始まる		千駄ヶ谷幹線開通
8月7日	39年度首都圏整備下水道計画決まる(263億円)		
8月8日	排水設備研究会の設置		
8月13日	厚生大臣小台処理場を視察		
8月17日 9月20日	38年度第1回業務監査実施		
8月20日	下水道局文化会設立		
8月21日	38年度事業概要刊行		
8月21日	第3回下水道促進全国婦人大会開催		
8月27日	交付公債(6億5千万円)発行きまる		
9月9日 ～13日	主婦の下水道施設見学会実施		
9月9日	第3回下水道促進デー実施		
9月12日	水洗便所助成規則改正(4月1日より適用)		
10月2日	38年度下水道事業会計追加予算決まる		
10月2日	常盤橋再開発計画に伴う関連5議案議決さる		
10月16日	料金制度調査会第2次答申される(料金体系)		
10月20日	排水設備技術者試験の実施		